

令和5年度
朝霞市地域包括支援センター
収支決算書

第1圏域	内間木苑
第2圏域	つつじの郷
第3圏域	モーニングパーク
第4圏域	ひいらぎの里
第5圏域	朝光苑
第6圏域	あさか中央

令和5年度 地域包括支援センター（内間木苑） 収支決算書

【収 入】

単位：円

総収入	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額
包括的支援事業分収入	40,724,000	39,131,991	1,592,009	39,134,229
指定介護予防支援事業分収入	2,930,000	3,163,581	-233,581	3,165,801
収入合計	43,654,000	42,295,572	1,358,428	42,300,030

令和5年度収入済額

42,295,572

—

令和5年度支出済額

43,361,185

=

【支 出】

単位：円

総支出	本年度予算額	支出済額	差引増減	前年度決算額
人件費支出	36,714,000	36,533,107	180,893	37,219,140
事務・事業費支出	6,940,000	6,828,078	111,922	6,777,781
支出合計	43,654,000	43,361,185	292,815	43,996,921

収支差額

△ 1,065,613

※収支差額は、当該年度の法人本部会計から繰り出し

令和5年度 地域包括支援センター（つつじの郷） 収支決算書

【収 入】

単位：円

総収入	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額
包括的支援事業分収入	40,705,000	39,254,230	1,450,770	39,652,296
指定介護予防支援事業分収入	5,040,000	4,247,993	792,007	4,801,547
収入合計	45,745,000	43,502,223	2,242,777	44,453,843

令和5年度収入済額

43,502,223

—

令和5年度支出済額

41,843,135

=

【支 出】

単位：円

総支出	本年度予算額	支出済額	差引増減	前年度決算額
人件費支出	35,721,000	31,798,473	3,922,527	29,909,687
事務・事業費支出	10,024,000	10,044,662	△ 20,662	8,655,554
支出合計	45,745,000	41,843,135	3,901,865	38,565,241

収支差額

1,659,088

※収支差額は、当該年度の法人本部会計へ繰り入れ

令和5年度 地域包括支援センター（モーニングパーク） 収支決算書

【収 入】

単位：円

総収入	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額
包括的支援事業分収入	38,841,000	36,929,071	1,911,929	34,329,447
指定介護予防支援事業分収入	5,281,000	5,366,178	△ 85,178	5,207,962
収入合計	44,122,000	42,295,249	1,826,751	39,537,409

令和5年度収入済額

42,295,249

—

令和5年度支出済額

39,699,680

=

【支 出】

単位：円

総支出	本年度予算額	支出済額	差引増減	前年度決算額
人件費支出	34,058,000	32,512,863	1,545,137	30,037,323
事務・事業費支出	10,064,000	7,186,817	2,877,183	7,310,795
支出合計	44,122,000	39,699,680	4,422,320	37,348,118

収支差額

2,595,569

※収支差額は、当該年度の法人本部会計へ繰り入れ

令和5年度 地域包括支援センター（ひいらぎの里） 収支決算書

【収 入】

単位：円

総収入	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額
包括的支援事業分収入	40,465,000	38,340,451	2,124,549	37,492,875
指定介護予防支援事業分収入	3,810,000	3,803,147	6,853	3,778,996
収入合計	44,275,000	42,143,598	2,131,402	41,271,871

令和5年度収入済額

42,143,598

—

令和5年度支出済額

41,013,426

=

収支差額

1,130,172

※収支差額は、当該年度の法人本部会計へ繰り入れ

【支 出】

単位：円

総支出	本年度予算額	支出済額	差引増減	前年度決算額
人件費支出	34,856,000	26,025,018	8,830,982	31,476,974
事務・事業費支出	9,419,000	14,988,408	△ 5,569,408	21,788,151
支出合計	44,275,000	41,013,426	3,261,574	53,265,125

令和5年度 地域包括支援センター（朝光苑） 収支決算書

【収 入】

単位：円

総収入	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額
包括的支援事業分収入	41,468,000	38,716,497	2,751,503	35,479,326
指定介護予防支援事業分収入	2,679,000	3,479,378	△ 800,378	3,261,351
収入合計	44,147,000	42,195,875	1,951,125	38,740,677

令和5年度収入済額

42,195,875

—

令和5年度支出済額

40,287,441

=

収支差額

1,908,434

※収支差額は、当該年度の法人本部会計へ繰り入れ

【支 出】

単位：円

総支出	本年度予算額	支出済額	差引増減	前年度決算額
人件費支出	39,566,000	36,867,024	2,698,976	34,390,531
事務・事業費支出	4,581,000	3,420,417	1,160,583	3,583,669
支出合計	44,147,000	40,287,441	3,859,559	37,974,200

令和5年度 地域包括支援センター（あさか中央） 収支決算書

【収 入】

単位：円

総収入	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額
包括的支援事業分収入	40,345,000	39,606,000	739,000	35,140,718
指定介護予防支援事業分収入	3,400,000	4,000,000	△ 600,000	2,637,431
収入合計	43,745,000	43,606,000	139,000	37,778,149

令和5年度収入済額

43,606,000

—

令和5年度支出済額

42,735,282

=

収支差額

870,718

※収支差額は、当該年度の法人本部会計へ繰り入れ

【支 出】

単位：円

総支出	本年度予算額	支出済額	差引増減	前年度決算額
人件費支出	34,700,000	35,361,830	△ 661,830	26,853,951
事務・事業費支出	9,045,000	7,373,452	1,671,548	7,821,470
支出合計	43,745,000	42,735,282	1,009,718	34,675,421

令和5年度 地域包括支援センター（内間木苑） 収支決算書 NO.1

【収入】

単位：円

1. 包括的支援事業分（包括的支援事業・介護予防生活支援サービス事業・一般介護予防事業）						
項目NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業収入	1 包括的支援事業委託料	31,169,000	31,169,000	0	31,169,000	
	2 総合事業による介護予防ケアマネジメント料	3,580,000	3,916,821	-336,821	3,969,059	総合事業のみ（サービスC含む）の利用
	3 コーディネーター設置委託料	3,996,000	3,996,000	0	3,996,000	
	4 補助金	0	50,000	-50,000		堺市高齢者支援事業委託業者等光熱費対策支援金
	5 雑収入	0	170	-170	170	銀行利息
	6 サービス区分間繰入金	1,979,000		1,979,000		本部会計から
収入計 ①		40,724,000	39,131,991	1,592,009	39,134,229	
2. 指定介護予防支援事業分						
項目NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業収入	1 住宅改修意見書作成料	30,000	2,200	27,800	4,400	
	2 予防給付による介護予防ケアマネジメント料	2,900,000	3,161,381	-261,381	3,161,401	※総合事業+予防給付利用者、または予防給付のみ利用
	3 雑収入	0		0	0	
	4					
	5					
収入計 ②		2,930,000	3,163,581	-233,581	3,165,801	
収入合計（①+②）③		43,654,000	42,295,572	-	42,300,030	

令和5年度収入済額

42,295,572

令和5年度支出済額

43,361,185

収支差額

-1,065,613

※収支差額は、当該年度の法人本部会計から繰り出し

令和5年度 地域包括支援センター（内間木苑） 収支決算書 NO.2

【支出】

単位：円

包括支援センター総支出（1.包括的支援事業分+2.指定介護予防事業分）						
項目NO.	科目	本年度予算額	支出済額	差引増減	前年度決算額	説明
人件費支出	1 常勤職員給与	26,000,000	25,183,724	816,276	26,634,488	年度末人員5名
	2 非常勤職員給与	1,900,000	1,972,765	-72,765	2,116,683	年度末人員1名
	3 法定福利費	3,900,000	4,460,518	-560,518	3,584,731	
	4 退職金	667,000	667,500	-500	667,500	
	5 退職金共済掛金	230,000	230,400	-400	230,400	共助会掛金
	6 コーディネーター給与	4,017,000	4,018,200	-1,200	3,985,338	
支出計 ④		36,714,000	36,533,107	180,893	37,219,140	
事務・事業費支出	1 保健衛生費	90,000	87,780	2,220	117,250	^ -Jl -タカ等
	2 水道光熱費	1,500,000	1,247,185	252,815	1,483,945	電気・水道等
	3 消耗器具備品費	300,000	439,859	-139,859	97,833	事務用備品等（中古車購入）
	4 保険料	300,000	229,930	70,070	161,870	車両任意保険料等
	5 車両費	280,000	289,205	-9,205	242,549	車両燃料費
	6 福利厚生費	100,000	94,740	5,260	125,814	職員健康診断料他
	7 旅費交通費	60,000	28,212	31,788	45,990	駐車料金・電車賃
	8 研修研究費	80,000	62,800	17,200	1,800	研修費
	9 事務消耗品費	450,000	363,505	86,495	460,442	事務文具類・印刷代等
	10 修繕費	300,000	537,482	-237,482	274,231	建物修理等
	11 通信運搬費	560,000	515,331	44,669	567,089	電話・携帯電話・切手代
	12 会議費	30,000	43,524	-13,524	34,710	会議諸経費
	13 賃借料	280,000	243,497	36,503	303,228	電話リ-ス・FAX機リ-ス料
	14 広報費	100,000	0	100,000	0	求人募集なし
	15 業務委託費	1,200,000	1,145,706	54,294	1,495,671	設備管理・清掃等（面積按分等）
	16 手数料	1,100,000	1,258,421	-158,421	1,161,716	会計士・社労士・謝礼金等
	17 租税公課	40,000	64,400	-24,400	29,200	印紙代
	18 保守料	100,000	126,390	-26,390	126,390	消防設備保守等
	19 諸会費	20,000	18,305	1,695	18,305	県老人福祉施設協議会会費他
	20 雑支出	50,000	31,806	18,194	29,748	集会所代・礼ソ`カI等
支出計 ⑤		6,940,000	6,828,078	111,922	6,777,781	
支出合計（④+⑤）⑥		43,654,000	43,361,185	-	43,996,921	
収支差額（③-⑥）		0	-1,065,613	-	-1,696,891	

令和5年度 地域包括支援センター（つつじの郷） 収支決算書 NO.1

【収 入】

単位：円

1. 包括的支援事業分（包括的支援事業・介護予防生活支援サービス事業・一般介護予防事業）							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業収入	1	包括的支援事業委託料	32,969,000	31,179,750	1,789,250	31,851,930	
	2	総合事業による介護予防ケアマネジメント料	3,740,000	4,018,080	-278,080	3,804,366	総合事業のみ（サービスC含む）の利用
	3	コーディネーター設置委託料	3,996,000	3,996,000	0	3,996,000	
	4	補助金	0	50,000	-50,000		朝霞市高齢者支援事業委託業者等光熱費対策支援金
	5	雑収入	0	10,400	-10,400	0	
	6						
収入計 ①			40,705,000	39,254,230	1,450,770	39,652,296	
2. 指定介護予防支援事業分							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業収入	1	住宅改修意見書作成料	0	0	0	0	
	2	予防給付による介護予防ケアマネジメント料	5,040,000	4,247,993	792,007	4,801,547	※総合事業+予防給付利用者、または予防給付のみ利用
	3	雑収入	0		0	0	
	4						
	5						
収入計 ②			5,040,000	4,247,993	792,007	4,801,547	
収入合計（①+②）③			45,745,000	43,502,223	-	44,453,843	

令和5年度 地域包括支援センター（つつじの郷） 収支決算書 NO.2

【支 出】

単位：円

包括支援センター総支出（1.包括的支援事業分+2.指定介護予防事業分）							
項目	NO.	科目	予算額	支出済額	差引増減	前年度決算額	説明
人件費支出	1	常勤職員給与	24,181,000	20,602,453	3,578,547	18,993,626	常勤職員給与、諸手当6名
	2	非常勤職員給与	3,172,000	3,534,034	-362,034	2,980,000	非常勤職員給与、諸手当2名
	3	法定福利費	3,795,000	3,521,986	273,014	3,629,061	社会保険料等
	4	退職金	0	0	0	0	
	5	退職金共済掛金	0	0	0	0	
	6	コーディネーター給与	4,573,000	4,140,000	433,000	4,307,000	給与、諸手当、社保等
支出計 ④			35,721,000	31,798,473	3,922,527	29,909,687	
事務・事業費支出	1	保健衛生費	180,000	777	179,223	2,000	感染予防用品、クリーニング代
	2	水道光熱費	360,000	229,459	130,541	260,237	電気、水道、ガス
	3	消耗器具備品費	350,000	362,886	-12,886	261,258	PC、プロジェクター、携帯
	4	保険料	300,000	203,170	96,830	251,390	車輛、賠償責任、ボランティア
	5	車輛費	372,000	259,825	112,175	370,043	燃料、整備点検
	6	福利厚生費	196,000	132,290	63,710	129,900	職員健康診断、ストレスチェック
	7	旅費交通費	120,000	4,706	115,294	3,256	駐車料金、訪問交通費
	8	研修研究費	120,000	0	120,000	2,220	研修参加費、交通費
	9	事務消耗品費	840,000	562,300	277,700	555,879	文具、日用品、トナー、カウンター保守
	10	修繕費	60,000	16,971	43,029	11,713	自転車、自転車修繕
	11	通信運搬費	960,000	879,753	80,247	876,492	電話代、切手、FAX
	12	会議費	274,000	265,600	8,400	135,911	会場費
	13	賃借料	3,300,000	4,422,750	-1,122,750	3,294,000	家賃、駐車場、リース料、書類保管
	14	広報費	350,000	1,047,563	-697,563	13,657	ホームページ管理
	15	業務委託費	150,000	23,786	126,214	141,866	事務所清掃費
	16	手数料	680,000	753,271	-73,271	680,910	税理士、社労士
	17	租税公課	350,000	725,459	-375,459	1,505,550	印紙、自動車税、法人税
	18	保守料	93,000	60,000	33,000	60,000	エアコン保守、PCセキュリティ
	19	諸会費	92,000	92,666	-666	92,666	社協等按分
	20	雑支出	877,000	1,430	875,570	6,606	
支出計 ⑤			10,024,000	10,044,662	-20,662	8,655,554	
支出合計（④+⑤）⑥			45,745,000	41,843,135	-	38,565,241	
収支差額（③-⑥）			0	1,659,088	-	5,888,602	

令和5年度収入済額

43,502,223

-

令和5年度支出済額

41,843,135

=

収支差額

1,659,088

※収支差額は、当該年度の法人本部会計に繰り入れ

【収 入】

単位：円

1. 包括的支援事業分（包括的支援事業・介護予防生活支援サービス事業・一般介護予防事業）							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業収入	1	包括的支援事業委託料	31,169,000	29,021,900	2,147,100	26,874,888	
	2	総合事業による介護予防ケアマネジメント料	3,676,000	3,861,171	-185,171	3,458,559	※総合事業のみ（サービスC含む）の利用
	3	コーディネーター設置委託料	3,996,000	3,996,000	0	3,996,000	
	4	補助金	0	50,000	-50,000	0	朝霞市高齢者支援事業委託業者等光熱費対価支援金
	5				0		
	6				0		
収入計 ①			38,841,000	36,929,071	1,911,929	34,329,447	
2. 指定介護予防支援事業分							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業収入	1	住宅改修意見書作成料	10,000	2,200	7,800	2,200	
	2	予防給付による介護予防ケアマネジメント料	5,249,000	5,342,178	-93,178	5,179,362	※総合事業+予防給付利用者、または予防給付のみ利用
	3	雑収入	22,000	21,800	200	26,400	サロン等参加費
	4						
	5						
収入計 ②			5,281,000	5,366,178	-85,178	5,207,962	
収入合計（①+②）③			44,122,000	42,295,249	-	39,537,409	

令和5年度収入済額

42,295,249

令和5年度支出済額

39,699,680

収支差額

2,595,569

※収支差額は、当該年度の法人本部会計へ繰り入れ

【支 出】

単位：円

包括支援センター総支出（1.包括的支援事業分+2.指定介護予防事業分）							
項目	NO.	科目	予算額	支出済額	差引増減	前年度決算額	説明
人件費支出	1	常勤職員給与	25,620,000	21,276,575	4,343,425	20,737,745	5名分
	2	非常勤職員給与	0	0	0	579,370	
	3	法定福利費	3,588,000	4,121,848	-533,848	3,812,178	
	4	退職金	0	1,510,000	-1,510,000	0	1名分
	5	退職金共済掛金	250,000	250,000	0	250,000	1名分
	6	コーディネーター給与	4,600,000	5,354,440	-754,440	4,658,030	1名分
支出計 ④			34,058,000	32,512,863	1,545,137	30,037,323	
事務・事業費支出	1	保健衛生費	450,000	193,293	256,707	56,699	ペーパータオル、マスク等
	2	水道光熱費	560,000	528,335	31,665	540,698	電気代、ガス代
	3	消耗器具備品費	500,000	0	500,000	431,227	
	4	保険料	114,000	104,650	9,350	114,340	損害保険
	5	車輛費	300,000	60,000	240,000	50,000	ガソリン代
	6	福利厚生費	350,000	173,309	176,691	41,336	クリーニング
	7	旅費交通費	50,000	7,852	42,148	2,887	駐車場代
	8	研修研究費	150,000	170,910	-20,910	115,250	外部研修、研修時交通費
	9	事務消耗品費	1,100,000	1,214,460	-114,460	1,129,424	コピー代、事務消耗品費、その他消耗品
	10	修繕費	250,000	94,770	155,230	32,590	換気扇、エアコン
	11	通信運搬費	1,100,000	1,073,020	26,980	1,077,211	固定及び携帯電話・フロアバイタル料・切手はがき代
	12	会議費	150,000	333,349	-183,349	214,930	会場費用・会議用飲料・講師謝金等
	13	賃借料	3,200,000	3,077,087	122,913	3,335,898	家賃・駐車場・車輛リース・複合機リース
	14	広報費	300,000	5,000	295,000	6,080	ポケットティッシュ等
	15	業務委託費	50,000	10,198	39,802	50,000	社労士等負担分(按分)
	16	手数料	1,000,000	19,884	980,116	13,090	振込手数料・採用活動(按分)
	17	租税公課	50,000	52,400	-2,400	22,000	印紙代
	18	保守料	80,000	30,000	50,000	24,112	ネットワークセキュリティ
	19	諸会費	10,000	13,000	-3,000	1,000	いきいきネット費用
	20	雑支出	300,000	25,300	274,700	52,023	図書室、サロン用菓子他
支出計 ⑤			10,064,000	7,186,817	2,877,183	7,310,795	
支出合計（④+⑤）⑥			44,122,000	39,699,680	-	37,348,118	
収支差額（③-⑥）			0	2,595,569	-	2,189,291	

令和5年度 地域包括支援センター（ひいらぎの里） 収支決算書 NO.1

【収 入】

単位：円

1. 包括的支援事業分（包括的支援事業・介護予防生活支援サービス事業・一般介護予防事業）							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業収入	1	包括的支援事業委託料	32,969,000	30,691,340	2,277,660	29,932,120	
	2	総合事業による介護予防ケアマネジメント料	3,500,000	3,603,111	-103,111	3,606,755	総合事業のみ（サービスC含む）の利用
	3	コーディネーター設置委託料	3,996,000	3,996,000	0	2,764,000	
	4	補助金	0	50,000	-50,000		朝霞市高齢者支援事業委託業者等光熱費対策支援金
	5	雑収入	0		0	1,190,000	
	6				0		
収入計 ①			40,465,000	38,340,451	2,124,549	37,492,875	
2. 指定介護予防支援事業分							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業収入	1	住宅改修意見書作成料	10,000	0	10,000	2,200	
	2	予防給付による介護予防ケアマネジメント料	3,800,000	3,803,147	-3,147	3,776,796	※総合事業+予防給付利用者、または予防給付のみ利用
	3	雑収入	0	0	0	0	
	4						
	5						
収入計 ②			3,810,000	3,803,147	6,853	3,778,996	
収入合計（①+②）③			44,275,000	42,143,598	-	41,271,871	

令和5年度収入済額

42,143,598

令和5年度支出済額

41,013,426

収支差額

1,130,172

※収支差額は、当該年度の法人本部会計から繰り出し

令和5年度 地域包括支援センター（ひいらぎの里） 収支決算書 NO.2

【支 出】

単位：円

包括支援センター総支出（1.包括的支援事業分+2.指定介護予防事業分）							
項目	NO.	科目	予算額	支出済額	差引増減	前年度決算額	説明
人件費支出	1	常勤職員給与	25,200,000	18,178,368	7,021,632	24,226,089	給与・賞与
	2	非常勤職員給与	1,500,000	1,735,913	-235,913	1,620,258	給与・賞与
	3	法定福利費	3,536,000	3,014,944	521,056	2,794,756	常勤・非常勤分
	4	退職金	0	0	0	325,557	
	5	退職金共済掛金	120,000	120,000	0	75,000	常勤2人分
	6	コーディネーター給与	4,500,000	2,975,793	1,524,207	2,435,314	コーディネーター給与・賞与等
支出計 ④			34,856,000	26,025,018	8,830,982	31,476,974	
事務・事業費支出	1	保健衛生費	20,000	16,882	3,118	23,260	除菌グッズ
	2	水道光熱費	400,000	437,514	-37,514	420,361	水道・電気料金
	3	消耗器具備品費	100,000	6,020	93,980	149,397	電話台
	4	保険料	150,000	160,755	-10,755	156,832	車両保険等
	5	車輛費	600,000	622,872	-22,872	540,006	車両2台分（2027.5まで）
	6	福利厚生費	70,000	86,598	-16,598	88,332	健康診断等
	7	旅費交通費	400,000	377,881	22,119	91,474	交通費・JICA-キング等
	8	研修研究費	50,000	62,840	-12,840	23,440	研修費
	9	事務消耗品費	500,000	542,914	-42,914	787,680	コピー用紙等の事務用品
	10	修繕費	30,000	19,360	10,640	0	自転車のパンク修理代
	11	通信運搬費	350,000	498,589	-148,589	421,986	携帯電話6台分
	12	会議費	200,000	180,657	19,343	166,856	会議用飲料・謝礼等
	13	賃借料	5,400,000	4,946,302	453,698	5,638,289	家賃・駐車場・倉庫等
	14	広報費	100,000	63,300	36,700	166,300	ホームページ管理等
	15	業務委託費	40,000	36,000	4,000	9,000	一般廃棄物収集
	16	手数料	850,000	6,576,074	-5,726,074	2,762,319	本社への負担金
	17	租税公課	100,000	246,800	-146,800	569,850	収入印紙・法人市民税・県民税・市民税
	18	保守料	15,000	73,700	-58,700	13,200	自動ドア点検費用
	19	諸会費	14,000	24,440	-10,440	14,000	埼玉県社会福祉協議会会費等
	20	雑支出	30,000	8,910	21,090	9,745,569	相談マニュアル等
支出計 ⑤			9,419,000	14,988,408	-5,569,408	21,788,151	
支出合計（④+⑤）⑥			44,275,000	41,013,426	-	53,265,125	
収支差額（③-⑥）			0	1,130,172	-	-11,993,254	

令和5年度 地域包括支援センター（朝光苑） 収支決算書 NO.1

【収 入】

単位：円

1. 包括的支援事業分（包括的支援事業・介護予防生活支援サービス事業・一般介護予防事業）							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業収入	1	包括的支援事業委託料	31,169,000	31,169,000	0	27,948,350	
	2	総合事業による介護予防ケアマネジメント料	4,433,000	3,500,439	932,561	3,407,151	総合事業のみ（サービスC含む）の利用
	3	コーディネーター設置委託料	3,996,000	3,996,000	0	3,996,000	
	4	補助金	0	50,000	-50,000		朝光苑高齢者支援事業委託業者等光熱費対策支援金
	5	雑収入	0	1,058	-1,058	127,825	共助会退職配当金
	6	前期末支払資金残高	1,870,000		1,870,000	0	繰越金の使用なし
収入計 ①			41,468,000	38,716,497	2,751,503	35,479,326	
2. 指定介護予防支援事業分							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業収入	1	住宅改修意見書作成料	2,000	0	2,000	2,200	実績なし
	2	予防給付による介護予防ケアマネジメント料	2,677,000	3,479,378	-802,378	3,259,151	※総合事業+予防給付利用者、または予防給付のみ利用
	3	雑収入	0		0	0	
	4						
	5						
収入計 ②			2,679,000	3,479,378	-800,378	3,261,351	
収入合計（①+②）③			44,147,000	42,195,875	-	38,740,677	

令和5年度収入済額

42,195,875

令和5年度支出済額

40,287,441

収支差額

1,908,434

※収支差額は、当該年度の法人本部会計から繰り出し

令和5年度 地域包括支援センター（朝光苑） 収支決算書 NO.2

【支 出】

単位：円

包括支援センター総支出（1.包括的支援事業分+2.指定介護予防事業分）							
項目	NO.	科目	予算額	支出済額	差引増減	前年度決算額	説明
人件費支出	1	常勤職員給与	26,656,000	24,898,981	1,757,019	22,986,539	職員基本給・賞与5人分
	2	非常勤職員給与	2,253,000	2,143,613	109,387	2,145,285	事務1人分
	3	法定福利費	4,717,000	4,482,654	234,346	4,076,512	社会保険料
	4	退職金	534,000	534,558	-558	524,825	福祉医療機構掛金 共助会配当金
	5	退職金共済掛金	363,000	334,800	28,200	320,400	共助会掛金
	6	コーディネーター給与	5,043,000	4,472,418	570,582	4,336,970	職員基本給・賞与、社会保険料1人分
支出計 ④			39,566,000	36,867,024	2,698,976	34,390,531	
事務・事業費支出	1	保健衛生費	50,000	49,016	984	40,711	コロナ検査キット
	2	水道光熱費	1,674,000	1,088,075	585,925	1,369,420	値上げが想定以下、令和5年12月にLED照明に変更したことによる残
	3	消耗器具備品費	0	0	0	0	
	4	保険料	89,000	89,000	0	109,560	自動車・原付バイク任意保険料
	5	車輦費	72,000	41,744	30,256	86,781	車輦点検代/ガソリン代
	6	福利厚生費	85,000	63,577	21,423	66,927	職員健康診断/予防接種代
	7	旅費交通費	16,000	6,610	9,390	10,362	訪問調査交通費、駐車料金
	8	研修研究費	55,000	0	55,000	9,680	参加費無料の研修受講のため
	9	事務消耗品費	265,000	220,701	44,299	326,337	事務用消耗品・備品購入費
	10	修繕費	430,000	413,350	16,650	253,976	各所修繕費
	11	通信運搬費	486,000	410,787	75,213	437,565	第2会議室リフォーム工事
	12	会議費	334,000	159,162	174,838	201,181	地域ケア会議等
	13	賃借料	477,000	313,764	163,236	204,468	電話機・複合機・照明LED・防犯カメラ
	14	広報費	0	148,500	-148,500	0	流用(有料求人広告代)
	15	業務委託費	321,000	269,503	51,497	264,000	宿直警備委託費(按分5%)
	16	手数料	35,000	32,822	2,178	32,835	振込手数料等
	17	租税公課	27,000	22,400	4,600	30,700	印紙税
	18	保守料	156,000	82,406	73,594	130,166	複合機保守(加付)料
	19	諸会費	9,000	9,000	0	9,000	共助会年会費
	20	雑支出	0	0	0		
支出計 ⑤			4,581,000	3,420,417	1,160,583	3,583,669	
支出合計（④+⑤）⑥			44,147,000	40,287,441	-	37,974,200	
収支差額（③-⑥）			0	1,908,434	-	766,477	

令和5年度 地域包括支援センター（あさか中央） 収支決算書 NO.1

【収 入】

単位：円

1. 包括的支援事業分（包括的支援事業・介護予防生活支援サービス事業・一般介護予防事業）							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業 収 入	1	包括的支援事業委託料	32,969,000	32,969,000	0	31,895,450	
	2	総合事業による介護予防ケアマネジメント料	3,380,000	2,591,000	789,000	2,055,268	総合事業のみ（サービスC含む）の利用
	3	コーディネーター設置委託料	3,996,000	3,996,000	0	0	
	4	補助金	0	50,000	-50,000		朝霞市高齢者支援事業委託業者等光熱費対策委員会
	5	雑収入	0			1,190,000	
	6					0	
収入計 ①			40,345,000	39,606,000	739,000	35,140,718	
2. 指定介護予防支援事業分							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業 収 入	1	住宅改修意見書作成料	20,000	2,000	18,000	2,000	
	2	予防給付による介護予防ケアマネジメント料	3,380,000	3,998,000	-618,000	2,635,431	※総合事業+予防給付利用者、または予防給付のみ利用
	3	雑収入	0		0	0	
	4						
	5						
収入計 ②			3,400,000	4,000,000	-600,000	2,637,431	
収入合計（①+②）③			43,745,000	43,606,000	-	37,778,149	

令和5年度収入済額

43,606,000

-

令和5年度支出済額

42,735,282

=

収支差額

870,718

※収支差額は、当該年度の法人本部会計から繰り出し

令和5年度 地域包括支援センター（あさか中央） 収支決算書 NO.2

【支 出】

単位：円

包括支援センター総支出（1.包括的支援事業分+2.指定介護予防事業分）							
項目	NO.	科目	予算額	支出済額	差引増減	前年度決算額	説明
人 件 費 支 出	1	常勤職員給与	26,200,000	26,274,000	-74,000	23,404,465	常勤6名
	2	非常勤職員給与	0		0	0	
	3	法定福利費	4,500,000	4,073,000	427,000	3,449,486	社会保険料
	4	退職金	0		0	0	
	5	退職金共済掛金	0		0	0	
	6	コーディネーター給与	4,000,000	5,014,830	-1,014,830	0	給与、諸手当、社会保険料等
支出計 ④			34,700,000	35,361,830	-661,830	26,853,951	
事 務 ・ 事 業 費 支 出	1	保健衛生費	100,000	88,600	11,400	69,800	手指消毒、マスク、ペーパータオル
	2	水道光熱費	450,000	433,000	17,000	363,500	電気、ガス、水道
	3	消耗器具備品費	350,000	222,470	127,530	395,000	パソコン
	4	保険料	150,000	102,000	48,000	71,400	車両保険
	5	車輛費	350,000	122,450	227,550	1,601,200	車両点検費、ガソリン代
	6	福利厚生費	150,000	36,000	114,000	125,500	被服費
	7	旅費交通費	100,000	14,676	85,324	6,970	駐車料金、電車代、訪問交通費
	8	研修研究費	250,000	60,000	190,000	5,000	研修参加費、研修交通費
	9	事務消耗品費	1,300,000	950,000	350,000	1,180,800	事務文房具、印刷代、日用品
	10	修繕費	400,000	20,000	380,000	260,000	自転車
	11	通信運搬費	700,000	574,000	126,000	674,300	固定電話、携帯電話代、切手代
	12	会議費	450,000	350,466	99,534	198,000	講師謝金、会場費
	13	賃借料	2,700,000	2,620,000	80,000	2,402,400	家賃、駐車場、複合機リース代
	14	広報費	100,000	80,000	20,000	50,000	パンフレット、求人募集
	15	業務委託費	110,000	85,000	25,000	105,600	事業所ごみ回収
	16	手数料	800,000	1,427,380	-627,380	120,000	社労士、税理士、紹介会社手数料
	17	租税公課	200,000	33,000	167,000	60,000	印紙代、自動車税
	18	保守料	365,000	151,800	213,200	132,000	ALSOK
	19	諸会費	20,000	2,610	17,390	0	会費
	20	雑支出	0	0	0	0	
支出計 ⑤			9,045,000	7,373,452	1,671,548	7,821,470	
支出合計（④+⑤）⑥			43,745,000	42,735,282	-	34,675,421	
収支差額（③-⑥）			0	870,718	-	3,102,728	

令和6年度
朝霞市地域包括支援センター
収支予算書

第1圏域	内間木苑
第2圏域	つつじの郷
第3圏域	モーニングパーク
第4圏域	ひいらぎの里
第5圏域	朝光苑
第6圏域	あさか中央

令和6年度 地域包括支援センター（内間木苑） 収支予算書

【収 入】

単位：円

総収入	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
包括的支援事業分	40,630,900	40,724,000	35,000
指定介護予防支援事業分収入	3,010,000	2,930,000	80,000
収入合計	43,640,900	43,654,000	115,000

【支 出】

単位：円

総支出	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
人件費支出	37,065,900	36,714,000	351,900
事務・事業費支出	6,575,000	6,940,000	△ 365,000
支出合計	43,640,900	43,654,000	△ 13,100

令和6年度 地域包括支援センター（つつじの郷） 収支予算書

【収 入】

単位：円

総収入	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
包括的支援事業分	41,314,000	40,705,000	609,000
指定介護予防支援事業分収入	4,200,000	5,040,000	△ 840,000
収入合計	45,514,000	45,745,000	△ 231,000

【支 出】

単位：円

総支出	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
人件費支出	34,865,040	35,721,000	△ 855,960
事務・事業費支出	10,648,960	10,024,000	624,960
支出合計	45,514,000	45,745,000	△ 231,000

令和6年度 地域包括支援センター（モーニングパーク） 収支予算書

【収 入】

単位：円

総収入	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
包括的支援事業分	38,702,000	38,841,000	△ 139,000
指定介護予防支援事業分収入	4,849,000	5,281,000	△ 432,000
収入合計	43,551,000	44,122,000	△ 571,000

【支 出】

単位：円

総支出	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
人件費支出	33,755,000	34,058,000	△ 303,000
事務・事業費支出	9,796,000	10,064,000	△ 268,000
支出合計	43,551,000	44,122,000	△ 571,000

令和6年度 地域包括支援センター（ひいらぎの里） 収支予算書

【収 入】

単位：円

総収入	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
包括的支援事業分	40,800,000	40,465,000	335,000
指定介護予防支援事業分収入	3,700,000	3,810,000	△ 110,000
収入合計	44,500,000	44,275,000	225,000

【支 出】

単位：円

総支出	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
人件費支出	34,620,000	34,856,000	△ 236,000
事務・事業費支出	9,880,000	9,419,000	461,000
支出合計	44,500,000	44,275,000	225,000

令和6年度 地域包括支援センター（朝光苑） 収支予算書

【収 入】

単位：円

総収入	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
包括的支援事業分	42,030,000	41,468,000	562,000
指定介護予防支援事業分収入	3,191,000	2,679,000	512,000
収入合計	45,221,000	44,147,000	1,074,000

【支 出】

単位：円

総支出	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
人件費支出	40,775,000	39,566,000	1,209,000
事務・事業費支出	4,446,000	4,581,000	△ 135,000
支出合計	45,221,000	44,147,000	1,074,000

令和6年度 地域包括支援センター（あさか中央） 収支予算書

【収 入】

単位：円

総収入	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
包括的支援事業分	40,540,000	40,345,000	195,000
指定介護予防支援事業分収入	4,310,000	3,400,000	910,000
収入合計	44,850,000	43,745,000	1,105,000

【支 出】

単位：円

総支出	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
人件費支出	38,800,000	34,700,000	4,100,000
事務・事業費支出	6,050,000	9,045,000	△ 2,995,000
支出合計	44,850,000	43,745,000	1,105,000

令和6年度 地域包括支援センター（内間木苑） 収支予算書 NO.1

【収 入】

単位：円

1. 包括的支援事業分（包括的支援事業・介護予防生活支援サービス事業・一般介護予防事業）						
項目	NO.	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
事業 収 入	1	包括的支援事業委託料	31,184,000	31,169,000	15,000	
	2	総合事業による介護予防ケアマネジメント料	3,600,000	3,580,000	20,000	※総合事業のみ(サービスC含む)の利用
	3	コーディネーター設置委託料	3,996,000	3,996,000	0	
	4	雑収入		0	0	
	5			0		
	6	サービス区分間繰入金	1,850,900	1,979,000		本部会計より
収入計 ①			40,630,900	40,724,000	35,000	
2. 指定介護予防支援事業分						
項目	NO.	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
事業 収 入	1	住宅改修意見書作成料	10,000	30,000	-20,000	
	2	予防給付による介護予防ケアマネジメント料	3,000,000	2,900,000	100,000	※総合事業+予防給付利用者、または予防給付のみ利用
	3	雑収入		0	0	
	4					
	5					
収入計 ②			3,010,000	2,930,000	80,000	
収入合計 (①+②) ③			43,640,900	43,654,000	-	

令和6年度 地域包括支援センター（内間木苑） 収支予算書 NO.2

【支 出】

単位：円

包括支援センター総支出（1.包括的支援事業分+2.指定介護予防事業分）						
項目	NO.	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
人 件 費 支 出	1	常勤職員給与	26,000,000	26,000,000	0	5名
	2	非常勤職員給与	1,900,000	1,900,000	0	1名
	3	法定福利費	4,200,000	3,900,000	300,000	
	4	退職金	682,500	667,000	15,500	福祉医療機構
	5	退職金共済掛金	230,400	230,000	400	共助会掛金
	6	コーディネーター給与	4,053,000	4,017,000	36,000	
支出計 ④			37,065,900	36,714,000	351,900	
事 務 ・ 事 業 費 支 出	1	保健衛生費	90,000	90,000	0	感染予防用品等
	2	水道光熱費	1,250,000	1,500,000	-250,000	電気・水道等
	3	消耗器具備品費	300,000	300,000	0	事務用備品等
	4	保険料	270,000	300,000	-30,000	車両任意保険料等
	5	車輛費	300,000	280,000	20,000	車両燃料費
	6	福利厚生費	100,000	100,000	0	職員健康診断料他
	7	旅費交通費	60,000	60,000	0	駐車料金・電車賃
	8	研修研究費	80,000	80,000	0	研修費
	9	事務消耗品費	400,000	450,000	-50,000	事務文具類・印刷代等
	10	修繕費	300,000	300,000	0	緊急修理等
	11	通信運搬費	560,000	560,000	0	電話・携帯電話・切手代
	12	会議費	45,000	30,000	15,000	会議諸経費
	13	賃借料	280,000	280,000	0	電話リ-ス・FAX機・機リ-ス料
	14	広報費	100,000	100,000	0	求人募集費
	15	業務委託費	1,150,000	1,200,000	-50,000	設備管理(面積按分等)
	16	手数料	1,100,000	1,100,000	0	会計士・社労士・振込手数料等
	17	租税公課	20,000	40,000	-20,000	印紙代(R6.3支出)
	18	保守料	100,000	100,000	0	消防設備保守等
	19	諸会費	20,000	20,000	0	県老人福祉施設協議会会費他
	20	雑支出	50,000	50,000	0	予備費
支出計 ⑤			6,575,000	6,940,000	-365,000	
支出合計 (④+⑤) ⑥			43,640,900	43,654,000	-	
収支差額 (③-⑥)			0	0	-	

令和6年度 地域包括支援センター（つつじの郷） 収支予算書 NO.1

【収 入】

単位：円

1. 包括的支援事業分（包括的支援事業・介護予防生活支援サービス事業・一般介護予防事業）						
項目	NO.	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
事業 収 入	1	包括的支援事業委託料	32,984,000	32,969,000	15,000	
	2	総合事業による介護予防ケアマネジメント料	4,000,000	3,740,000	260,000	※総合事業のみ（サービスC含む）の利用
	3	コーディネーター設置委託料	3,996,000	3,996,000	0	
	4	補助金	334,000	0	334,000	地域密着型サービス整備助成補助金
	5					
	6					
収入計 ①			41,314,000	40,705,000	609,000	
2. 指定介護予防支援事業分						
項目	NO.	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
事業 収 入	1	住宅改修意見書作成料		0	0	
	2	予防給付による介護予防ケアマネジメント料	4,200,000	5,040,000	-840,000	※総合事業+予防給付利用者、または予防給付のみ利用
	3	雑収入		0	0	
	4					
	5					
収入計 ②			4,200,000	5,040,000	-840,000	
収入合計（①+②）③			45,514,000	45,745,000	-	

令和6年度 地域包括支援センター（つつじの郷） 収支予算書 NO.2

【支 出】

単位：円

包括支援センター総支出（1.包括的支援事業分+2.指定介護予防事業分）						
項目	NO.	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
人 件 費 支 出	1	常勤職員給与	24,297,840	24,181,000	116,840	常勤職員給与、諸手当5名
	2	非常勤職員給与	2,316,000	3,172,000	-856,000	非常勤職員給与、諸手当2名
	3	法定福利費	4,039,200	3,795,000	244,200	社会保険料等
	4	退職金		0	0	
	5	退職金共済掛金		0	0	
	6	コーディネーター給与	4,212,000	4,573,000	-361,000	給与、諸手当、社保等
支出計 ④			34,865,040	35,721,000	-855,960	
事 務 ・ 事 業 費 支 出	1	保健衛生費	60,000	180,000	-120,000	感染予防用品、クリーニング代
	2	水道光熱費	360,000	360,000	0	電気、水道、ガス
	3	消耗器具備品費	350,000	350,000	0	電動自転車等
	4	保険料	300,000	300,000	0	車輛、賠償責任、ボランティア
	5	車輛費	372,000	372,000	0	燃料、整備点検
	6	福利厚生費	196,000	196,000	0	職員健康診断、ストレスチェック
	7	旅費交通費	60,000	120,000	-60,000	駐車料金、訪問交通費
	8	研修研究費	60,000	120,000	-60,000	研修参加費、交通費
	9	事務消耗品費	840,000	840,000	0	文具、日用品、トナー、カウンター保守
	10	修繕費	60,000	60,000	0	自転車、自転車修繕
	11	通信運搬費	960,000	960,000	0	電話代、切手、FAX
	12	会議費	300,000	274,000	26,000	会場費、講師謝金
	13	賃借料	3,786,000	3,300,000	486,000	家賃、駐車場、リース料
	14	広報費	1,800,000	350,000	1,450,000	求人募集、採用費、ホームページ
	15	業務委託費	150,000	150,000	0	事務所清掃費
	16	手数料	720,000	680,000	40,000	税理士、社労士
	17	租税公課	60,000	350,000	-290,000	印紙、自動車税、法人税
	18	保守料	93,000	93,000	0	エアコン保守、PCセキュリティ
	19	諸会費	92,000	92,000	0	社協等按分
	20	雑支出	29,960	877,000	-847,040	
支出計 ⑤			10,648,960	10,024,000	624,960	
支出合計（④+⑤）⑥			45,514,000	45,745,000	-	
収支差額（③-⑥）			0	0	-	

令和6年度 地域包括支援センター（モーニングパーク） 収支予算書 NO.1

【収 入】

単位：円

1. 包括的支援事業分（包括的支援事業・介護予防生活支援サービス事業・一般介護予防事業）						
項目	NO.	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
事業 収 入	1	包括的支援事業委託料	31,184,000	31,169,000	15,000	
	2	総合事業による介護予防ケアマネジメント料	3,522,000	3,676,000	-154,000	※総合事業のみ（サービスC含む）の利用
	3	コーディネーター設置委託料	3,996,000	3,996,000	0	
	4	雑収入	0	0	0	
	5					
	6					
収入計 ①			38,702,000	38,841,000	-139,000	
2. 指定介護予防支援事業分						
項目	NO.	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
事業 収 入	1	住宅改修意見書作成料	10,000	10,000	0	
	2	予防給付による介護予防ケアマネジメント料	4,817,000	5,249,000	-432,000	※総合事業+予防給付利用者、または予防給付のみ利用
	3	雑収入	22,000	22,000	0	サロン参加費等
	4					
	5					
収入計 ②			4,849,000	5,281,000	-432,000	
収入合計（①+②）③			43,551,000	44,122,000	-	

令和6年度 地域包括支援センター（モーニングパーク） 収支予算書 NO.2

【支 出】

単位：円

包括支援センター総支出（1.包括的支援事業分+2.指定介護予防事業分）						
項目	NO.	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
人 件 費 支 出	1	常勤職員給与	26,200,000	25,620,000	580,000	5名分・新規採用予定分
	2	非常勤職員給与	0	0	0	
	3	法定福利費	4,130,000	3,588,000	542,000	（14%にて）
	4	退職金	0	0	0	本年度予定なし
	5	退職金共済掛金	125,000	250,000	-125,000	5年以上勤務1名分
	6	コーディネーター給与	3,300,000	4,600,000	-1,300,000	1名分
支出計 ④			33,755,000	34,058,000	-303,000	
事 務 ・ 事 業 費 支 出	1	保健衛生費	200,000	450,000	-250,000	消毒剤・除菌マット等、コロナ鑑み減
	2	水道光熱費	550,000	560,000	-10,000	電気530千、水道20千
	3	消耗器具備品費	500,000	500,000	0	事務用備品等
	4	保険料	104,000	114,000	-10,000	あいおいニッセイ同和損保
	5	車輛費	200,000	300,000	-100,000	電動自転車、ガソリン他
	6	福利厚生費	200,000	350,000	-150,000	職員健診・ユニフォーム・Wサーバー他
	7	旅費交通費	20,000	50,000	-30,000	電車、タクシー、駐車場
	8	研修研究費	200,000	150,000	50,000	外部研修等
	9	事務消耗品費	1,300,000	1,100,000	200,000	コピー・トナー・事務用品他
	10	修繕費	200,000	250,000	-50,000	施設修理他
	11	通信運搬費	1,100,000	1,100,000	0	FAX、固定・携帯電話、切手・葉書、プロバイダー他
	12	会議費	350,000	150,000	200,000	会議費、会議用飲料他
	13	賃借料	3,250,000	3,200,000	50,000	会議・駐車場・リース・電話サーバー・ダスキン等
	14	広報費	200,000	300,000	-100,000	パンフ作成他
	15	業務委託費	60,000	50,000	10,000	税理士報酬定額・アットレット
	16	手数料	1,020,000	1,000,000	20,000	人材紹介手数料、振込手数料他
	17	租税公課	100,000	50,000	50,000	印紙、自動車税
	18	保守料	80,000	80,000	0	ネットワークセキュリティ他
	19	諸会費	12,000	10,000	2,000	福祉協議会年会費・いきいきネット会費
	20	雑支出	150,000	300,000	-150,000	図書、その他雑費
支出計 ⑤			9,796,000	10,064,000	-268,000	
支出合計（④+⑤）⑥			43,551,000	44,122,000	-	
収支差額（③-⑥）			0	0	-	

令和6年度 地域包括支援センター（ひいらぎの里） 収支予算書 NO.1

【収 入】

単位：円

1. 包括的支援事業分（包括的支援事業・介護予防生活支援サービス事業・一般介護予防事業）						
項目	NO.	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
事業 収入	1	包括的支援事業委託料	32,984,000	32,969,000	15,000	
	2	総合事業による介護予防ケアマネジメント料	3,800,000	3,500,000	300,000	※総合事業のみ（サービスC含む）の利用
	3	コーディネーター設置委託料	3,996,000	3,996,000	0	
	4	雑収入	20,000	0	20,000	
	5					
	6					
収入計 ①			40,800,000	40,465,000	335,000	
2. 指定介護予防支援事業分						
項目	NO.	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
事業 収入	1	住宅改修意見書作成料	0	10,000	-10,000	
	2	予防給付による介護予防ケアマネジメント料	3,700,000	3,800,000	-100,000	※総合事業+予防給付利用者、または予防給付のみ利用
	3	雑収入	0	0	0	
	4					
	5					
収入計 ②			3,700,000	3,810,000	-110,000	
収入合計（①+②）③			44,500,000	44,275,000	-	

令和6年度 地域包括支援センター（ひいらぎの里） 収支予算書 NO.2

【支 出】

単位：円

包括支援センター総支出（1.包括的支援事業分+2.指定介護予防事業分）						
項目	NO.	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
人件 費 支出	1	常勤職員給与	25,500,000	25,200,000	300,000	常勤職員5人分
	2	非常勤職員給与	1,500,000	1,500,000	0	非常勤職員1人分
	3	法定福利費	3,000,000	3,536,000	-536,000	社会保険料等
	4	退職金	0	0	0	
	5	退職金共済掛金	120,000	120,000	0	常勤職員2人分
	6	コーディネーター給与	4,500,000	4,500,000	0	コーディネーター人件費
支出計 ④			34,620,000	34,856,000	-236,000	
事務・ 事業 費 支出	1	保健衛生費	20,000	20,000	0	除菌グッズ
	2	水道光熱費	500,000	400,000	100,000	水道・電気料金
	3	消耗器具備品費	300,000	100,000	200,000	電動自転車等
	4	保険料	200,000	150,000	50,000	車両保険
	5	車輛費	650,000	600,000	50,000	車ローン（2台分）
	6	福利厚生費	100,000	70,000	30,000	健康診断・ストレスチェック・予防接種
	7	旅費交通費	600,000	400,000	200,000	従業員交通費
	8	研修研究費	100,000	50,000	50,000	研修参加費・研修交通費
	9	事務消耗品費	500,000	500,000	0	事務用品
	10	修繕費	30,000	30,000	0	自転車バンク等
	11	通信運搬費	500,000	350,000	150,000	携帯電話（6台分）
	12	会議費	200,000	200,000	0	会議用飲料・講師謝礼
	13	賃借料	5,200,000	5,400,000	-200,000	家賃・駐車場・倉庫・電話等
	14	広報費	60,000	100,000	-40,000	ホームページ管理
	15	業務委託費	40,000	40,000	0	一般廃棄物収集
	16	手数料	500,000	850,000	-350,000	本社負担金（按分12%）
	17	租税公課	250,000	100,000	150,000	収入印紙・法人市民税・県民税・所得税
	18	保守料	80,000	15,000	65,000	自動ドア点検料
	19	諸会費	30,000	14,000	16,000	埼玉県社会福祉協議会会費等
	20	雑支出	20,000	30,000	-10,000	
支出計 ⑤			9,880,000	9,419,000	461,000	
支出合計（④+⑤）⑥			44,500,000	44,275,000	-	
収支差額（③-⑥）			0	0	-	

令和6年度 地域包括支援センター（朝光苑） 収支予算書 NO.1

【収 入】

単位：円

1. 包括的支援事業分（包括的支援事業・介護予防生活支援サービス事業・一般介護予防事業）						
項目	NO.	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
事業 収入	1	包括的支援事業委託料	31,169,000	31,169,000	0	
	2	総合事業による介護予防ケアマネジメント料	3,602,000	4,433,000	-831,000	※総合事業のみ（サービスC含む）の利用
	3	コーディネーター設置委託料	3,996,000	3,996,000	0	
	4	雑収入	16,000	0	16,000	オレンジカフェ(100円×15人×11月)
	5			0		
6	前期末支払資金残高	3,247,000	1,870,000	1,377,000	繰越金の使用	
収入計 ①			42,030,000	41,468,000	562,000	
2. 指定介護予防支援事業分						
項目	NO.	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
事業 収入	1	住宅改修意見書作成料	2,000	2,000	0	
	2	予防給付による介護予防ケアマネジメント料	3,189,000	2,677,000	512,000	※総合事業+予防給付利用者、または予防給付のみ利用
	3	雑収入		0	0	
	4					
	5					
収入計 ②			3,191,000	2,679,000	512,000	
収入合計 (①+②) ③			45,221,000	44,147,000	-	

令和6年度 地域包括支援センター（朝光苑） 収支予算書 NO.2

【支 出】

単位：円

包括支援センター総支出（1.包括的支援事業分+2.指定介護予防事業分）						
項目	NO.	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
人件 費 支出	1	常勤職員給与	27,364,393	26,656,000	708,393	職員基本給・賞与5人分
	2	非常勤職員給与	2,372,000	2,253,000	119,000	事務1人分
	3	法定福利費	4,920,578	4,717,000	203,578	社会保険料
	4	退職金	534,500	534,000	500	福祉医療機構掛金
	5	退職金共済掛金	373,400	363,000	10,400	共助会掛金
	6	コーディネーター給与	5,210,129	5,043,000	167,129	職員基本給・賞与、社会保険料1人分
支出計 ④			40,775,000	39,566,000	1,209,000	
事 務 ・ 事 業 費 支 出	1	保健衛生費	50,000	50,000	0	マスク、手指消毒代
	2	水道光熱費	1,562,000	1,674,000	-112,000	電気、ガス、水道料(按分5%)
	3	消耗器具備品費	0	0	0	
	4	保険料	98,000	89,000	9,000	自動車・原付バイク任意保険料
	5	車輛費	112,000	72,000	40,000	車輛点検代/ガソリン代
	6	福利厚生費	73,000	85,000	-12,000	職員健康診断/予防接種代
	7	旅費交通費	15,000	16,000	-1,000	訪問調査交通費、駐車料金
	8	研修研究費	45,000	55,000	-10,000	
	9	事務消耗品費	360,000	265,000	95,000	事務用消耗品・備品購入費
	10	修繕費	260,000	430,000	-170,000	各所修繕費
	11	通信運搬費	526,000	486,000	40,000	電話代/郵便代/モバイルWi-Fi
	12	会議費	352,000	334,000	18,000	地域ケア会議等
	13	賃借料	475,000	477,000	-2,000	電話機・複合機・防犯カメラ・照明LED
	14	広報費	0	0	0	
	15	業務委託費	270,000	321,000	-51,000	宿直警備委託費(按分5%)
	16	手数料	35,000	35,000	0	振込手数料等
	17	租税公課	35,000	27,000	8,000	印紙税、公用車重量税
	18	保守料	169,000	156,000	13,000	複合機保守(ｶﾝﾀﾞ)料
	19	諸会費	9,000	9,000	0	共助会年会費
	20	雑支出	0	0	0	
支出計 ⑤			4,446,000	4,581,000	-135,000	
支出合計 (④+⑤) ⑥			45,221,000	44,147,000	-	
収支差額 (③-⑥)			0	0	-	

令和6年度 地域包括支援センター（あさか中央） 収支予算書 NO.1

【収入】

単位：円

1. 包括的支援事業分（包括的支援事業・介護予防生活支援サービス事業・一般介護予防事業）						
項目	NO.	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
事業 収入	1	包括的支援事業委託料	32,984,000	32,969,000	15,000	
	2	総合事業による介護予防ケアマネジメント料	3,560,000	3,380,000	180,000	総合事業のみ（サービス含む）の利用
	3	コーディネーター設置委託料	3,996,000	3,996,000	0	
	4	雑収入	0	0	0	
	5					
	6					
収入計 ①			40,540,000	40,345,000	195,000	
2. 指定介護予防支援事業分						
項目	NO.	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
事業 収入	1	住宅改修意見書作成料	10,000	20,000	-10,000	
	2	予防給付による介護予防ケアマネジメント料	4,300,000	3,380,000	920,000	総合事業+予防給付利用者、または予防給付のみ利用
	3	雑収入	0	0	0	
	4					
	5					
収入計 ②			4,310,000	3,400,000	910,000	
収入合計（①+②）③			44,850,000	43,745,000	—	

令和6年度 地域包括支援センター（あさか中央） 収支予算書 NO.2

【支出】

単位：円

包括支援センター総支出（1.包括的支援事業分+2.指定介護予防事業分）						
項目	NO.	科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
人件 費 支出	1	常勤職員給与	29,500,000	26,200,000	3,300,000	常勤7名
	2	非常勤職員給与	0	0	0	
	3	法定福利費	4,500,000	4,500,000	0	社会保険料
	4	退職金		0	0	
	5	退職金共済掛金		0	0	
	6	コーディネーター給与	4,800,000	4,000,000	800,000	給与、諸手当、社会保険料等
支出計 ④			38,800,000	34,700,000	4,100,000	
事務・ 事業 費 支出	1	保健衛生費	40,000	100,000	-60,000	手指消毒、マスク、ペーパータオル
	2	水道光熱費	430,000	450,000	-20,000	電気、ガス、水道
	3	消耗器具備品費	255,000	350,000	-95,000	パソコン、電動自転車
	4	保険料	105,000	150,000	-45,000	車両保険
	5	車両費	120,000	350,000	-230,000	車両点検費、ガソリン代
	6	福利厚生費	50,000	150,000	-100,000	被服費
	7	旅費交通費	28,000	100,000	-72,000	駐車料金、電車代、訪問交通費
	8	研修研究費	78,000	250,000	-172,000	研修参加費、研修交通費
	9	事務消耗品費	700,000	1,300,000	-600,000	事務文房具、印刷代、日用品
	10	修繕費	49,000	400,000	-351,000	自転車、インターホン工事
	11	通信運搬費	578,000	700,000	-122,000	固定電話、携帯電話代、切手代
	12	会議費	300,000	450,000	-150,000	講師謝金
	13	賃借料	2,650,000	2,700,000	-50,000	家賃、駐車場、複合機リース代
	14	広報費	40,000	100,000	-60,000	パンフレット
	15	業務委託費	88,000	110,000	-22,000	事業所ごみ回収
	16	手数料	330,000	800,000	-470,000	社労士、税理士
	17	租税公課	44,000	200,000	-156,000	印紙代、自動車税
	18	保守料	155,000	365,000	-210,000	ALSOK
	19	諸会費	10,000	20,000	-10,000	会費
	20	雑支出		0	0	
支出計 ⑤			6,050,000	9,045,000	-2,995,000	
支出合計（④+⑤）⑥			44,850,000	43,745,000	—	
収支差額（③-⑥）			0	0	—	

令和5年度
朝霞市地域包括支援センター
事業実績報告書

第1圏域	内間木苑
第2圏域	つつじの郷
第3圏域	モーニングパーク
第4圏域	ひいらぎの里
第5圏域	朝光苑
第6圏域	あさか中央

朝霞市地域包括支援センター 運営方針		評価基準	自己評価	市評価
			(○ △ ×)	
基本的事項	事業計画の策定	地域の実情に応じた課題・計画を策定し、各地域での特色のある創意工夫した事業運営をしている	○	○
	人員配置基準	基準に沿った有資格者等を常勤で配置している(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(これらに準ずる者を含む))	○	○
	職員の姿勢	地域の高齢者の最善の利益を図るために業務を遂行している	○	○
	市との連携	市と連携を図り、情報の共有をすることにより、困難ケース等の対応をしている	○	○
	地域との連携	地域を支える中核的な機関として、地域における関係者と連携し、資源を活用し高齢者を支援している	○	○
	個人情報の保護	保有する個人情報が業務に関係のない目的で使用され、漏洩することがないように個人情報に関する責任者(常勤)を配置し、情報管理を徹底化している	○	○
	広報活動	パンフレットやチラシ等を作成し、地域住民及び関係者へ積極的に広報している	○	○
	苦情対応	センターに関する苦情等については、その内容を記録し、迅速かつ適切に対応している	○	○
重点項目	目標と課題	実施報告と評価	市の評価	
	目標：地域や関係機関と連携し、早期発見や見守りに努める。 課題：地域や関係機関との定期的な交流 地域の支援の輪の構築	包括主催の講座や介護サービス事業所が企画する講師の依頼など相互において業務の理解が進み、関係がより深まった。 また、認サポ修了生への懇談会を実施後、包括の事業において修了生の協力を得ることができ、関係構築を深めることが出来ている。	定期的に「第1圏域ネットワーク会議」を開催する等、地域の介護サービス事業所との連携強化は一体的な地域支援の一助となっており、個別のケースにおいても連携を図っていくことが期待できる。 講座受講後の認サポ修了生へのフォローアップは地域住民への意識向上や参加意欲をより高める良いきっかけ作りに繋がるので今後も継続的に取り組んでいただきたい。	

包括的支援事業(包括支援センターの運営) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
(1)総合相談支援業務		
<p>課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)</p> <p>目標:地域包括支援センターの周知。関係機関と見守りを含めた共有。</p> <p>課題:関係機関との定期的な話し合い、催しを通しての連携と市民への情報発信・認知度向上に努める。</p>		
<p>①実態把握 ②総合相談業務 ③地域包括支援ネットワーク構築業務 ④地域住民への啓発活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のニーズ、地域ニーズ・特性の把握 ・総合的かつ迅速に相談できる体制(ワンストップサービスの拠点) ・民生委員、自治会・町内会、地域住民等との情報共有・連携 ・本人・家族・事業者・関係団体・地域住民等の人的資源の把握とネットワークの構築 ・地域の自主グループ活動の育成、支援 ・ボランティア育成等の市民向け講座の実施 ・機関紙等の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談・支援(窓口・電話・訪問ほか) ・出張相談会 (年2回) ・民生委員定例会への参加 (東北部・北部 各2回) ・自治会・町内会との連携 (随時) ・老人会・サロン等への支援 (随時) ・老人会・サロン等での出前講座 (年5回) ・市民向け講座 (年2回)7月21日防犯講座・9月28日ヤクルト腸内講座 ・機関紙・広報誌の発行 (年2回) ・見守りを要する高齢者等への支援 (随時) ・UR 浜崎団地職員・民生委員・包括での情報共有会の継続。イベントの共催(年2回) ・ノルディックウォーク自主グループ支援(随時) ・朝霞市避難行動要支援者台帳の活用、地域の関係者(自治会長・民生委員)との共有(年1回)
<p>実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)</p> <p>早期発見・支援を目的とし要支援者台帳訪問を今年も実施し、状況把握や適切な支援に努めた。今後も継続し早期対応に尽力していきたい。UR・民生との情報交換会では、それぞれの情報を共有することで、個々での見守りから面としての見守りになっている。また共催のイベントを2回行ない、40人を超えての参加があり、地域の方が交流できるきっかけ作りや包括を知って頂く機会になっている。町内関係者や地域の活動団体等からも様々なご相談・講師依頼等頂く事が出来ており、引き続き関係性を維持できるように努めていきたい。</p>		
(2)権利擁護業務		
<p>課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)</p> <p>目標:高齢者の人権を擁護できるよう、迅速に適切な関係機関と連携を図る。チラシ等で周知を行ない、市民の意識向上に努める。</p> <p>課題:高齢者の不利益となるような事象がある。</p>		
<p>①成年後見制度の活用 ②高齢者虐待の防止及び対応 ③困難事例への対応 ④消費者被害の防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の周知、活用 ・高齢者虐待の状況把握と迅速適切な対応 ・介護者の孤立防止、認知症への理解啓発、高齢者権利の意識醸成 ・困難事例に対する専門職の連携、各種会議等の活用による対応検討 ・警察と連携した消費者被害防止の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別・老人会・サロン等への周知 (随時) ・民生委員や関係機関との連携 (随時) ・専門職の連携や会議等を活用した事例検討 (随時) ・消費者被害防止や交通安全等の啓発 (随時)
<p>実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)</p> <p>圏域内で消費者被害に遭われてしまった方もいた事から、埼玉県警防犯ひまわりによる講座を行なった。寸劇を通しての説明で分かりやすかったとの感想を多くいただいた。消費生活センターとも連携を取り、解決へ向けての支援を行なった。今後もより連携を深め、スムーズな早期連携に努めたい。</p> <p>事象が発生した際には、引き続き関係機関と情報共有を行ない迅速に対応していきたい。</p>		
(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
<p>課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)</p> <p>目標:保険給付によらないケアマネジメントの推進。地域に根差された事業所になって頂けるよう橋渡しの役割を担う。</p> <p>課題:社会資源についての情報提供。包括を通してサービス事業所間の連携。</p>		
<p>①包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備 ②介護支援専門員に対する支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施 ・関係機関(フォーマル・インフォーマル含む)との連携 ・介護支援専門員のネットワーク構築 ・介護支援専門員の資質向上のための情報提供、研修の実施 ・介護支援専門員への個別相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関連絡会議への参加 (随時) ・全包括合同のケアマネカフェ (年3回) ・居宅介護支援事業所の訪問 (随時) ・介護支援専門員への個別支援 (随時) ・介護施設運営推進会議(随時) ・第1圏域ネットワーク会議(地域密着型サービス事業者との連携)(原則月1回)
<p>実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)</p> <p>横のつながりや事業所間での連携を目的とした第1圏域ネットワーク会議を定期的に行うことによって、包括の事業(声掛け訓練や2層協議体)への参加依頼や介護事業所から勉強会の講師依頼を受ける等、相互の連携がより取れていると感じている。圏域内の居宅介護支援事業所に定期的に訪問し、現状や課題、悩みなどをお聞きし包括とともに、解決へ方向へ導けるよう対応していきたい。</p>		
(4)介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)		
<p>課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)</p> <p>目標:地域の中での生きがいや役割を持っていただく。</p> <p>課題:重度化防止や早期発見に努めることができる。</p>		
<p>① 介護予防・日常生活支援総合事業 1)介護予防・生活支援サービス事業 対象者のケアマネジメント 2)一般介護予防事業 ② 指定介護予防支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・生活支援サービス事業対象者のケアマネジメント ・介護予防把握事業(例:閉じこもり等で何らかの支援を要する人を把握し、介護予防の活動へつなげる) ・介護予防普及啓発事業(例:介護予防に関する講座や教室・講演会を開催し介護予防の重要性を周知) ・地域介護予防活動支援事業(例:地域住民が主体となって行う介護予防の活動に対し支援などを行う) ・地域リハビリテーション活動支援事業(例:介護予防の取組を強化するため、地域の介護予防活動にリハビリテーション専門職等が参加し活動を支援) ・要支援認定者へのケアマネジメント (介護保険給付サービス利用者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業対象者へのケアマネジメント (随時) ・サービスCの有効的活用 (随時) ・一般介護予防事業への支援 (随時) ・介護予防に関する講座・教室等 (年1回以上) ・地域の介護予防団体への支援 (随時) ・要支援認定者へのケアマネジメント (随時)
<p>実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)</p> <p>地域のサロンや包括が立ち上げた体操へのお声掛けを行ない、その活動の中で関係性を築き緩やかな見守りを継続していきたい。</p> <p>体操などの介護予防に捉われず、市民の方が楽しい・続けたいと思える社会資源の提供をしていきたい。</p>		

包括的支援事業(社会保障充実分) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
(5)在宅医療・介護連携推進事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) 目標:連携が迅速に行えるように努める。 将来の生き方に対して考え、意思決定を行なうことができる。 課題:関係機関との顔の見える関係作りの継続。 ACPに対する意識の醸成。		
<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護サービスの情報共有支援 圏域毎での情報共有支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の医療・介護の資源の把握 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進 在宅医療・介護連携に関する相談支援 地域住民への普及啓発 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修など、地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携に関する相談支援 (随時) 地域住民への普及啓発 (随時) 市が主催する会議・研修会への出席・参加
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(どういったことが得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 医療機関との連携(特に圏域内)を普段から取っていることで、有事の際の連携もよりスムーズになるよう推進していきたい。		
(6)生活支援体制整備事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) 目標:他協議体との交流会を図り、多面的な考え方を学び、地域に還元できる。 課題:協議体の周知を行ない、参加者(メンバー)を募る。		
<ul style="list-style-type: none"> 地域における介護予防及び互助活動につながる、住民主体の活動グループの発掘・育成・支援 	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する生活支援ニーズへの対応 社会資源の発掘・育成・活用 協議体の地域の実情に応じた活動支援 地域のつながりの重要性の啓発、多様な主体間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 社会資源の発掘・育成・活用 (随時) 協議体の地域の実情に応じた活動支援 (随時) 第2層協議体 和の会の運営支援(月1回) 和み通信発行(年2回)地域住民に協議体の周知
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 2層協議体の中で、グループワークや簡単なスポーツの紹介と体験などを交え、会議だけでないよう変化をつけ行なう工夫をしているが、新たな社会資源の立ち上げなどには至っていない。それでもメンバーが声を掛けて下さり、新たな参加者が入られている。このような会が定期的に開催している事を一層周知していきたい。		
(7)認知症総合支援事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) 目標:地域の認知症支援の輪の強化を目指す。 課題:認サポ講座の開催方法を検討し、認サポ修了生の活用場を作る。		
①認知症の早期対応に向けた支援 ②認知症の方と家族への支援 ③医療・介護・家族の連携支援 ④認知症についての地域理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> 初期集中支援チーム員として認知症の方及び家族に早期対応できる支援体制の構築 認知症に関する知識習得機会の提供 認知症専門医や地域の支援機関との連携、困難事例の検討・支援 認知症カフェや徘徊高齢者見守り支援事業の実施により地域の連携支援、家族介護者の負担軽減 認知症サポーター養成講座の実施 ステップアップ講座等による地域の支援者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症への早期対応 (随時) 認知症ケアガイドブック等の活用 (随時) 認知症カフェ(オレンジカフェ) (概ね月1回) 徘徊高齢者の声かけ訓練 (年1回) 知恵袋、家族介護者教室 (年2回) 認知症サポーター養成講座 (年1回) 認知症サポーター養成講座終了生との懇談会(年1回)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 圏域内の事業所や民生委員(オレンジリング取得者)にもお手伝い頂き、高齢者声掛け訓練を開催することが出来た。懇談会を実施し、対応方法のおさらいや当事者の思い、どのような地域になったらよいかなど話し合うことが出来た。 オレンジカフェも支援者の輪は少しずつ広がっているが、当事者の参加が少ないため、地域へのPRに努めたい。		
(8)地域ケア会議推進事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) 目標:住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域の実現。 課題:個別課題から地域の問題点を見出す。		
<ul style="list-style-type: none"> 多職種協働による、個別ケースの自立生活支援検討の会議から、地域の課題を把握することと、解決策を検討する機能を有する会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 個別課題の解決 介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援 高齢者の実態把握や課題解決のためのネットワーク構築 地域課題の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 包括単位の地域ケア会議 (年4回)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) ケアマネージャーがより社会資源へ目を向けて頂けるようなお声掛けと同時に資源の情報提供を随時行っていきたい。ケア会議(中央・圏域)で浮かび上がった課題への話し合いも必要であると考え。		

朝霞市地域包括支援センター 運営方針		評価基準	自己評価	市評価
			(○ △ ×)	
基本的事項	事業計画の策定	地域の実情に応じた課題・計画を策定し、各地域での特色のある創意工夫した事業運営をしている	○	○
	人員配置基準	基準に沿った有資格者等を常勤で配置している(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(これらに準ずる者を含む))	△	△
	職員の姿勢	地域の高齢者の最善の利益を図るために業務を遂行している	○	○
	市との連携	市と連携を図り、情報の共有をすることにより、困難ケース等の対応をしている	○	○
	地域との連携	地域を支える中核的な機関として、地域における関係者と連携し、資源を活用し高齢者を支援している	○	○
	個人情報の保護	保有する個人情報に業務に関係のない目的で使用され、漏洩することがないように個人情報に関する責任者(常勤)を配置し、情報管理を徹底化している	○	○
	広報活動	パンフレットやチラシ等を作成し、地域住民及び関係者へ積極的に広報している	○	○
	苦情対応	センターに関する苦情等については、その内容を記録し、迅速かつ適切に対応している	○	○
重点項目	目標と課題	実施報告と評価	市の評価	
	目標：フレイル予防の土台作り 課題：地域交流の機会の確保 場所や人材を活用した支援者の発掘	第2層協議体と連携し、イベントを通じた人材の発掘、フレイル予防の土台作りとして、活動拠点作りの支援を行い、活動につなげた。次年度以降も活動場所を探すなど情報提供を行い、土台作りとなる拠点作り活動を継続していきたい。	フレイル予防に関して、自然に予防できる環境整備や住民啓発の組み合わせが効果的であり、その環境整備として、活動拠点を増やしていたことが伺える。また、その活動の中で市民同士の交流により別のサロンへ紹介があるなど地域の輪が広がっていった。今後連鎖的に良い循環が広がっていくことを期待したい。	

包括的支援事業(包括支援センターの運営) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
(1)総合相談支援業務		
目標と課題 目標:フレイル予防や地域交流を図る 課題:運動や情報交換ができる交流の機会の確保		
①実態把握 ②総合相談業務 ③地域包括支援ネットワーク構築業務 ④地域住民への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のニーズ、地域ニーズ・特性の把握 ・総合的かつ迅速に相談できる体制(ワンストップサービスの拠点) ・民生委員、自治会・町内会、地域住民等との情報共有・連携 ・本人・家族・事業者・関係団体・地域住民等の人的資源の把握とネットワークの構築 ・地域の自主グループ活動の育成、支援 ・ボランティア育成等の市民向け講座の実施 ・機関紙等の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談受付(窓口・電話・訪問・メールほか)(随時) ・出張相談会(年2回) ・民生委員定例会への参加(各地区年9回) ・自治会・町内会との連携(随時) ・老人会・サロン等への支援(随時) ・老人会・サロン等での出前講座(随時) ・市民向け講座(年6回) 5/19 暮らしの中の血流改善講座 6/12・26 スマホ勉強会 6/23 弁護士さんが教えてくれる成年後見講座と相続講座 11/17 葬儀の実際とグリーフサポート 1/22・29 スマホ勉強会 2/15 おなか健康教室 ・季刊紙・広報誌の発行(年6回) ・見守りを要する高齢者等への支援(随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 老人会(シニアクラブ)やサロンへ訪問し、フレイル予防や認知症予防活動を行った。参加者の方から健康や運動、防犯等の講座の開催希望など多くの意見をいただくことができ、参加者間のつながりを持つことができた。6年度もイベントや活動中のサロン、シニアクラブ等のご案内を行い、参加者同士の交流の機会を確保していきたい。		
(2)権利擁護業務		
目標と課題 目標:地域全体での消費者被害防止の意識向上 課題:関係機関との連携と、住民への普及啓発		
①成年後見制度の活用 ②高齢者虐待の防止及び対応 ③困難事例への対応 ④消費者被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の周知、活用 ・高齢者虐待の状況把握と迅速適切な対応 ・介護者の孤立防止、認知症への理解啓発、高齢者権利の意識醸成 ・困難事例に対する専門職の連携、各種会議等の活用による対応検討 ・警察と連携した消費者被害防止の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別・老人会・サロン等への周知(随時) ・民生委員や関係機関との連携(随時) ・専門職の連携や会議等を活用した事例検討(随時) ・消費者被害防止や交通安全等の啓発(随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 定期的に包括主催の集いの場において、警察と連携し、啓発を行った。また、地域の集いの場や個人宅訪問時にも消費者被害防止や交通安全のチラシを配布し、啓発を図っている。6年度も継続していきたい。		
(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
目標と課題 目標:事業所間の連携の強化 課題:新事業所も含めた事業所間の情報交換やネットワーク構築の充実		
①包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備 ②介護支援専門員に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施 ・関係機関(フォーマル・インフォーマル含む)との連携 ・介護支援専門員のネットワーク構築 ・介護支援専門員の資質向上のための情報提供、研修の実施 ・介護支援専門員への個別相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・包括主催地域ケア会議での事例検討(年4回) ・地域密着型運営推進会議の参加(随時) ・関係機関連絡会議への参加(随時) ・全包括合同のケアマネカフェ(年3回) 6/16、10/20、2/16 ・居宅介護支援事業所の訪問(随時) ・介護支援専門員への個別支援(随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 個別の訪問を通じて、包括と事業者間の連携とネットワークを構築することができた。また、全包括合同のケアマネカフェにおいても事業者間のネットワーク構築を行うことができた。しかし、圏域内において、情報交換会を行うことができなかったため、6年度の課題とした。		
(4)介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)		
目標と課題 目標:介護予防や地域交流の拠点づくり 課題:多方面からの地域の情報収集と、サロンの再開や新規開拓支援		
① 介護予防・日常生活支援総合事業 1) 介護予防・生活支援サービス事業 対象者のケアマネジメント 2) 一般介護予防事業 ② 指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・生活支援サービス事業対象者のケアマネジメント ・介護予防把握事業(例:閉じこもり等で何らかの支援を要する人を把握し、介護予防の活動へつなげる) ・介護予防普及啓発事業(例:介護予防に関する講座や教室・講演会を開催し介護予防の重要性を周知) ・地域介護予防活動支援事業(例:地域住民が主体となって行う介護予防の活動に対し支援などを行う) ・地域リハビリテーション活動支援事業(例:介護予防の取組を強化するため、地域の介護予防活動にリハビリテーション専門職等が参加し活動を支援) ・要支援認定者へのケアマネジメント(介護保険給付サービス利用者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業対象者へのケアマネジメント(随時) ・サービスCの有効的活用(随時) ・一般介護予防事業への支援(随時) ・介護予防に関する講座・教室等(年2回) 5/19 暮らしの中の血流改善講座 2/15 おなか健康教室 ・地域の介護予防団体への支援(随時) ・要支援認定者へのケアマネジメント(随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 第2層協議体や地域住民からの拠点づくりの相談があり、6年度につながる拠点づくりのきっかけができた。6年度も地域や関係団体などと連携を図りながら、情報発信を行い、拠点づくりを行っていききたい。また、包括主体で行っているサロンも包括主体ではなく、地域住民を巻き込んだ活動になるように検討していきたい。		

包括的支援事業(社会保障充実分) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
(5)在宅医療・介護連携推進事業		
目標と課題 目標:医療機関や関係機関との連携強化 課題:地域包括支援センターの周知、役割や機能についての情報提供		
<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護サービスの情報共有支援 圏域毎での情報共有支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の医療・介護の資源の把握 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進 在宅医療・介護連携に関する相談支援 地域住民への普及啓発 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修など、地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携に関する相談支援 (随時) 地域住民への普及啓発 (随時) 市が主催する会議・研修会への出席・参加
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(どういったことが得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 地域の医療機関や薬局などとの連携や包括の周知、役割、機能について、定期的な訪問を通して、情報提供を実施することができた。今後も現在、連携を取っている医療機関や薬局以外にも医療機関や薬局、歯科などにも、包括の周知と情報提供を行っていきたい。		
(6)生活支援体制整備事業		
目標と課題 目標:第2層協議体の活動活性化 課題:協議体の周知と幅広い世代の参加		
<ul style="list-style-type: none"> 地域における介護予防及び互助活動につながる、住民主体の活動グループの発掘・育成・支援 	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する生活支援ニーズへの対応 社会資源の発掘・育成・活用 協議体の地域の実情に応じた活動支援 地域のつながりの重要性の啓発、多様な主体間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 社会資源の発掘・育成・活用 (随時) 協議体の地域の実情に応じた活動支援 (随時) 第2層協議体(楽しみ隊)の定例会への参加(月1回) 住民主体の活動支援(随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 第2層協議体主催のイベントに協力し、参加者への活動周知を行うことができ、終了後に第2層協議体への参加や協力の希望をいただくことができました。イベント内容も「食」をテーマに行ったことで、40代～50代の参加者もあり、幅広い世代への周知を行うことができたのは、成果だと考えます。今後の第2層協議体の活動への協力希望者にも声をかけ、活動範囲を広げていきたい。		
(7)認知症総合支援事業		
目標と課題 目標:認知症当事者及び家族の実態把握 課題:オレンジカフェの周知と、オレンジカフェ参加への働きかけ		
①認知症の早期対応に向けた支援 ②認知症の方と家族への支援 ③医療・介護・家族の連携支援 ④認知症についての地域理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> 初期集中支援チーム員として認知症の方及び家族に早期対応できる支援体制の構築 認知症に関する知識習得機会の提供 認知症専門医や地域の支援機関との連携、困難事例の検討・支援 認知症カフェや徘徊高齢者見守り支援事業の実施により地域の連携支援、家族介護者の負担軽減 認知症サポーター養成講座の実施 ステップアップ講座等による地域の支援者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症への早期対応 (随時) 認知症ケアガイドブック等の活用 (随時) 認知症カフェ(オレンジカフェ) (月1回) 徘徊高齢者の声かけ訓練 (年1回) 3/16 リン 知恵袋、家族介護者教室 (年2回協力参加) 8月、12月 認知症サポーター養成講座 (年2回) 7月、2月 地域の支援者の育成 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 総合相談やイベントを通して、オレンジカフェの周知を行い、新しい参加者を増やすことができた。参加者の中にも認知症の当事者やその家族のご参加もあった。残念ながら参加者と活動内容が希望内容と合わず、継続参加につなげることができなかった。6年度はこの反省を踏まえ、活動内容を見直して行きたい。		
(8)地域ケア会議推進事業		
目標と課題 目標:本人の望んだ暮らしの実現・継続、地域課題の抽出 課題:ケアマネジャーとの情報共有。多職種からの具体策の提示		
<ul style="list-style-type: none"> 多職種協働による、個別ケースの自立生活支援検討の会議から、地域の課題を把握すること、解決策を検討する機能を有する会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 個別課題の解決 介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援 高齢者の実態把握や課題解決のためのネットワーク構築 地域課題の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 包括単位の地域ケア会議 (年4回) 開催時期 5月、8月、11月、2月
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 包括主催の地域ケア会議を通じて、少ないながらも地域の情報を抽出することができたが、その課題の解決に道筋を立てることができなかったため、今後の課題としたい。今後も解決できる課題を掘り起こし、ケアマネジャーにフィードバックできるようにすすめていきたい。		

令和5年度 朝霞市地域包括支援センター実績報告書 (基本的事項・重点項目) 地域包括支援センター名(モーニングパーク)

朝霞市地域包括支援センター 運営方針		評価基準	自己評価	市評価
			(○ △ ×)	
基本的事項	事業計画の策定	地域の実情に応じた課題・計画を策定し、各地域での特色のある創意工夫した事業運営をしている	○	○
	人員配置基準	基準に沿った有資格者等を常勤で配置している(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(これらに準ずる者を含む))	△	△
	職員の姿勢	地域の高齢者の最善の利益を図るために業務を遂行している	○	○
	市との連携	市と連携を図り、情報の共有をすることにより、困難ケース等の対応をしている	○	○
	地域との連携	地域を支える中核的な機関として、地域における関係者と連携し、資源を活用し高齢者を支援している	○	○
	個人情報の保護	保有する個人情報が業務に関係のない目的で使用され、漏洩することがないように個人情報に関する責任者(常勤)を配置し、情報管理を徹底化している	○	○
	広報活動	パンフレットやチラシ等を作成し、地域住民及び関係者へ積極的に広報している	○	○
	苦情対応	センターに関する苦情等については、その内容を記録し、迅速かつ適切に対応している	○	○
重点項目	目標と課題	実施報告と評価	市の評価	
	目標： ・多問題を抱える高齢者等への支援体制の充実 ・認知症等高齢者への理解促進 課題： ・職員の対応力向上と分野にとらわれない関係機関との連携 ・家族や地域住民が認知症等に関心をもち、身近なもの捉えるための普及啓発	・多問題の高齢者等への支援については、市の担当部署や社会福祉協議会、民生委員などとの連携を図ることで強化を図っている。認知症等高齢者へオレンジカフェや医療機関のリハビリ専門職によるウォーキング講座を実施したことで職員間の連携が取りやすくなった。また、介護予防を主テーマで始めたが、運動機能向上が人的交流の機会を作り、認知症予防に繋がることを再発見した。その点は、アンケート等から地域住民に一定の理解を得たと考えている。	複合的な課題を抱える高齢者世帯等への支援には多職種連携が重要であり、医療・介護・地域の活動団体等と連携を図ることは高齢者等が望む暮らしの実現のための支援体制の構築強化となっている。 ウォーキングの市民向け講座の中で、身体的フレイル以外にも、社会的フレイルや心理的・認知的フレイルの予防に繋がることを啓発できたことは、地域住民への自身の健康意識の向上に繋がったと評価できる。	

包括的支援事業(包括支援センターの運営) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
(1)総合相談支援業務		
目標と課題 目標:複雑化する問題を抱える高齢者やその家族の QOL の向上 課題:地域住民や関係機関との連携による更なる支援体制の充実		
①実態把握 ②総合相談業務 ③地域包括支援ネットワーク構築業務 ④地域住民への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のニーズ、地域ニーズ・特性の把握 ・総合的かつ迅速に相談できる体制(ワンストップサービスの拠点) ・民生委員、自治会・町内会、地域住民等との情報共有・連携 ・本人・家族・事業者・関係団体・地域住民等の人的資源の把握とネットワークの構築 ・地域の自主グループ活動の育成、支援 ・ボランティア育成等の市民向け講座の実施 ・機関紙等の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・出張相談会 (1回) ・相談支援(窓口・相談の各機能)やラジオ体操後の相談(ラジオ体操:83回 相談:随時) ・介護保険の相談・代行支援(随時) ・地域の活動等への支援及び自主グループ立ち上げ(1回) 「老セン体操」(朝霞中央クリニック及び塩味病院リハビリ専門職、あさか中央、朝霞市社協との共催) ・民生委員との情報交換(南部:(ありがとうの会参加)16回 南西部(情報交換会):4回) ・家族介護者の相談、支援(随時) ・地域ネットワーク構築の為に専門職による講座(ウォーキング講座:2回) ・自治会・町内会との連携(随時) ・介護保険説明会(1回) ・老人会・サロン等への支援及び出前講座(24回) 老人会3回、溝沼サロン11回、シニアルームサロン11回 ・回覧版でのイベント情報の周知(12回) ・地域団体との調整(随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 無料健康相談会やラジオ体操をあさか中央と協力して実施することで、圏域を超えた交流が進んでいる。健康相談、介護予防、身体機能の評価を伝えることが出来た。その際、明らかに課題を抱えているであろう住民に対しては、介入を試みているが、介護予防サービスや地域資源へつなげることを今後の課題としている。		
(2)権利擁護業務		
目標と課題 目標:必要とされる人への成年後見制度等の有用性の理解や活用の促進 課題:成年後見に関して専門職間の連携強化、情報共有		
①成年後見制度の活用 ②高齢者虐待の防止及び対応 ③困難事例への対応 ④消費者被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の周知、活用 ・高齢者虐待の状況把握と迅速適切な対応 ・介護者の孤立防止、認知症への理解啓発、高齢者権利の意識醸成 ・困難事例に対する専門職の連携、各種会議等の活用による対応検討 ・警察と連携した消費者被害防止の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別・老人会・サロン等への周知(随時) ・民生委員や関係機関との連携(随時) ・専門職の連携や会議等を活用した事例検討(1回) ・家族介護教室(1回) 第3部:令和5年7月29日 ・消費者被害防止や交通安全等の広報等による啓発 高齢者を守るお助けかわら版(5回)特殊詐欺注意喚起チラシ(随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 成年後見制度については、実際に必要とされている住民に対しての申請を行うためには、実務に接する機会が無いことが挙げられることが分かった。今後、成年後見制度の利用についての講座や啓蒙の機会をさらに設けていく予定。また、実際には介入することが難しいことが課題である。		
(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
目標と課題 目標:ケアマネジャーがより相談しやすい包括支援センターとなるための支援体制の充実 課題:きめ細やかな支援の充実、他関係機関との連携強化		
①包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備 ②介護支援専門員に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施 ・関係機関(フォーマル・インフォーマル含む)との連携 ・介護支援専門員のネットワーク構築 ・介護支援専門員の資質向上のための情報提供、研修の実施 ・介護支援専門員への個別相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施(5回) ・関係機関連絡会議及び地域密着型運営推進会議の参加(17回) ・全包括合同のケアマネカフェ(4回) ・介護支援専門員への個別支援(随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 全包括合同のケアマネカフェにおいては、市内の介護支援専門員の研修と交流の場になっている。また、介護支援専門員からの個別支援の依頼も増えており、より一層、伴走支援をしていくことが必要であり、そのニーズに対応する為の対応力の向上が課題である。		
(4)介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)		
目標と課題 目標:高齢者の介護予防・フレイル予防 課題:地域交流や介護予防・フレイル予防に資する機会の再開・創出		
① 介護予防・日常生活支援総合事業 1) 介護予防・生活支援サービス事業 対象者のケアマネジメント 2) 一般介護予防事業 ② 指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・生活支援サービス事業対象者のケアマネジメント ・介護予防把握事業(例:閉じこもり等で何らかの支援を要する人を把握し、介護予防の活動へつなげる) ・介護予防普及啓発事業(例:介護予防に関する講座や教室・講演会を開催し介護予防の重要性を周知) ・地域介護予防活動支援事業(例:地域住民が主体となって行う介護予防の活動に対し支援などを行う) ・地域リハビリテーション活動支援事業(例:介護予防の取組を強化するため、地域の介護予防活動にリハビリテーション専門職等が参加し活動を支援) ・要支援認定者へのケアマネジメント(介護保険給付サービス利用者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・生活支援サービス・事業対象者へのケアマネジメント(随時) ・サービスCの有効的活用(随時) ・一般介護予防事業への支援(21回) ありがとうの会、いきいきネットワーク定例会、いきいきふれあい広場、ものづくり体験会 ・介護予防に関する講座・教室等(14回) 太極拳、ウォーキング講座 ・地域の介護予防団体への支援(31回) チーム富士山、老セン体操、切り絵、ルディックウォーク「もみじの会」「ひざおりの会」、フレッシュアップ体操 ・要支援認定者へのケアマネジメント(随時) ・リハビリ専門職による地域リハビリテーション活動支援事業(80回) 理学療法士による評価およびラジオ体操への参加
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) リハビリ専門職による地域リハビリテーション活動を2回実施。ウォーキングというテーマで足の筋力強化などの解説や実践を行い、その場での学びとその後の自主的なトレーニングの参考になる点などの評価が参加者より寄せられた。自立している方ほど、歩く際の筋肉の運動性等を知りたいとの意見もあったことは予想外であった為、今後は内容を検討すること、一方では継続した参加の場を確保することも重要であり、そのバランスを課題とする。		

包括的支援事業(社会保障充実分) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
(5)在宅医療・介護連携推進事業		
目標と課題 目標:医療と介護の連携体制の強化 課題:介護・地域支援のノウハウだけでなく対応力の向上		
・在宅医療・介護サービスの情報共有支援 ・圏域毎での情報共有支援	・地域の医療・介護の資源の把握 ・在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討 ・切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進 ・在宅医療・介護連携に関する相談支援 ・地域住民への普及啓発 ・医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修など、地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援	・在宅医療・介護連携に関する相談支援(随時)会議(1回) ・医療機関等との入退院支援(随時) ・ケアマネジャーとの連携を図る会議・研修への出席・参加(2回) 埼玉病院、新座志木中央総合病院 ・朝霞地区 MCS
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(どういったことが得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 在宅医療の相談支援については、相談を受けることが増えてきており、対応を依頼する医療機関との連携の中で、どういった情報が必要で、依頼者側のタイミングやニーズを図りつつ、必要な場面での導入に繋げている。今後、更にニーズが増えることが想定されることと、ニーズがありながら、受入を拒む利用者に対しての導入を繋げるかなどを医療機関などと更なる連携が必要であり、在宅での本人、家族のニーズや悩みを聞き、それらを医療機関側へ伝えることの工夫は課題であり、その向上を目指す。		
(6)生活支援体制整備事業		
目標と課題 目標:住民同士のつながりや支え合いへの意識醸成 課題:協議体の周知及び活動支援と、若い世代の参画		
・地域における介護予防及び互助活動につながる、住民主体の活動グループの発掘・育成・支援	・多様化する生活支援ニーズへの対応 ・社会資源の発掘・育成・活用 ・協議体の地域の実情に応じた活動支援 ・地域のつながりの重要性の啓発、多様な主体間の情報共有	・第2層生活支援体制整備協議体の運営(定例会:12回) ・社会資源の発掘・育成・活用・ボランティアの活用(随時) ・協議体の地域の実情に応じた活動支援(2回) ・広報紙の発行(5回) ・「メイあさかスマホ教室」(6回)・「こども食堂」(6回) 「電動カート試乗会」「小学生書道教室」「むかし遊び」「スマホ教室」
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 第2層協議体での話し合いの中から主催している電動カートの試乗会を圏域内の特別養護老人ホームの協力を得つつ実施しており、地域資源と連携した参画を促すことが出来た。今後はその持続性と場合によっては電動カートだけではなく、テーマの検討などが課題となる。		
(7)認知症総合支援事業		
目標と課題 目標:認知症等高齢者に対する家族及び地域住民の理解促進 課題:各種事業を通じての普及啓発の継続及び人的資源の発掘		
①認知症の早期対応に向けた支援 ②認知症の方と家族への支援 ③医療・介護・家族の連携支援 ④認知症についての地域理解の促進	・初期集中支援チーム員として認知症の方及び家族に早期対応できる支援体制の構築 ・認知症に関する知識習得機会の提供 ・認知症専門医や地域の支援機関との連携、困難事例の検討・支援 ・認知症カフェや徘徊高齢者見守り支援事業の実施により地域の連携支援、家族介護者の負担軽減 ・認知症サポーター養成講座の実施 ・ステップアップ講座等による地域の支援者の育成	・認知症施策推進会議(12回) ・認知症初期集中支援チーム検討会(12回) ・認知症への早期対応(随時) ・認知症ケアガイドブック等の活用(随時) ・認知症カフェ(やさしいカフェ)(12回) ・徘徊高齢者の声かけ訓練(1回) ・知恵袋、家族介護者教室(3回) ・認知症サポーター養成講座(2回) ・地域の支援者の育成(地域のサロンでの認知症の方の集いの場の構築) オレンジひまわり 11回 ・家族介護者の相談、支援(2回) DemeCafe
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 認知症サポーター養成講座を複数回実施する中で、児童館で実施でき、参加した小学生が率先して声掛けや質問をする等、積極的に気づきを表現してくれた。認知症への理解に努めていることが伝わってきた。今後、認知症当事者、家族への地域でのサポートを進める為にも、多世代特に若い世代への広報を継続することで講座への参加を促進する。課題はその広報のあり方について、SNS等の活用が挙げられる。		
(8)地域ケア会議推進事業		
目標と課題 目標:対象者が望む暮らしを実現するための課題解決 課題:各専門職との連携強化及び地域課題の共有		
・多職種協働による、個別ケースの自立生活支援検討の会議から、地域の課題を把握することと、解決策を検討する機能を有する会議の実施	・個別課題の解決 ・介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援 ・高齢者の実態把握や課題解決のためのネットワーク構築 ・地域課題の把握	・包括単位の地域ケア会議(5回)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 地域ケア会議においては、ケースを提供する介護支援専門員の複雑多岐となる支援内容の切実な現状を主任介護支援専門員を中心に専門家からのアドバイスを伝えることで支援への一層の選択肢の強化に繋がっている。今後は地域の専門家からの意見をさらに聞けるようなアドバイザーの意見をもらう工夫が課題である。		

朝霞市地域包括支援センター 運営方針		実績報告書	自己評価	市評価
			(○ △ ×)	
基本的事項	事業計画の策定	地域の実情に応じた課題・計画を策定し、各地域での特色のある創意工夫した事業運営をしている	○	○
	人員配置基準	基準に沿った有資格者等を常勤で配置している(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(これらに準ずる者を含む))	△	△
	職員の姿勢	地域の高齢者の最善の利益を図るために業務を遂行している	○	○
	市との連携	市と連携を図り、情報の共有をすることにより、困難ケース等の対応をしている	○	○
	地域との連携	地域を支える中核的な機関として、地域における関係者と連携し、資源を活用し高齢者を支援している	○	○
	個人情報の保護	保有する個人情報に業務に関係のない目的で使用され、漏洩することがないように個人情報に関する責任者(常勤)を配置し、情報管理を徹底化している	○	○
	広報活動	パンフレットやチラシ等を作成し、地域住民及び関係者へ積極的に広報している	○	○
	苦情対応	センターに関する苦情等については、その内容を記録し、迅速かつ適切に対応している	○	○
重点項目	目標と課題	実施報告と評価	市の評価	
	目標 ・住民が地域とつながるための整備 課題 ・働く世代(40～60代)への情報発信	集いの場の新規開拓に取り組んだ。圏域内の高齢者施設や地域の商店の協力を得られ、地域住民とのコミュニティの場として活用している。また、市民向けのイベントを祝日に開催することで、働く世代の参加を促すことができた。	圏域内で協力を得ていた集いの場が閉鎖してしまっただが、すぐに圏域内の社会資源に尋ね当たることが可能なのは、日頃の社会資源の把握の成果だと評価できる。介護者の働く世代向けのイベントは普段関わりの薄い方への包括の周知に繋がるため、祝日のイベント以外の今後のアプローチにも期待したい。	

包括的支援事業(包括支援センターの運営) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
(1)総合相談支援業務		
目標と課題 目標:幅広い世代が地域包括支援センターの存在と役割を知り、活用できる。 課題:働く世代にも地域包括支援センターを周知し、情報発信していく。		
①実態把握 ②総合相談業務 ③地域包括支援ネットワーク構築業務 ④地域住民への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のニーズ、地域ニーズ・特性の把握 ・総合的かつ迅速に相談できる体制(ワンストップサービスの拠点) ・民生委員、自治会・町内会、地域住民等との情報共有・連携 ・本人・家族・事業者・関係団体・地域住民等の人的資源の把握とネットワークの構築 ・地域の自主グループ活動の育成、支援 ・ボランティア育成等の市民向け講座の実施 ・機関紙等の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・出張相談会 (年1回) 2/23「介護保険制度のいろは」 ・東部民生委員定例会への参加 (年2回) 7/4 「第4圏域の状況と情報交換会」 10/3 「ACP もしばなカード」 ・自治会・町内会との連携 (随時) ・老人会・サロン等への支援 (随時) ・市民向け講座 (年3回) 4/14 「後悔しない最期をむかえるための終活講座」 4/26 「知っておきたいご高齢者に多い薬のトラブルと予防法」 5/16 「特殊詐欺から身を守る！プロから学ぶ防犯講座」 ・季刊誌・広報誌の発行 (年4回) 「ひいらぎ新聞」 ・見守りを要する高齢者等への支援 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 東部民生委員の定例会に参加させていただいている。平時から、交流をはかることで、顔の見える関係づくりができ、地域における困りごとなどの情報提供をいただくことができています。早期に情報提供いただくことで、早期に対応することができる。また、出張相談会(介護保険制度説明会)を祝日開催している。参加者層は多少、若い世代のかたがみられた。とはいえ、平日開催を希望されるご意見もあり、今後の開催日の設定については検討の余地がある。地域包括支援センターの周知においては、ひきつづき、回覧板等の媒体も活用し、取り組んでいきたいと考えている。		
(2)権利擁護業務		
目標と課題 目標:高齢者を地域全体で見守る。 課題:防犯活動をおこなっている団体・機関との連携をはかる。		
① 成年後見制度の活用 ② 高齢者虐待の防止及び対応 ③ 困難事例への対応 ④ 消費者被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の周知、活用 ・高齢者虐待の状況把握と迅速適切な対応 ・介護者の孤立防止、認知症への理解啓発、高齢者権利の意識醸成 ・困難事例に対する専門職の連携、各種会議等の活用による対応検討 ・警察と連携した消費者被害防止の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別・老人会・サロン等への周知 (随時) ・民生委員や関係機関との連携 (随時) ・専門職の連携や会議等を活用した事例検討 (随時) ・消費者被害防止や交通安全チラシ等の配布 (随時) ・高齢者向けスマートフォン講座の共催 (年8回)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 東南部町内会の委員の協力を得て、防災・防犯係代表2名と顔合わせする機会を設けることができた。地域包括支援センターの周知と権利擁護業務(防犯講座)を開催している等を共有した。次年度開催予定の犯罪被害防止講座にて会場設営や周知などでご協力いただきたい旨を伝え、快諾いただけた。		
(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
目標と課題 目標:保険給付のみによらない多様なケアマネジメントの実践。 課題:ケアマネジメントにおいて、社会資源を活用するための視点。		
① 包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備 ② 介護支援専門員に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施 ・関係機関(フォーマル・インフォーマル含む)との連携 ・介護支援専門員のネットワーク構築 ・介護支援専門員の資質向上のための情報提供、研修の実施 ・介護支援専門員への個別相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・包括主催の自立支援型地域ケア会議の実施 (年4回) 6/21・9/20・12/20・3/13 ・全包括合同のケアマネカフェ (年3回) 6/16・10/20・2/16 ・居宅介護支援事業所の訪問 (随時) ・介護支援専門員への個別支援 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 全包括合同のケアマネジャー向け勉強会をおこなっている。医療と介護の連携をテーマとした交流会では日々の業務に反映できる有意義なものであったと考えている。また、ケアマネジャーが対応困難となるケースにおいては、情報共有しながら、同行訪問するなどして、地域のケアマネジャーへの後方支援の体制を整えている。今後も関係機関との連携を果たし、社会資源等の情報提供をおこない、ネットワークづくりを推進していきたい。		
(4)介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)		
目標と課題 目標:介護予防となりうる拠点の整備。 課題:仲町2丁目・根岸台7丁目エリアの集いの場を創出(立上げ・発掘)。		
① 介護予防・日常生活支援総合事業 1) 介護予防・生活支援サービス事業 対象者のケアマネジメント 2) 一般介護予防事業 ② 指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・生活支援サービス事業対象者のケアマネジメント ・介護予防把握事業(例:閉じこもり等で何らかの支援を要する人を把握し、介護予防の活動へつなげる) ・介護予防普及啓発事業(例:介護予防に関する講座や教室・講演会を開催し介護予防の重要性を周知) ・地域介護予防活動支援事業(例:地域住民が主体となつて行う介護予防の活動に対し支援などを行う) ・地域リハビリテーション活動支援事業(例:介護予防の取組を強化するため、地域の介護予防活動にリハビリテーション専門職等が参加し活動を支援) ・要支援認定者へのケアマネジメント (介護保険給付サービス利用者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業対象者へのケアマネジメント (随時) ・サービスCの有効的活用 (随時) ・一般介護予防事業への支援 (随時) ・ラジオ体操の立ち上げを計画 (1箇所) ・地域の介護予防団体への支援 (随時) ・要支援認定者へのケアマネジメント (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 仲町2丁目のエリアにラジオ体操の立ち上げを企画し、地域包括支援センターから保育園へアプローチした。保育園と共催する初めての試みであり、年度末に試験的に1度実施し、来年度の立上げを目指す。		

包括的支援事業(社会保障充実分) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
(5)在宅医療・介護連携推進事業		
目標と課題 目標:対象者の意向に沿った療養体制を、円滑に整えることができる。 課題:医療機関との連携体制の構築。		
<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護サービスの情報共有支援 圏域毎での情報共有支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の医療・介護の資源の把握 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進 在宅医療・介護連携に関する相談支援 地域住民への普及啓発 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修など、地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携に関する相談支援 (随時) 地域住民への普及啓発 (随時) 市が主催する会議・研修会への出席・参加 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(どういったことが得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 医療・介護連携推進事業における会議、研修等に参加し医療機関との連携の手段、また、現在の状況の把握に努めた。今後、MCS等の連携ツールを活用し、在宅医療・介護サービスをスムーズに支援できるよう努めていく。		
(6)生活支援体制整備事業		
目標と課題 目標:圏域内の活動拠点の整備。 課題:社会資源を広く知り、発掘・活用できる。		
<ul style="list-style-type: none"> 地域における介護予防及び互助活動につながる、住民主体の活動グループの発掘・育成・支援 	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する生活支援ニーズへの対応 社会資源の発掘・育成・活用 協議体の地域の実情に応じた活動支援 地域のつながりの重要性の啓発、多様な主体間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 社会資源の発掘・育成・活用 (随時) 第2層協議体「ひいらぎお助け隊」の活動支援 (年6回) 第2層協議体主催のイベント開催の支援 (年1回程度) 民間企業との連携 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) これまで活用していたコミュニティスペースが閉鎖となったが、高齢者施設や酒屋等に場所貸しを依頼し、活動を継続することができた。未把握であった地域住民との関係構築に至る。		
(7)認知症総合支援事業		
目標と課題 目標:地域住民が認知症について正しく理解し、当事者を地域で見守る体制づくりが出来る。 課題:認知症・軽度認知障害と思われる方の早期発見。		
<ul style="list-style-type: none"> ①認知症の早期対応に向けた支援 ②認知症の方と家族への支援 ③医療・介護・家族の連携支援 ④認知症についての地域理解の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 初期集中支援チーム員として認知症の方及び家族に早期対応できる支援体制の構築 認知症に関する知識習得機会の提供 認知症専門医や地域の支援機関との連携、困難事例の検討・支援 認知症カフェや徘徊高齢者見守り支援事業の実施により地域の連携支援、家族介護者の負担軽減 認知症サポーター養成講座の実施 ステップアップ講座等による地域の支援者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症への早期対応 (随時) 認知症ケアガイドブック等の活用 (随時) 認知症カフェ(ほっとカフェ)の開催 (毎月第4金曜日開催) オレンジリングカフェの開催 (年3回)5/17、9/11、12/13 高齢者見守り声かけ訓練 (2/6 予定だったが天候不良にて中止) 知恵袋(年2回)6/2,11/10 家族介護者教室(もしかして認知症その時のための家族介護教室)7/22 認知症サポーター養成講座 (年1回)1/16 地域の支援者の育成 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 地域の住民を対象に講座をおこない、集いの場をつくり、認知症について正しく理解していただけるように努めた。また、オレンジリングを所持している方を対象に定期的集まり、知識の振り返りや関わり方の方法等、学びの場としている。今後も活動の場を拡げていきたいと考えている。		
(8)地域ケア会議推進事業		
目標と課題 目標:地域ケア会議の目的とそれぞれの役割を正しく知る。 課題:多職種による視点が活かされ、自立支援に資するケアマネジメントを支援できる会議の実施。		
<ul style="list-style-type: none"> 多職種協働による、個別ケースの自立生活支援検討の会議から、地域の課題を把握することと、解決策を検討する機能を有する会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 個別課題の解決 介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援 高齢者の実態把握や課題解決のためのネットワーク構築 地域課題の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援型地域ケア会議の開催 (年4回) 6/21・9/20・12/20・3/13
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 包括主催の地域ケア会議を年4回開催している。会議では、アドバイザーから多角的な視点でアドバイスをいただくことができている。生活支援コーディネーターからのアドバイスにより、社会資源につながるケースもあった。会議に参加するケアマネジャーが専門職からのアドバイスを受け、実際の支援に反映することができた。今後も多職種のネットワークを活用し、課題解決のための方法や手段を一緒に考えていきたい。		

朝霞市地域包括支援センター 運営方針		評価基準	自己評価	市評価
			(○ △ ×)	
基本的事項	事業計画の策定	地域の実情に応じた課題・計画を策定し、各地域での特色のある創意工夫した事業運営をしている	○	○
	人員配置基準	基準に沿った有資格者等を常勤で配置している(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(これらに準ずる者を含む))	○	○
	職員の姿勢	地域の高齢者の最善の利益を図るために業務を遂行している	○	○
	市との連携	市と連携を図り、情報の共有をすることにより、困難ケース等の対応をしている	○	○
	地域との連携	地域を支える中核的な機関として、地域における関係者と連携し、資源を活用し高齢者を支援している	○	○
	個人情報の保護	保有する個人情報に業務に関係のない目的で使用され、漏洩することがないように個人情報に関する責任者(常勤)を配置し、情報管理を徹底化している	○	○
	広報活動	パンフレットやチラシ等を作成し、地域住民及び関係者へ積極的に広報している	○	○
	苦情対応	センターに関する苦情等については、その内容を記録し、迅速かつ適切に対応している	○	○
重点項目	目標と課題	実施報告と評価	市の評価	
	目標：ワンストップサービスの拠点となる。 市民、関係機関等との地域ネットワークの強化。 課題：相談対応力の強化 人的、社会的資源の発掘と情報共有 介護者世代への包括の周知	地域の自治会長との懇談により連携強化、出前講座の開催や講師依頼に繋がった。第3層協議体の開催により新たな人的資源の発掘に繋がるとともに、地域課題について検討する仕組みができた。在宅医療との連携を強化する為、訪問診療事業所リストを作成し情報を整理することで相談対応力の向上に繋がった。	地域との関わりが密接な団体と連携を強化することは、地域の見守りの目を増やすこととなり、今後の地域の情報収集や地域課題の抽出を見据えた取組として評価できる。 訪問診療事業所リスト作成は増加傾向にある訪問診療のニーズに対応する意図が明確であり、令和4年度に続き相談者のニーズに合わせた適切な医療支援に繋がっている。	

包括的支援事業(包括支援センターの運営) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
(1)総合相談支援業務		
目標と課題 目標:①平時からの地域住民・関係者・機関等とのネットワークの活用。②多様な相談に適切に対応し、必要な支援に繋げていく。 課題:①地域ネットワークの強化と活用、包括の周知 ②相談窓口の周知、相談対応力の強化		
①実態把握 ②総合相談業務 ③地域包括支援ネットワーク構築業務 ④地域住民への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のニーズ、地域ニーズ・特性の把握 ・総合的かつ迅速に相談できる体制(ワンストップサービスの拠点) ・民生委員、自治会・町内会、地域住民等との情報共有・連携 ・本人・家族・事業者・関係団体・地域住民等の人的資源の把握とネットワークの構築 ・地域の自主グループ活動の育成、支援 ・ボランティア育成等の市民向け講座の実施 ・機関紙等の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談受付(訪問・電話・来所・文書(メール含む)) (随時) ・出張相談会 (講座&フレイルチェック&相談会:幸町・栄町・青葉台・本町、膝折町/認サポ&相談会:中央公民館) (各年1回) ・生活支援民生委員会議 (幸町・栄町・青葉台・本町、膝折町) (各年3回) ・市民向け講座 (年19回) 健康太極拳講座(全12回)/シニアメイク講座(2回)/介護予防教室(2回)/特殊詐欺被害防止対策講座/コグニサイズ体験講座/AIを活用した身体機能評価講座 ・自治会・町内会との連携 (随時) ・老人会・サロン等への支援 (随時) ・老人会・サロン等での出前講座 (年2回) ・広報誌「こすもす」の発行 (年4回) ・包括独自チラシの発行 (年1回) ・センター内会議 (月1回) ・見守りを要する高齢者等への支援 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 民生委員会議は各地域年3回実施。地域住民についての情報交換の他、地域課題等について意見交換を行った。地域の自治会長との懇談を行い、広報誌こすもすにインタビュー記事を掲載。センターとの関係性が強化でき、別の町内会からの出前講座の依頼にも繋がった。関係者間との定期的な会議・懇談機会を継続し、ネットワーク強化を目指す。		
(2)権利擁護業務		
目標と課題 目標:①高齢者を狙った詐欺被害の防止、交通安全 ②高齢者虐待への迅速な対応・成年後見制度の利用促進 課題:①独居や認知症高齢者への被害防止の啓発 ②専門職を中心としたセンター職員の連携、成年後見制度の周知		
①成年後見制度の活用 ②高齢者虐待の防止及び対応 ③困難事例への対応 ④消費者被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の周知、活用 ・高齢者虐待の状況把握と迅速適切な対応 ・介護者の孤立防止、認知症への理解啓発、高齢者権利の意識醸成 ・困難事例に対する専門職の連携、各種会議等の活用による対応検討 ・警察と連携した消費者被害防止の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別・老人会・サロン等への周知 (随時) ・民生委員や関係機関との連携 (随時) ・専門職の連携や会議等を活用した事例検討 (随時) ・特殊詐欺被害防止対策講座 (年1回) ・消費者被害防止や交通安全等の啓発 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 詐欺被害防止や交通安全について注意喚起やチラシ配付をラジオ体操の参加者など個別の声掛けを中心に行った。繰り返し声掛けをすることで意識向上に繋がった。特殊詐欺は巧妙化しているため、今後も手口の紹介など情報提供を行い、啓発に努めていく。		
(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
目標と課題 目標:本人や家族が切れ目なく必要な時に支援を受けることができる環境を作る 課題:ケアマネジャーとの連携体制の構築、地域資源等の情報提供		
①包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備 ②介護支援専門員に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施 ・関係機関(フォーマル・インフォーマル含む)との連携 ・介護支援専門員のネットワーク構築 ・介護支援専門員の資質向上のための情報提供、研修の実施 ・介護支援専門員への個別相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議の開催 (年4回) ・関係機関連絡会議への参加 (地域密着型運営推進会議:多機能ホーム桜ヶ丘・書面年6回/リハプライド朝霞・幸年2回) ・全包括合同のケアマネカフェ (年3回) ・圏域内居宅介護支援事業所との意見交換会 (年2回) ・圏域内居宅介護支援事業所とのネットワーク構築(SNSの活用)とそれによる情報提供・共有 (随時) ・介護支援専門員への個別支援 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 圏域居宅介護支援事業所に対し座談会を行ったほか、地域資源についてSNSにて情報発信。座談会ではケアマネジャーが抱える課題を共有することができた。今後も迅速な情報提供と、連携強化の為の意見交換の機会を作っていく。		
(4)介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)		
目標と課題 目標:①住民が主体的に介護予防に取り組み、地域の中で自分らしく生活できる。 ②閉じこもりの方の把握ができ、必要な時に支援に繋がられる。 課題:①体操だけでなくその他の介護予防に関心を持ってもらう。体験することにより介護予防に対する意識を高めてもらう。②集いの場の把握・活用。		
① 介護予防・日常生活支援総合事業 1) 介護予防・生活支援サービス事業 対象者のケアマネジメント 2) 一般介護予防事業 ② 指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・生活支援サービス事業対象者のケアマネジメント ・介護予防把握事業(例:閉じこもり等で何らかの支援を要する人を把握し、介護予防の活動へつなげる) ・介護予防普及啓発事業(例:介護予防に関する講座や教室・講演会を開催し介護予防の重要性を周知) ・地域介護予防活動支援事業(例:地域住民が主体となって行う介護予防の活動に対し支援などを行う) ・地域リハビリテーション活動支援事業(例:介護予防の取組を強化するため、地域の介護予防活動にリハビリテーション専門職等が参加し活動を支援) ・要支援認定者へのケアマネジメント(介護保険給付サービス利用者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業対象者へのケアマネジメント (随時) ・サービスCの有効的活用 (随時) ・一般介護予防事業への支援 (随時) ・太極拳講座 (全12回) ・コグニサイズ体験講座 (年1回)、介護予防教室 (年2回) ・AIを活用した身体機能評価&フレイルチェック、シニアメイク&フレイルチェック (年3回) ・地域の介護予防団体への支援 (随時) ・要支援認定者へのケアマネジメント (随時) ・ラジオ体操開催(幸町・膝折町・栄町) (各週1回) ・サロンガイドブックの配布 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 太極拳、コグニサイズ、フレイルチェック等運動に関する各種講座を開催した。AIを活用した歩行評価やフレイルチェックでは、各自の身体機能がどの程度維持されているかを評価することに高い関心があることが分かった。今後も多様な方向から介護予防に取り組めるような講座を開催する。		

包括的支援事業(社会保障充実分) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
(5)在宅医療・介護連携推進事業		
目標と課題 目標:本人や家族の意向に添い、療養が必要になっても住み慣れた地域で安心して生活できる。 課題:医療に関する情報収集・提供、医療機関との連携、病院や訪問診療の機能や窓口について情報収集と提供		
<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護サービスの情報共有支援 圏域毎での情報共有支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の医療・介護の資源の把握 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進 在宅医療・介護連携に関する相談支援 地域住民への普及啓発 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修など、地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携に関する相談支援 (随時) 地域住民への普及啓発 (随時) 市が主催する会議・研修会への出席・参加 医療リストの作成 (訪問診療のリスト作成中・R6年度6月完成予定)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 訪問診療クリニックの増加により、資源の把握と情報提供の為にパンフレットを作成。新規の訪問診療クリニックの情報収集も行い、連携することもできた。パンフレットについては在宅療養を希望する方を迅速に支援に繋げていくため、総合相談業務にて活用する。		
(6)生活支援体制整備事業		
目標と課題 目標:地域で高齢者を支える仕組み作りについて検討する 課題:第2層協議体での地域課題の抽出		
<ul style="list-style-type: none"> 地域における介護予防及び互助活動につながる、住民主体の活動グループの発掘・育成・支援 	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する生活支援ニーズへの対応 社会資源の発掘・育成・活用 協議体の地域の実情に応じた活動支援 地域のつながりの重要性の啓発、多様な主体間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 社会資源の発掘・育成・活用 (随時) 協議体の地域の実情に応じた活動支援 (随時) 第2層協議体(よろず屋集いの会)の開催 (月1回) 第3層協議体(膝折地区)の開催 (年3回)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 第2層協議体の他、膝折町でも懇談の機会を作り第3層協議体として開催。より地域に密着した課題抽出と人的・地域資源の発掘に繋がった。今後も第2層協議体と並行して第3層協議体を定期開催し、地域課題や社会資源の発掘を行っていく。		
(7)認知症総合支援事業		
目標と課題 目標:認知症の理解促進、認知症当事者やその家族を地域で見守り支える環境作り 課題:認知症に関する情報提供、家族への支援、早期に診断に繋がる支援体制		
<ul style="list-style-type: none"> ①認知症の早期対応に向けた支援 ②認知症の方と家族への支援 ③医療・介護・家族の連携支援 ④認知症についての地域理解の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 初期集中支援チーム員として認知症の方及び家族に早期対応できる支援体制の構築 認知症に関する知識習得機会の提供 認知症専門医や地域の支援機関との連携、困難事例の検討・支援 認知症カフェや徘徊高齢者見守り支援事業の実施により地域の連携支援、家族介護者の負担軽減 認知症サポーター養成講座の実施 ステップアップ講座等による地域の支援者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症への早期対応 (随時) 認知症ケアガイドブック等の活用 (随時) 認知症カフェ(オレンジカフェ) (月1回)※8月除く 知恵袋、家族介護者教室への参加 (年3回) 認知症サポーター養成講座 (年1回) 地域の支援者の育成 (随時) 医療リストの活用 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) オレンジカフェを定期開催。コロナ以前の様子に戻り参加者も定着してきた。歓談の時間を増やし、関りの少ない方同士の交流も広がり、認知症当事者に対しても理解が深まってきている。今後は飲食を再開しカフェの形に戻し、ボランティアの参加も再開するとともに、参加者同士の交流に主眼を置いた内容としていく。		
(8)地域ケア会議推進事業		
目標と課題 目標:本人らしい生活の実現、住み慣れた地域で生活を続けられる 課題:地域課題の抽出 多職種からのアドバイスのケアプランへの反映		
<ul style="list-style-type: none"> 多職種協働による、個別ケースの自立生活支援検討の会議から、地域の課題を把握することと、解決策を検討する機能を有する会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 個別課題の解決 介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援 高齢者の実態把握や課題解決のためのネットワーク構築 地域課題の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 包括単位の地域ケア会議 (年4回)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 毎回2事例を検討。精神障害や難病での生活困窮のケース、入院を拒否し意向調整に困難を感じているケース、アルコール依存症、支援者が兄弟のみのケース等を取り上げた。参加者からは今までにない視点で多職種のアドバイスが聞けて良かったという意見があった。今後はマニュアルに沿った会議運営を行うとともに、地域課題抽出の為に、居宅ケアマネジャーも地域全体に目を向けてもらいながら、地域全体で支えるという視点をもった事例検討の必要性があるとする。		

朝霞市地域包括支援センター 運営方針		評価基準	自己評価	市評価
			(○ △ ×)	
基本的事項	事業計画の策定	地域の実情に応じた課題・計画を策定し、各地域での特色のある創意工夫した事業運営をしている	○	○
	人員配置基準	基準に沿った有資格者等を常勤で配置している(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(これらに準ずる者を含む))	○	○
	職員の姿勢	地域の高齢者の最善の利益を図るために業務を遂行している	○	○
	市との連携	市と連携を図り、情報の共有をすることにより、困難ケース等の対応をしている	○	○
	地域との連携	地域を支える中核的な機関として、地域における関係者と連携し、資源を活用し高齢者を支援している	○	○
	個人情報の保護	保有する個人情報が業務に関係のない目的で使用され、漏洩することがないように個人情報に関する責任者(常勤)を配置し、情報管理を徹底化している	○	○
	広報活動	パンフレットやチラシ等を作成し、地域住民及び関係者へ積極的に広報している	○	○
	苦情対応	センターに関する苦情等については、その内容を記録し、迅速かつ適切に対応している	○	○
重点項目	目標と課題	実施報告と評価	市の評価	
	目標：地域とのつながり強化 課題： <ul style="list-style-type: none"> ・地域ネットワーク構築と孤立化防止 ・情報発信、相談体制の構築 ・介護予防への意識付けができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の定例会や老人会等に定期的に参加。社協や地域の医療機関と共催イベントを開催し、ネットワークを構築できた。 ・年3回機関紙を発行し、地域活動を紹介することで、認知症サポーター養成講座の開催につなげることができた。 ・ノルディックウォーキングや切り絵の自主グループを立ち上げることができた。立ち上げ支援後も、参加者が不安なく活動を継続できるよう自立を促しながらサポートしていく。 	地域住民との繋がりづくりや新しい集いの場の立ち上げは、日常生活での支援体制の充実や高齢者の社会参加の促進に繋がり、圏域の地域住民の介護予防や状態悪化の防止等の取組として評価できる。地域のネットワーク構築で得た社会資源を相談者等の状態に合った選択肢として積極的に活用できるように期待したい。	

包括的支援事業（包括支援センターの運営） ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
(1)総合相談支援業務		
目標と課題 目標:ワンストップ窓口として、地域のつながりの強化を行う 課題:地域の拠点の周知を図る。		
① 実態把握 ②総合相談業務 ③地域包括支援ネットワーク構築業務 ④地域住民への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のニーズ、地域ニーズ・特性の把握 ・総合的かつ迅速に相談できる体制(ワンストップサービスの拠点) ・民生委員、自治会・町内会、地域住民等との情報共有・連携 ・本人・家族・事業者・関係団体・地域住民等の人的資源の把握とネットワークの構築 ・地域の自主グループ活動の育成、支援 ・ボランティア育成等の市民向け講座の実施 ・機関紙等の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・出張相談会（年2回） ・民生委員定例会への参加（各地区年2回以上） ・自治会・町内会との連携（随時） ・老人会・サロン等への支援（随時） ・老人会・サロン等での出前講座（年4回） ・市民向け講座（年2回） 11月9日「学ぼう！警察官による特殊詐欺被害防止講座」 1月30日「今から考えよう！終活・葬儀講座」 ・機関紙・広報誌の発行（年3回機関紙を発行）
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 自治会や町内会の他に北部・南西部・東北部の民生委員定例会に出向き、地域包括支援センターの役割や高齢者の取り巻く現状・問題等を共有することができた。民生委員との勉強会の開催や包括が主催する市民講座にも多数の民生委員に参加してもらうことができた。また、民生委員からの個別の相談についても対応。独居高齢者の把握や安否確認をするため包括の案内チラシ等を持参し個別対応を行った。自らSOSを発信できない方や孤立している独居高齢者、生活困窮者等に対して、フードバンクから提供された食材を渡したり、サロンに案内したりして、継続的に安否確認を行った。今後も、地域の特性や課題を共有し、地域住民・関係機関にアウトリーチしながら地域包括支援ネットワークの構築・強化につなげていく。		
(2)権利擁護業務		
目標と課題 目標:警察などの機関と連携した講座開催により、地域住民への啓発を図る 課題:消費者被害が増加しており、被害防止の啓発が必要		
①成年後見制度の活用 ②高齢者虐待の防止及び対応 ③困難事例への対応 ④消費者被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の周知、活用 ・高齢者虐待の状況把握と迅速適切な対応 ・介護者の孤立防止、認知症への理解啓発、高齢者権利の意識醸成 ・困難事例に対する専門職の連携、各種会議等の活用による対応検討 ・警察と連携した消費者被害防止の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別・老人会・サロン等への周知（随時） ・民生委員や関係機関との連携（随時） ・専門職の連携や会議等を活用した事例検討（随時） ・消費者被害防止や交通安全等の啓発（年2回開催）
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 成年後見制度については、社会福祉士が中心となって手続等の説明や支援団体についての情報提供等の支援を行った。特殊被害防止講座は、東北部の民生委員からも数十名申し込みがあり、民生委員との情報の共有化・関係性の強化を図ることができた。町内会に対して警察署による防犯講話を1回開催。今後も、警察や消費生活センター等の関係機関との連携を取りながら、被害防止に向け取り組んでいく。また、北朝霞交番の高齢者見守り支援協力機関として事業所も登録。地域の実情等を情報交換ができる関係性を構築することができた。交番が発行する広報誌なども活用しながら、町内会や老人会に出向いて配布。交通安全等の啓発にも取り組んだ。		
(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
目標と課題 目標:同行訪問を行い、役割分担ができる 課題:困難事例を抱えているケアマネージャーも多く、相談しやすい関係作り		
①包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備 ②介護支援専門員に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施 ・関係機関(フォーマル・インフォーマル含む)との連携 ・介護支援専門員のネットワーク構築 ・介護支援専門員の資質向上のための情報提供、研修の実施 ・介護支援専門員への個別相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関連絡会議への参加（随時） ・全包括合同のケアマネカフェ（年4回） ・居宅介護支援事業所の訪問（随時） ・介護支援専門員への個別支援（随時）
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 定期的に居宅介護支援事業所に来所し、困難事例の対応や情報交換など行いながら良好な関係性を築くことができた。また、包括が主催する地域ケア会議を通して、圏域の介護支援専門員の自立に資するケアマネジメント能力の向上を図り、地域の医療機関(医師や療法士、薬剤師や栄養士等)が互いに顔の見える関係性を構築することができた。年々、独居高齢者も増え、複合的な課題を抱える相談ケースも増えてきているので、介護支援専門員に対する支援体制を強化できるよう引き続き、ネットワークの構築・強化を図っていく。		
(4)介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)		
目標と課題 目標:人とつながることで、介護予防ができる 課題:市民がどのようにすれば介護予防につながるのか、理解を深める		
① 介護予防・日常生活支援総合事業 1)介護予防・生活支援サービス事業 対象者のケアマネジメント 2)一般介護予防事業 ② 指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・生活支援サービス事業対象者のケアマネジメント ・介護予防把握事業(例:閉じこもり等で何らかの支援を要する人を把握し、介護予防の活動へつなげる) ・介護予防普及啓発事業(例:介護予防に関する講座や教室・講演会を開催し介護予防の重要性を周知) ・地域介護予防活動支援事業(例:地域住民が主体となって行う介護予防の活動に対し支援などを行う) ・地域リハビリテーション活動支援事業(例:介護予防の取組を強化するため、地域の介護予防活動にリハビリテーション専門職等が参加し活動を支援) ・要支援認定者へのケアマネジメント(介護保険給付サービス利用者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業対象者へのケアマネジメント(随時) ・サービスCの有効的活用(随時) ・一般介護予防事業への支援(随時) ・介護予防に関する講座・教室等(年1回以上) ・地域の介護予防団体への支援(随時) ・要支援認定者へのケアマネジメント(随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 介護保険を使っていない65歳の高齢者を対象に地域のリハビリテーションの療法士による個別訪問を3名行った。介護予防の必要性や自宅でできるトレーニング方法・住環境についてのアドバイスをし自立支援につなげることができた。地域の介護予防の取組みとして、地域のリハビリ職と協同し、溝沼老人福祉センターで「老いません体操」を企画・開催。リハビリ職が監修した「転倒予防」・「尿もれ予防」・「肩こり予防」の運動プログラムを実施。幅広い高齢者に対して、介護予防の取組を実施することができた。		

包括的支援事業(社会保障充実分) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
(5)在宅医療・介護連携推進事業		
目標と課題 目標:多くの人に人生会議を知る機会を作る 課題:住み慣れた地域で暮らすために、本人・家族や関係する人に考え、伝えるきっかけ作り		
<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護サービスの情報共有支援 圏域毎での情報共有支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の医療・介護の資源の把握 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進 在宅医療・介護連携に関する相談支援 地域住民への普及啓発 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修など、地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携に関する相談支援 (随時) 地域住民への普及啓発(随時) 市が主催する会議・研修会への出席・参加(随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(どういったことが得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 高齢化している2カ所の老人会を対象に、年4回 ACP 普及・啓発を目的に講座を開催。もしバナゲームを用いてグループで話し合い希望ノートについて説明し配付を行った。現在の自分の思いや価値観などをノートに記入し、他者に思いを伝えることの重要性やACPの理解・普及啓発に取り組むことができた。地域の医療機関と連携を取りながら、多職種協同で取り組むことができた。今後も、市が主催する医療・介護連携に関する会議や勉強会等に参加しながら、在宅医療・介護連携推進を図れるようネットワーク強化に取り組んでいく。		
(6)生活支援体制整備事業		
目標と課題 目標:住民同士の助け合いの場を知り、土台作り、孤立化防止を行う 課題:高齢者の在宅生活を支えるため、地域の社会資源や防災情報の情報収集、現状把握		
<ul style="list-style-type: none"> 地域における介護予防及び互助活動につながる、住民主体の活動グループの発掘・育成・支援 	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する生活支援ニーズへの対応 社会資源の発掘・育成・活用 協議体の地域の実情に応じた活動支援 地域のつながりの重要性の啓発、多様な主体間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 社会資源の発掘・育成・活用 (随時) 協議体の地域の実情に応じた活動支援 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 生活支援コーディネーターと協同し、社会資源や防災情報等の情報収集・現状把握に取り組んだ。各地区の高齢者サロンや町内会・老人会の集まりに積極的に顔を出して、良好な関係性を築くことができた。住民主体の活動グループの発掘・育成・支援として、社協と共催でノルディックウォーキングを企画・開催。11月より自主運動グループを立ち上げることができた。また、9月～11月社協と包括内間木苑と共同で切り絵の講座を開催。講座終了後は、住民主体での切り絵の会を立ち上げることができた。また、子ども食堂や企業等の取り組みにも協力し、関係を構築することができた。第2層協議体を作るための土台作りをしながら来年度につなげていく。		
(7)認知症総合支援事業		
目標と課題 目標:認知症当事者や家族を地域全体で見守り、支えることができる 課題:地域住民へ認知症の普及啓発をすることで、地域の支援者を増やす		
<ul style="list-style-type: none"> ①認知症の早期対応に向けた支援 ②認知症の方と家族への支援 ③医療・介護・家族の連携支援 ④認知症についての地域理解の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 初期集中支援チーム員として認知症の方及び家族に早期対応できる支援体制の構築 認知症に関する知識習得機会の提供 認知症専門医や地域の支援機関との連携、困難事例の検討・支援 認知症カフェや徘徊高齢者見守り支援事業の実施により地域の連携支援、家族介護者の負担軽減 認知症サポーター養成講座の実施 ステップアップ講座等による地域の支援者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症への早期対応 (随時) 認知症ケアガイドブック等の活用 (随時) 認知症カフェ(オレンジカフェ) (年3回) 徘徊高齢者の声かけ訓練 (未実施) 知恵袋、家族介護者教室 (年2回) 認知症サポーター養成講座 (年1回) 地域の支援者の育成 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) オレンジカフェは、毎回、認知症当事者やその家族が参加。地域の医療職(作業療法士・看護師)と共同で開催。ネイルアートや手工芸、バイオリン演奏など地域のボランティアにも参加してもらい、様々な集団活動を通して交流を促進することができた。また本年度から、認知症サポーター養成講座の受講者から、包括が主催する認知症施策に関連する取り組みに賛同していただける方の名簿を作成。オレンジカフェの運営や徘徊高齢者声かけ訓練等につなげられるよう随時、案内していく。今後も、引き続き、徘徊高齢者の声かけ訓練や認知症サポーター養成講座の開催を増やし、地域住民へ認知症の普及啓発をしながら地域の支援者も増やせるよう取り組んでいく。		
(8)地域ケア会議推進事業		
目標と課題 目標:本人が望んだ暮らしを実現、継続できるよう選択肢の提案を行う 課題:困難事例解決や地域課題を整理し、支援を行っていく		
<ul style="list-style-type: none"> 多職種協働による、個別ケースの自立生活支援検討の会議から、地域の課題を把握することと、解決策を検討する機能を有する会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 個別課題の解決 介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援 高齢者の実態把握や課題解決のためのネットワーク構築 地域課題の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 包括単位の地域ケア会議 (年4回)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) ・介護支援専門員による自立に資するケアマネジメント向上や地域課題の共有・課題解決につなげられるよう検討を行った。介護支援専門員に対して、専門職による助言を通し、ケアマネジメントの質の向上やインフォーマルサービスの紹介等につなげることができた。また、地域ケア会議の傍聴では、介護支援専門員以外にも地域の歯科医や管理栄養士、薬剤師等の専門職の参加も見られている。医療機関と顔を合わせる機会を増やししながら、地域の課題の把握・課題解決のためのネットワークを構築していく。		

令和6年度
朝霞市地域包括支援センター
事業計画書

第1圏域	内間木苑
第2圏域	つつじの郷
第3圏域	モーニングパーク
第4圏域	ひいらぎの里
第5圏域	朝光苑
第6圏域	あさか中央

朝霞市地域包括支援センター 運営方針		評価基準	自己評価	市評価
			(○ △ ×)	
基本的事項	事業計画の策定	地域の実情に応じた課題・計画を策定し、各地域での特色のある創意工夫した事業運営をしている		
	人員配置基準	基準に沿った有資格者等を常勤で配置している(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(これらに準ずる者を含む))		
	職員の姿勢	地域の高齢者の最善の利益を図るために業務を遂行している		
	市との連携	市と連携を図り、情報の共有をすることにより、困難ケース等の対応をしている		
	地域との連携	地域を支える中核的な機関として、地域における関係者と連携し、資源を活用し高齢者を支援している		
	個人情報の保護	保有する個人情報に業務に関係のない目的で使用され、漏洩することがないように個人情報に関する責任者(常勤)を配置し、情報管理を徹底化している		
	広報活動	パンフレットやチラシ等を作成し、地域住民及び関係者へ積極的に広報している		
	苦情対応	センターに関する苦情等については、その内容を記録し、迅速かつ適切に対応している		
重点項目	課題と目標	実施報告と評価	市の評価	
	目標：気に掛け合える地域の醸成 課題：地域や関係機関との定期的な交流 幅広い世代への包括支援センターの周知			

包括的支援事業(包括支援センターの運営) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業計画(事業名及び実施回数を記載してください)
(1)総合相談支援業務		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) 目標:2つの課題を網羅した内容の講座の検討。包括周知のため、過去に行なっていない方法で幅広い世代への周知を図りたい。 課題:認知症・運動のリスクが圏域カルテにおいて一番高い地域である。関係機関との円滑な共有。		
①実態把握 ②総合相談業務 ③地域包括支援ネットワーク構築業務 ④地域住民への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のニーズ、地域ニーズ・特性の把握 ・総合的かつ迅速に相談できる体制(ワンストップサービスの拠点) ・民生委員、自治会・町内会、地域住民等との情報共有・連携 ・本人・家族・事業者・関係団体・地域住民等の人的資源の把握とネットワークの構築 ・地域の自主グループ活動の育成、支援 ・ボランティア育成等の市民向け講座の実施 ・機関紙等の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談、支援(窓口・電話・訪問ほか) ・出張相談会 (年1回以上) ・民生委員定例会への参加 (各地区年2回以上) ・自治会・町内会との連携 (随時) ・老人会・サロン等への支援 (随時) ・老人会・サロン等での出前講座 (年1回以上) ・市民向け講座 (年1回以上) ・機関紙・広報誌の発行 (年2回以上) ・見守りを要する高齢者等への支援 (随時) ・UR 浜崎団地職員、民生委員との情報共有会の継続。(年6回以上) ・朝霞市避難行動要支援者台帳の活用
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(2)権利擁護業務		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) 目標:高齢者の人権を擁護すると同時に、悪質商法の普及啓発に努める。 課題:高齢者の不利益となるような事象を防止する。		
①成年後見制度の活用 ②高齢者虐待の防止及び対応 ③困難事例への対応 ④消費者被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の周知、活用 ・高齢者虐待の状況把握と迅速かつ適切な対応 ・介護者の孤立防止、認知症への理解啓発、高齢者権利の意識醸成 ・困難事例に対する専門職の連携、各種会議等の活用による対応検討 ・警察と連携した消費者被害防止の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別・老人会・サロン等への周知 (随時) ・民生委員や関係機関との連携 (随時) ・専門職の連携や会議等を活用した事例検討 (随時) ・消費者被害防止や交通安全等の啓発 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) 目標:互いの事業への参加を行ない、俯瞰的視点を養う。相互に高めあえるような関係性の構築。 課題:横のつながりを強化。相談しやすい関係作り。		
①包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備 ②介護支援専門員に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施 ・関係機関(フォーマル・インフォーマル含む)との連携 ・介護支援専門員のネットワーク構築 ・介護支援専門員の資質向上のための情報提供、研修の実施 ・介護支援専門員への個別相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関連絡会議への参加 (随時) ・全包括合同のケアマネカフェ (年3回) ・居宅介護支援事業所の訪問 (随時) ・介護支援専門員への個別支援 (随時) ・介護施設運営推進会議(随時) ・第1圏域ネットワーク会議(地域密着型サービス事業所との連携)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(4)介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) 目標:一人一人が健康増進の大切さを意識できるよう発信していく。 課題:重度化防止と早期発見に努めることができる。		
① 介護予防・日常生活支援総合事業 1) 介護予防・生活支援サービス事業 対象者のケアマネジメント 2) 一般介護予防事業 ② 指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・生活支援サービス事業対象者のケアマネジメント ・介護予防把握事業(例:閉じこもり等で何らかの支援を要する人を把握し、介護予防の活動へつなげる) ・介護予防普及啓発事業(例:介護予防に関する講座や教室・講演会を開催し介護予防の重要性を周知) ・地域介護予防活動支援事業(例:地域住民が主体となつて行う介護予防の活動に対し支援などを行う) ・地域リハビリテーション活動支援事業(例:介護予防の取組を強化するため、地域の介護予防活動にリハビリテーション専門職等が参加し活動を支援) ・要支援認定者へのケアマネジメント (介護保険給付サービス利用者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業対象者へのケアマネジメント (随時) ・サービスCの有効的活用 (随時) ・一般介護予防事業への支援 (随時) ・介護予防に関する講座・教室等 (年1回以上) ・地域の介護予防団体への支援 (随時) ・要支援認定者へのケアマネジメント (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		

包括的支援事業(社会保障充実分) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業計画(事業名及び実施回数を記載してください)
(5)在宅医療・介護連携推進事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:包括関連の冊子等の設置依頼。(圏域内から開始)		
課題:医療機関との連携。		
<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護サービスの情報共有支援 圏域毎での情報共有支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の医療・介護の資源の把握 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進 在宅医療・介護連携に関する相談支援 地域住民への普及啓発 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修など、地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携に関する相談支援 (随時) 地域住民への普及啓発 (随時) 市が主催する会議・研修会への出席・参加
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(どういったことが得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(6)生活支援体制整備事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:様々な方の参加を募り、多面的に考え、対応する。		
課題:協議体への参加と周知。		
地域における介護予防及び互助活動につながる、住民主体の活動グループの発掘・育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する生活支援ニーズへの対応 社会資源の発掘・育成・活用 協議体の地域の実情に応じた活動支援 地域のつながりの重要性の啓発、多様な主体間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 社会資源の発掘・育成・活用 (随時) 協議体の地域の実情に応じた活動支援 (随時) 第2層協議体 和の会の運営支援(月1回)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(7)認知症総合支援事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:一人でも多くの見守りの目が増える。		
課題:当事者・家族の参加が少ない。支援の輪の広がり。		
①認知症の早期対応に向けた支援 ②認知症の方と家族への支援 ③医療・介護・家族の連携支援 ④認知症についての地域理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> 初期集中支援チーム員として認知症の方及び家族に早期対応できる支援体制の構築 認知症に関する知識習得機会の提供 認知症専門医や地域の支援機関との連携、困難事例の検討・支援 認知症カフェや徘徊高齢者見守り支援事業の実施により地域の連携支援、家族介護者の負担軽減 認知症サポーター養成講座の実施 ステップアップ講座等による地域の支援者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症への早期対応 (随時) 認知症ケアガイドブック等の活用 (随時) 認知症カフェ(オレンジカフェ) (概ね月1回) 徘徊高齢者の声かけ訓練 (年1回以上) 知恵袋、家族介護者教室 (年2回以上) 認知症サポーター養成講座 (年1回以上) 地域の支援者の育成 (随時) 認サポ修了生との懇談会
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(8)地域ケア会議推進事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:住み慣れた地域で暮らし続けることが出来る。		
課題:地域の課題に即した資源の情報提供。		
<ul style="list-style-type: none"> 多職種協働による、個別ケースの自立生活支援検討の会議から、地域の課題を把握することと、解決策を検討する機能を有する会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 個別課題の解決 介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援 高齢者の実態把握や課題解決のためのネットワーク構築 地域課題の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 包括単位の地域ケア会議 (年4回以上)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		

朝霞市地域包括支援センター 運営方針		評価基準	自己評価	市評価
			(○ △ ×)	
基本的事項	事業計画の策定	地域の実情に応じた課題・計画を策定し、各地域での特色のある創意工夫した事業運営をしている		
	人員配置基準	基準に沿った有資格者等を常勤で配置している(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(これらに準ずる者を含む))		
	職員の姿勢	地域の高齢者の最善の利益を図るために業務を遂行している		
	市との連携	市と連携を図り、情報の共有をすることにより、困難ケース等の対応をしている		
	地域との連携	地域を支える中核的な機関として、地域における関係者と連携し、資源を活用し高齢者を支援している		
	個人情報の保護	保有する個人情報に業務に関係のない目的で使用され、漏洩することがないように個人情報に関する責任者(常勤)を配置し、情報管理を徹底化している		
	広報活動	パンフレットやチラシ等を作成し、地域住民及び関係者へ積極的に広報している		
	苦情対応	センターに関する苦情等については、その内容を記録し、迅速かつ適切に対応している		
重点項目	課題と目標	実施報告と評価	市の評価	
	目標：一人暮らしの孤立化を予防する 課題： ①こ食を予防する(減らす) ②活動できる体力づくり ③活動性を増やす→人との関わり(会う)を増やす→コミュニケーションツールの利用につなげる			

包括的支援事業(包括支援センターの運営) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業計画(事業名及び実施回数を記載してください)
(1)総合相談支援業務		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) 目標:総合相談だけでなく、業務内容や介護予防など包括の業務や役割を若い世代など幅広い年齢層にも周知を図る。 課題:地域包括支援センターの認知度が低い。		
①実態把握 ②総合相談業務 ③地域包括支援ネットワーク構築業務 ④地域住民への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のニーズ、地域ニーズ・特性の把握 ・総合的かつ迅速に相談できる体制(ワンストップサービスの拠点) ・民生委員、自治会・町内会、地域住民等との情報共有・連携 ・本人・家族・事業者・関係団体・地域住民等の人的資源の把握とネットワークの構築 ・地域の自主グループ活動の育成、支援 ・ボランティア育成等の市民向け講座の実施 ・機関紙等の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・出張相談会 (年2回以上) ・民生委員定例会への参加 (各地区年8回以上) ・自治会・町内会との連携 (随時) ・老人会・サロン等への支援 (随時) ・老人会・サロン等での出前講座 (随時) ・市民向け講座 (年3回以上) ・機関紙・広報誌の発行 (年6回以上) ・見守りを要する高齢者等への支援 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(2)権利擁護業務		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) 目標:地域全体での消費者被害防止の意識向上。 課題:朝霞市の消費者被害の実情を踏まえ、高齢者の消費者被害や交通事故の防止の普及啓発に取り組む。		
①成年後見制度の活用 ②高齢者虐待の防止及び対応 ③困難事例への対応 ④消費者被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の周知、活用 ・高齢者虐待の状況把握と迅速かつ適切な対応 ・介護者の孤立防止、認知症への理解啓発、高齢者権利の意識醸成 ・困難事例に対する専門職の連携、各種会議等の活用による対応検討 ・警察と連携した消費者被害防止の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別・老人会・サロン等への周知 (随時) ・民生委員や関係機関との連携 (随時) ・専門職の連携や会議等を活用した事例検討 (随時) ・消費者被害防止や交通安全等の啓発 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) 目標:事業所間の連携の強化。 課題:圏域内のケアマネジャーとの情報共有は十分とは言えず、6年度も情報共有を中心にケアマネジャーとのネットワーク構築に取り組む。		
①包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備 ②介護支援専門員に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施 ・関係機関(フォーマル・インフォーマル含む)との連携 ・介護支援専門員のネットワーク構築 ・介護支援専門員の資質向上のための情報提供、研修の実施 ・介護支援専門員への個別相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関連絡会議への参加 (随時) ・全包括合同のケアマネカフェ (年3回) ・居宅介護支援事業所の訪問 (随時) ・介護支援専門員への個別支援 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(4)介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) 目標:介護予防や地域交流の拠点づくり。 課題:地域で介護予防等の活動しているグループや地域住民の情報を発信し、さらに地域住民の介護予防をわがこととして自立につなげていく。		
① 介護予防・日常生活支援総合事業 1) 介護予防・生活支援サービス事業 対象者のケアマネジメント 2) 一般介護予防事業 ② 指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・生活支援サービス事業対象者のケアマネジメント ・介護予防把握事業(例:閉じこもり等で何らかの支援を要する人を把握し、介護予防の活動へつなげる) ・介護予防普及啓発事業(例:介護予防に関する講座や教室・講演会を開催し介護予防の重要性を周知) ・地域介護予防活動支援事業(例:地域住民が主体となって行う介護予防の活動に対し支援などを行う) ・地域リハビリテーション活動支援事業(例:介護予防の取組を強化するため、地域の介護予防活動にリハビリテーション専門職等が参加し活動を支援) ・要支援認定者へのケアマネジメント (介護保険給付サービス利用者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業対象者へのケアマネジメント (随時) ・サービスCの有効的活用 (随時) ・一般介護予防事業への支援 (随時) ・介護予防に関する講座・教室等 (年1回以上) ・地域の介護予防団体への支援 (随時) ・要支援認定者へのケアマネジメント (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		

包括的支援事業(社会保障充実分) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業計画(事業名及び実施回数を記載してください)
(5)在宅医療・介護連携推進事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:医療機関や関係機関(薬局など)との連携強化。		
課題:地域包括支援センターの周知、役割や機能、取り組みについて情報提供。		
<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護サービスの情報共有支援 圏域毎での情報共有支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の医療・介護の資源の把握 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進 在宅医療・介護連携に関する相談支援 地域住民への普及啓発 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修など、地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携に関する相談支援 (随時) 地域住民への普及啓発 (随時) 市が主催する会議・研修会への出席・参加
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(どういったことが得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(6)生活支援体制整備事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:第2層協議体の活動活性化。		
課題:協議体の周知が広がらず、“協議体”の認知度が低い。		
<ul style="list-style-type: none"> 地域における介護予防及び互助活動につながる、住民主体の活動グループの発掘・育成・支援 	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する生活支援ニーズへの対応 社会資源の発掘・育成・活用 協議体の地域の実情に応じた活動支援 地域のつながりの重要性の啓発、多様な主体間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 社会資源の発掘・育成・活用 (随時) 協議体の地域の実情に応じた活動支援 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(7)認知症総合支援事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:認知症当事者及び家族の実態把握。		
課題:オレンジカフェを当事者や家族参加につながる内容を検討し、当事者・家族の参加につながるように取り組む。		
<ul style="list-style-type: none"> ①認知症の早期対応に向けた支援 ②認知症の方と家族への支援 ③医療・介護・家族の連携支援 ④認知症についての地域理解の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 初期集中支援チーム員として認知症の方及び家族に早期対応できる支援体制の構築 認知症に関する知識習得機会の提供 認知症専門医や地域の支援機関との連携、困難事例の検討・支援 認知症カフェや徘徊高齢者見守り支援事業の実施により地域の連携支援、家族介護者の負担軽減 認知症サポーター養成講座の実施 ステップアップ講座等による地域の支援者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症への早期対応 (随時) 認知症ケアガイドブック等の活用 (随時) 認知症カフェ(オレンジカフェ) (概ね月1回) 徘徊高齢者の声かけ訓練 (年1回以上) 知恵袋、家族介護者教室 (年2回以上) 認知症サポーター養成講座 (年1回以上) 地域の支援者の育成 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(8)地域ケア会議推進事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:本人の望んだ暮らしの実現・継続、地域課題の抽出。		
課題:ケアマネジャーとの情報共有、多職種からの具体策の提示。		
<ul style="list-style-type: none"> 多職種協働による、個別ケースの自立生活支援検討の会議から、地域の課題を把握することと、解決策を検討する機能を有する会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 個別課題の解決 介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援 高齢者の実態把握や課題解決のためのネットワーク構築 地域課題の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 包括単位の自立支援型地域ケア会議 (年4回以上)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		

令和6年度 朝霞市地域包括支援センター事業計画書 (基本的事項・重点項目) 地域包括支援センター名(モーニングパーク)

朝霞市地域包括支援センター 運営方針		評価基準	自己評価	市評価
			(○ △ ×)	
基本的事項	事業計画の策定	地域の実情に応じた課題・計画を策定し、各地域での特色のある創意工夫した事業運営をしている		
	人員配置基準	基準に沿った有資格者等を常勤で配置している(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(これらに準ずる者を含む))		
	職員の姿勢	地域の高齢者の最善の利益を図るために業務を遂行している		
	市との連携	市と連携を図り、情報の共有をすることにより、困難ケース等の対応をしている		
	地域との連携	地域を支える中核的な機関として、地域における関係者と連携し、資源を活用し高齢者を支援している		
	個人情報の保護	保有する個人情報が業務に関係のない目的で使用され、漏洩することがないように個人情報に関する責任者(常勤)を配置し、情報管理を徹底化している		
	広報活動	パンフレットやチラシ等を作成し、地域住民及び関係者へ積極的に広報している		
	苦情対応	センターに関する苦情等については、その内容を記録し、迅速かつ適切に対応している		
重点項目	課題と目標	実施報告と評価	市の評価	
	目標： ・圏域住民の複雑化・複合化したニーズへの対応の深化を進める。 ・2025年問題を見据え、認知症等高齢者の家族を含めた家族介護者の支援を充実させる。 課題： ・必要なニーズを的確に把握する手段、方法。 ・直接的支援のみならず、金銭管理、身元保証など権利擁護の制度利用への導入の窓口確保。			

包括的支援事業(包括支援センターの運営) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業計画(事業名及び実施回数を記載してください)
(1)総合相談支援業務		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:適切で持続可能な支援へつなげる相談体制を維持する。		
課題:複雑化し、複合化したニーズを的確に把握すること。アプローチの難しい当事者への対応及び、地域資源、介護予防サービスの導入。		
①実態把握 ②総合相談業務 ③地域包括支援ネットワーク構築業務 ④地域住民への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のニーズ、地域ニーズ・特性の把握 ・総合的かつ迅速に相談できる体制(ワンストップサービスの拠点) ・民生委員、自治会・町内会、地域住民等との情報共有・連携 ・本人・家族・事業者・関係団体・地域住民等の人的資源の把握とネットワークの構築 ・地域の自主グループ活動の育成、支援 ・ボランティア育成等の市民向け講座の実施 ・機関紙等の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・出張相談会 (年1回以上) ・相談支援(窓口・相談の各機能)やラジオ体操後の相談(ラジオ体操:週2回 相談:随時) ・介護保険の相談・代行支援(随時) ・地域の活動等への支援(随時) ・民生委員との情報交換(南部:ありがとうの会 月2回・南西部 年4回) ・家族介護者の相談、支援(随時) ・地域ネットワーク構築の為に専門職による講座(年2回) ・自治会・町内会との連携 (随時) ・介護保険説明会(年1回) ・老人会・サロン等への支援及び出前講座(月2回) ・回覧版でのイベント情報の周知(月1回) ・地域団体との調整(随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(2)権利擁護業務		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:居住支援や身元保証等が必要と思われる高齢者等を地域全体で見守る体制の構築		
課題:関係機関との適切かつ的確な役割分担。講座や成年後見制度についての啓蒙活動。		
①成年後見制度の活用 ②高齢者虐待の防止及び対応 ③困難事例への対応 ④消費者被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の周知、活用 ・高齢者虐待の状況把握と迅速かつ適切な対応 ・介護者の孤立防止、認知症への理解啓発、高齢者権利の意識醸成 ・困難事例に対する専門職の連携、各種会議等の活用による対応検討 ・警察と連携した消費者被害防止の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別・老人会・サロン等への周知 (随時) ・民生委員や関係機関との連携 (随時) ・専門職の連携や会議等を活用した事例検討 (随時) ・消費者被害防止や交通安全等の啓発 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:複雑化する課題への対応において領域の多岐化。介護支援専門員等の支援体制の構築。		
課題:法的な部分での関係機関との繋がりの構築。個人情報保護に配慮したニーズの把握		
①包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備 ②介護支援専門員に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施 ・関係機関(フォーマル・インフォーマル含む)との連携 ・介護支援専門員のネットワーク構築 ・介護支援専門員の資質向上のための情報提供、研修の実施 ・介護支援専門員への個別相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関連絡会議への参加 (随時) ・全包括合同のケアマネカフェ (年4回) ・居宅介護支援事業所の訪問 (随時) ・介護支援専門員への個別支援 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(4)介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:介護予防につながる講座や実施している団体を支援し、活動の将来的な自主化に向けた人材の確保を目指す。		
課題:将来的に住民主体の活動を実現する為、講座の継続と内容の充実。その普及啓発。		
① 介護予防・日常生活支援総合事業 1) 介護予防・生活支援サービス事業 対象者のケアマネジメント 2) 一般介護予防事業 ② 指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・生活支援サービス事業対象者のケアマネジメント ・介護予防把握事業(例:閉じこもり等で何らかの支援を要する人を把握し、介護予防の活動へつなげる) ・介護予防普及啓発事業(例:介護予防に関する講座や教室・講演会を開催し介護予防の重要性を周知) ・地域介護予防活動支援事業(例:地域住民が主体となって行う介護予防の活動に対し支援などを行う) ・地域リハビリテーション活動支援事業(例:介護予防の取組を強化するため、地域の介護予防活動にリハビリテーション専門職等が参加し活動を支援) ・要支援認定者へのケアマネジメント (介護保険給付サービス利用者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業対象者へのケアマネジメント (随時) ・サービスCの有効的活用 (随時) ・一般介護予防事業への支援 (月2回) ・介護予防に関する講座・教室等 (月1回以上) 本町圏域での講座実施予定(月1回) ・地域の介護予防団体への支援 (随時) ・要支援認定者へのケアマネジメント (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		

包括的支援事業(社会保障充実分) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業計画(事業名及び実施回数を記載してください)
(5)在宅医療・介護連携推進事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:ニーズに沿った在宅医療、介護との連携の効率化を図る。		
課題:精神科と内科等、必要な在宅医療の診療科目への複雑化と対応できる医療機関の確保。受入拒否の利用者への介入方法。		
<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護サービスの情報共有支援 圏域毎での情報共有支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の医療・介護の資源の把握 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進 在宅医療・介護連携に関する相談支援 地域住民への普及啓発 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修など、地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携に関する相談支援 (随時) 地域住民への普及啓発 (随時) 市が主催する会議・研修会への出席・参加(依頼あれば随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(どういったことが得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(6)生活支援体制整備事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:協議体で話し合いや企画などを活発に行い、地域課題の改善と、生活支援となるような地域とのつながりづくり等の取り組みを行う。		
課題:地域課題抽出の取組などの持続性とテーマの再検討。実現に向けた協議の進行。住民、関係機関等の協議体への参加促進。		
<ul style="list-style-type: none"> 地域における介護予防及び互助活動につながる、住民主体の活動グループの発掘・育成・支援 	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する生活支援ニーズへの対応 社会資源の発掘・育成・活用 協議体の地域の実情に応じた活動支援 地域のつながりの重要性の啓発、多様な主体間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 社会資源の発掘・育成・活用 (随時) 第2層協議体「あ・さかつなぎ」の地域の実情に応じた活動支援(協議体:月1回)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(7)認知症総合支援事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:家族、地域住民の認知症への正しい理解の為の場を継続し、一層の普及、啓発を図る。		
課題:地域支援の軸となる人的資源発掘。多世代への講座等への参加促進。		
<ul style="list-style-type: none"> ①認知症の早期対応に向けた支援 ②認知症の方と家族への支援 ③医療・介護・家族の連携支援 ④認知症についての地域理解の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・初期集中支援チーム員として認知症の方及び家族に早期対応できる支援体制の構築 ・認知症に関する知識習得機会の提供 ・認知症専門医や地域の支援機関との連携、困難事例の検討・支援 ・認知症カフェや徘徊高齢者見守り支援事業の実施により地域の連携支援、家族介護者の負担軽減 ・認知症サポーター養成講座の実施 ・ステップアップ講座等による地域の支援者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症への早期対応 (随時) ・認知症ケアガイドブック等の活用 (随時) ・認知症カフェ(オレンジカフェ) (概ね月1回) ・徘徊高齢者の声かけ訓練 (年1回以上) ・知恵袋、家族介護者教室 (年2回以上) ・認知症サポーター養成講座 (年1回以上) ・地域の支援者の育成 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(8)地域ケア会議推進事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:包括単位の地域ケア会議を通じ、参加機関等との地域課題を共有し、解決への道筋をつける。		
課題:提出されたケースから地域課題の抽出。		
<ul style="list-style-type: none"> ・多職種協働による、個別ケースの自立生活支援検討の会議から、地域の課題を把握することと、解決策を検討する機能を有する会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別課題の解決 ・介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援 ・高齢者の実態把握や課題解決のためのネットワーク構築 ・地域課題の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・包括単位の地域ケア会議 (年4回以上)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		

朝霞市地域包括支援センター 運営方針		評価基準	自己評価	市評価
			(○ △ ×)	
基本的事項	事業計画の策定	地域の実情に応じた課題・計画を策定し、各地域での特色のある創意工夫した事業運営をしている		
	人員配置基準	基準に沿った有資格者等を常勤で配置している(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(これらに準ずる者を含む))		
	職員の姿勢	地域の高齢者の最善の利益を図るために業務を遂行している		
	市との連携	市と連携を図り、情報の共有をすることにより、困難ケース等の対応をしている		
	地域との連携	地域を支える中核的な機関として、地域における関係者と連携し、資源を活用し高齢者を支援している		
	個人情報の保護	保有する個人情報に業務に関係のない目的で使用され、漏洩することがないように個人情報に関する責任者(常勤)を配置し、情報管理を徹底化している		
	広報活動	パンフレットやチラシ等を作成し、地域住民及び関係者へ積極的に広報している		
	苦情対応	センターに関する苦情等については、その内容を記録し、迅速かつ適切に対応している		
重点項目	課題と目標	実施報告と評価	市の評価	
	課題：①地域包括支援センターの認知度 ②相談対応力 ③地域住民との交流の機会 目標：地域包括支援センターを活用していただくため、地域の方に広く周知する。			

包括的支援事業(包括支援センターの運営) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業計画(事業名及び実施回数を記載してください)
(1)総合相談支援業務		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
課題:地域包括支援センターが高齢者の相談窓口であることを知らない方も一定数いる。		
目標:地域包括支援センターを周知し、活用していただくことで、早期にかかわりができる。		
①実態把握 ②総合相談業務 ③地域包括支援ネットワーク構築業務 ④地域住民への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のニーズ、地域ニーズ・特性の把握 ・総合的かつ迅速に相談できる体制(ワンストップサービスの拠点) ・民生委員、自治会・町内会、地域住民等との情報共有・連携 ・本人・家族・事業者・関係団体・地域住民等の人的資源の把握とネットワークの構築 ・地域の自主グループ活動の育成、支援 ・ボランティア育成等の市民向け講座の実施 ・機関紙等の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・出張相談会 (年1回以上) ・民生委員定例会への参加 (各地区年2回以上) ・自治会・町内会との連携 (随時) ・老人会・サロン等への支援 (随時) ・老人会・サロン等での出前講座 (年1回以上) ・市民向け講座 (年2回以上) ・機関紙・広報誌の発行 (年2回以上) ・見守りを要する高齢者等への支援 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(2)権利擁護業務		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
課題:独居世帯や高齢者世帯が増加し、入院・入所など将来の不安を抱える方の相談への対応。		
目標:身元保証サービスや成年後見制度を正しく理解し、周知する。		
①成年後見制度の活用 ②高齢者虐待の防止及び対応 ③困難事例への対応 ④消費者被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の周知、活用 ・高齢者虐待の状況把握と迅速かつ適切な対応 ・介護者の孤立防止、認知症への理解啓発、高齢者権利の意識醸成 ・困難事例に対する専門職の連携、各種会議等の活用による対応検討 ・警察と連携した消費者被害防止の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別・老人会・サロン等への周知 (随時) ・民生委員や関係機関との連携 (随時) ・専門職の連携や会議等を活用した事例検討 (随時) ・消費者被害防止や交通安全等の啓発 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
課題:地域のケアマネジャーと包括職員、顔の見える関係性の構築。		
目標:地域のケアマネジャーにとって、相談しやすい機関となる。相談対応力の向上。		
①包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備 ②介護支援専門員に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施 ・関係機関(フォーマル・インフォーマル含む)との連携 ・介護支援専門員のネットワーク構築 ・介護支援専門員の資質向上のための情報提供、研修の実施 ・介護支援専門員への個別相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関連絡会議への参加 (随時) ・全包括合同のケアマネカフェ (年4回) ・居宅介護支援事業所の訪問 (随時) ・介護支援専門員への個別支援 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(4)介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
課題:根岸台7丁目エリアの集いの場の創出(立上げ・発掘)。		
目標:介護予防となりうる拠点の整備		
① 介護予防・日常生活支援総合事業 1) 介護予防・生活支援サービス事業 対象者のケアマネジメント 2) 一般介護予防事業 ② 指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・生活支援サービス事業対象者のケアマネジメント ・介護予防把握事業(例:閉じこもり等で何らかの支援を要する人を把握し、介護予防の活動へつなげる) ・介護予防普及啓発事業(例:介護予防に関する講座や教室・講演会を開催し介護予防の重要性を周知) ・地域介護予防活動支援事業(例:地域住民が主体となって行う介護予防の活動に対し支援などを行う) ・地域リハビリテーション活動支援事業(例:介護予防の取組を強化するため、地域の介護予防活動にリハビリテーション専門職等が参加し活動を支援) ・要支援認定者へのケアマネジメント (介護保険給付サービス利用者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業対象者へのケアマネジメント (随時) ・サービスCの有効的活用 (随時) ・一般介護予防事業への支援 (随時) ・介護予防に関する講座・教室等 (年1回以上) ・地域の介護予防団体への支援 (随時) ・要支援認定者へのケアマネジメント (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		

包括的支援事業(社会保障充実分) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業計画(事業名及び実施回数を記載してください)
(5)在宅医療・介護連携推進事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
課題:対象者の望む暮らしを円滑に整える。		
目標:ACPの必要性や理解に努める。		
<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護サービスの情報共有支援 圏域毎での情報共有支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の医療・介護の資源の把握 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進 在宅医療・介護連携に関する相談支援 地域住民への普及啓発 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修など、地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携に関する相談支援 (随時) 地域住民への普及啓発 (随時) 市が主催する会議・研修会への出席・参加
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(どういったことが得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(6)生活支援体制整備事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
課題:多様な生活支援ニーズに対応した社会資源の把握と開発、斡旋。		
目標:サロン参加者、担い手の新規発掘。		
<ul style="list-style-type: none"> 地域における介護予防及び互助活動につながる、住民主体の活動グループの発掘・育成・支援 	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する生活支援ニーズへの対応 社会資源の発掘・育成・活用 協議体の地域の実情に応じた活動支援 地域のつながりの重要性の啓発、多様な主体間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 社会資源の発掘・育成・活用 (随時) 協議体の地域の実情に応じた活動支援 (随時) 企業連携 イベントの開催(年3回程度)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(7)認知症総合支援事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
課題:認知症について、正しい知識を伝えていく必要がある。		
目標:認知症について正しく理解し、対応方法を知ることによって地域での見守り体制ができる。		
<ul style="list-style-type: none"> ①認知症の早期対応に向けた支援 ②認知症の方と家族への支援 ③医療・介護・家族の連携支援 ④認知症についての地域理解の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 初期集中支援チーム員として認知症の方及び家族に早期対応できる支援体制の構築 認知症に関する知識習得機会の提供 認知症専門医や地域の支援機関との連携、困難事例の検討・支援 認知症カフェや徘徊高齢者見守り支援事業の実施により地域の連携支援、家族介護者の負担軽減 認知症サポーター養成講座の実施 ステップアップ講座等による地域の支援者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症への早期対応 (随時) 認知症ケアガイドブック等の活用 (随時) 認知症カフェ(オレンジカフェ) (概ね月1回) 知恵袋、家族介護者教室 (年2回以上) 認知症サポーター養成講座 (年1回以上) 地域の支援者の育成 (随時) オレンジリングカフェ(年3回以上)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(8)地域ケア会議推進事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
課題:地域ケア会議で多職種から得られたアドバイス等を支援にいかすことができる。		
目標:住み慣れた地域での暮らしを続けるための引き出しを増やす。		
<ul style="list-style-type: none"> 多職種協働による、個別ケースの自立生活支援検討の会議から、地域の課題を把握することと、解決策を検討する機能を有する会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 個別課題の解決 介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援 高齢者の実態把握や課題解決のためのネットワーク構築 地域課題の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 包括単位の地域ケア会議 (年4回以上)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		

朝霞市地域包括支援センター 運営方針		評価基準	自己評価	市評価
			(○ △ ×)	
基本的事項	事業計画の策定	地域の実情に応じた課題・計画を策定し、各地域での特色のある創意工夫した事業運営をしている		
	人員配置基準	基準に沿った有資格者等を常勤で配置している(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(これらに準ずる者を含む))		
	職員の姿勢	地域の高齢者の最善の利益を図るために業務を遂行している		
	市との連携	市と連携を図り、情報の共有をすることにより、困難ケース等の対応をしている		
	地域との連携	地域を支える中核的な機関として、地域における関係者と連携し、資源を活用し高齢者を支援している		
	個人情報の保護	保有する個人情報に業務に関係のない目的で使用され、漏洩することがないように個人情報に関する責任者(常勤)を配置し、情報管理を徹底化している		
	広報活動	パンフレットやチラシ等を作成し、地域住民及び関係者へ積極的に広報している		
	苦情対応	センターに関する苦情等については、その内容を記録し、迅速かつ適切に対応している		
重点項目	課題と目標	実施報告と評価	市の評価	
	目標：市民が主体的にフレイルや介護予防、ACPに取り組む。 課題：普及啓発の場の提供とそれらに参加された方に対する継続的な支援の実施。			

包括的支援事業(包括支援センターの運営) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業計画(事業名及び実施回数を記載してください)
(1)総合相談支援業務		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標: 困りごとに対し、早期の段階から相談しやすいセンターとなる。		
課題: 地域包括支援センターの機能周知、平時からの地域住民等とのネットワーク強化。		
①実態把握 ②総合相談業務 ③地域包括支援ネットワーク構築業務 ④地域住民への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のニーズ、地域ニーズ・特性の把握 ・総合的かつ迅速に相談できる体制(ワンストップサービスの拠点) ・民生委員、自治会・町内会、地域住民等との情報共有・連携 ・本人・家族・事業者・関係団体・地域住民等の人的資源の把握とネットワークの構築 ・地域の自主グループ活動の育成、支援 ・ボランティア育成等の市民向け講座の実施 ・機関紙等の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談受付(訪問・電話・来所・メール)(随時) ・出張相談会(幸町・栄町・本町・膝折町)(各年1回) ・生活支援民生委員会議(幸町・栄町・本町・膝折町)(各年3回) ・市民向け講座(年3回) ・自治会・町内会との連携(随時)、懇談(年1回) ・老人会・サロン等への支援(随時) ・老人会・サロン・町内会等での出前講座(年1回) ・広報誌「こすもす」の発行(年4回) ・包括独自チラシの発行(年1回) ・センター内会議(月1回) ・見守りを要する高齢者等への支援(随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(2)権利擁護業務		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標: 地域での見守りの目を増やし、特殊詐欺被害に遭いにくい地域づくりに取り組む。		
課題: 地域の見守りネットワークの強化、関係機関との連携強化、成年後見制度の周知。		
①成年後見制度の活用 ②高齢者虐待の防止及び対応 ③困難事例への対応 ④消費者被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の周知、活用 ・高齢者虐待の状況把握と迅速かつ適切な対応 ・介護者の孤立防止、認知症への理解啓発、高齢者権利の意識醸成 ・困難事例に対する専門職の連携、各種会議等の活用による対応検討 ・警察と連携した消費者被害防止の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別・老人会・サロン等への周知(随時) ・民生委員や関係機関との連携(随時) ・専門職の連携や会議等を活用した事例検討(随時) ・特殊詐欺被害防止や交通安全等の啓発(随時) ・成年後見制度の周知(随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標: 地域ケア会議や意見交換会等を通じて、ケアマネジャーと関係機関等との連携を図る。		
課題: 圏域内居宅介護支援事業者とのスムーズな情報伝達、地域資源等の情報提供・活用の促進。		
①包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備 ②介護支援専門員に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施 ・関係機関(フォーマル・インフォーマル含む)との連携 ・介護支援専門員のネットワーク構築 ・介護支援専門員の資質向上のための情報提供、研修の実施 ・介護支援専門員への個別相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議の開催(年4回) ・関係機関連絡会議への参加(随時) ・全包括合同のケアマネカフェ(年3回) ・圏域内居宅介護支援事業所との意見交換会(年2回) ・圏域内居宅介護支援事業所とのネットワーク構築(SNSの活用)とそれによる情報提供・共有 ・介護支援専門員への個別支援(随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(4)介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標: 住民が地域の中で自分らしく健やかに生活するため、自発的にフレイル予防に取り組む。		
課題: 介護予防・フレイル予防や認知症予防に関心のない住民に対するアプローチ。包括主催講座の周知。		
① 介護予防・日常生活支援総合事業 1) 介護予防・生活支援サービス事業 対象者のケアマネジメント 2) 一般介護予防事業 ② 指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・生活支援サービス事業対象者のケアマネジメント ・介護予防把握事業(例: 閉じこもり等で何らかの支援を要する人を把握し、介護予防の活動へつなげる) ・介護予防普及啓発事業(例: 介護予防に関する講座や教室・講演会を開催し介護予防の重要性を周知) ・地域介護予防活動支援事業(例: 地域住民が主体となって行う介護予防の活動に対し支援などを行う) ・地域リハビリテーション活動支援事業(例: 介護予防の取組を強化するため、地域の介護予防活動にリハビリテーション専門職等が参加し活動を支援) ・要支援認定者へのケアマネジメント(介護保険給付サービス利用者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業対象者へのケアマネジメント(随時) ・サービスCの有効的活用(随時) ・一般介護予防事業への支援(随時) ・ノルディックウォーク講座(全8回)、市民向け講座(3回) ・介護予防教室(膝折町・栄町 各3回) ・地域の介護予防団体への支援(随時) ・要支援認定者へのケアマネジメント(随時) ・ラジオ体操開催(幸町・膝折町・栄町)(各週1回) ・サロンガイドブックの配布(随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		

包括的支援事業(社会保障充実分) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター 運営方針	実施内容	事業計画(事業名及び実施回数を記載してください)
(5)在宅医療・介護連携推進事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:在宅療養が必要になっても、自分らしく住み慣れた地域で生活できる支援体制をつくる。		
課題:医療に関する情報収集・提供、医療機関との連携、ACPに関する市民への啓発。		
<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護サービスの情報共有支援 圏域毎での情報共有支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の医療・介護の資源の把握 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進 在宅医療・介護連携に関する相談支援 地域住民への普及啓発 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修など、地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携に関する相談支援 (随時) 地域住民への普及啓発 (随時) 市が主催する会議・研修会への出席・参加 医療リストの活用(随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(どういったことが得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(6)生活支援体制整備事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:地域住民同士が繋がり、お互いに支えたり助け合ったりしながら自分らしい生活が続けることができる地域をつくる。		
課題:第2層協議体での地域課題の抽出、住民同士のネットワーク構築。		
<ul style="list-style-type: none"> 地域における介護予防及び互助活動につながる、住民主体の活動グループの発掘・育成・支援 	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する生活支援ニーズへの対応 社会資源の発掘・育成・活用 協議体の地域の実情に応じた活動支援 地域のつながりの重要性の啓発、多様な主体間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 社会資源の発掘・育成・活用 (随時) 協議体の地域の実情に応じた活動支援 (随時) 第2層協議体(よろず屋集いの会)の開催(月1回) サロンよろず屋の活動支援(月1回)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(7)認知症総合支援事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:認知症があっても、自分らしく地域で生活が続けることができる地域をつくる。		
課題:認知症への理解促進、認知症に関する情報提供、家族への支援、早期に診断に繋がる支援体制。		
<ul style="list-style-type: none"> ①認知症の早期対応に向けた支援 ②認知症の方と家族への支援 ③医療・介護・家族の連携支援 ④認知症についての地域理解の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 初期集中支援チーム員として認知症の方及び家族に早期対応できる支援体制の構築 認知症に関する知識習得機会の提供 認知症専門医や地域の支援機関との連携、困難事例の検討・支援 認知症カフェや徘徊高齢者見守り支援事業の実施により地域の連携支援、家族介護者の負担軽減 認知症サポーター養成講座の実施 ステップアップ講座等による地域の支援者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症への早期対応 (随時) 認知症ケアガイドブック等の活用 (随時) 認知症カフェ(オレンジカフェ) (月1回)※8月除く 知恵袋、家族介護者教室 への参加(年2回以上) 認知症サポーター養成講座 (年1回以上) 地域の支援者の育成 (随時) 医療リストの活用(随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(8)地域ケア会議推進事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
目標:自分らしい生活の実現、住み慣れた地域で生活を続けられるための適切なケアマネジメントの提供。		
課題:地域課題の抽出 多職種からのアドバイスのケアプランへの反映。		
<ul style="list-style-type: none"> 多職種協働による、個別ケースの自立生活支援検討の会議から、地域の課題を把握することと、解決策を検討する機能を有する会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 個別課題の解決 介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援 高齢者の実態把握や課題解決のためのネットワーク構築 地域課題の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 包括単位の地域ケア会議 (年4回以上)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		

朝霞市地域包括支援センター 運営方針		評価基準	自己評価	市評価
			(○ △ ×)	
基本的事項	事業計画の策定	地域の実情に応じた課題・計画を策定し、各地域での特色のある創意工夫した事業運営をしている		
	人員配置基準	基準に沿った有資格者等を常勤で配置している(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(これらに準ずる者を含む))		
	職員の姿勢	地域の高齢者の最善の利益を図るために業務を遂行している		
	市との連携	市と連携を図り、情報の共有をすることにより、困難ケース等の対応をしている		
	地域との連携	地域を支える中核的な機関として、地域における関係者と連携し、資源を活用し高齢者を支援している		
	個人情報の保護	保有する個人情報に業務に関係のない目的で使用され、漏洩することがないように個人情報に関する責任者(常勤)を配置し、情報管理を徹底化している		
	広報活動	パンフレットやチラシ等を作成し、地域住民及び関係者へ積極的に広報している		
	苦情対応	センターに関する苦情等については、その内容を記録し、迅速かつ適切に対応している		
重点項目	課題と目標	実施報告と評価	市の評価	
	目標：地域とのつながりを強化する。 課題： <ul style="list-style-type: none"> ・ 孤立している高齢者の把握・支援 ・ 第2層協議体の発足 ・ 医療と介護の連携強化 			

包括的支援事業(包括支援センターの運営) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業計画(事業名及び実施回数を記載してください)
(1)総合相談支援業務		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
課題:地域の拠点の周知を図る必要がある。		
目標:地域包括支援センターの役割を理解する支援者(民生委員・老人会・薬局・民間企業等)を増やし、見守り体制を強化していく。		
①実態把握 ②総合相談業務 ③地域包括支援ネットワーク構築業務 ④地域住民への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のニーズ、地域ニーズ・特性の把握 ・総合的かつ迅速に相談できる体制(ワンストップサービスの拠点) ・民生委員、自治会・町内会、地域住民等との情報共有・連携 ・本人・家族・事業者・関係団体・地域住民等の人的資源の把握とネットワークの構築 ・地域の自主グループ活動の育成、支援 ・ボランティア育成等の市民向け講座の実施 ・機関紙等の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・出張相談会 (年1回以上) ・民生委員定例会への参加 (各地区年2回以上) ・自治会・町内会との連携 (随時) ・老人会・サロン等への支援 (随時) ・老人会・サロン等での出前講座 (年1回以上) ・市民向け講座 (年2回以上) ・機関紙・広報誌の発行 (年2回以上) ・見守りを要する高齢者等への支援 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(2)権利擁護業務		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
課題:消費者被害が増えてきている。		
目標:消費者被害を防止できるよう地区単位での被害防止の啓発をする。		
①成年後見制度の活用 ②高齢者虐待の防止及び対応 ③困難事例への対応 ④消費者被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の周知、活用 ・高齢者虐待の状況把握と迅速かつ適切な対応 ・介護者の孤立防止、認知症への理解啓発、高齢者権利の意識醸成 ・困難事例に対する専門職の連携、各種会議等の活用による対応検討 ・警察と連携した消費者被害防止の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別・老人会・サロン等への周知 (随時) ・民生委員や関係機関との連携 (随時) ・専門職の連携や会議等を活用した事例検討(随時) ・消費者被害防止や交通安全等の啓発 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
課題:複合的なニーズを抱えた高齢者が増え、介護支援専門員の負担は増えてきている。ケースに対し、伴走支援を続けていく必要がある。		
目標:介護支援専門員が相談しやすいように、顔の見える関係性を作る。		
①包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備 ②介護支援専門員に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施 ・関係機関(フォーマル・インフォーマル含む)との連携 ・介護支援専門員のネットワーク構築 ・介護支援専門員の資質向上のための情報提供、研修の実施 ・介護支援専門員への個別相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関連絡会議への参加 (随時) ・全包括合同のケアマネカフェ (年4回) ・居宅介護支援事業所の訪問 (随時) ・介護支援専門員への個別支援 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(4)介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
課題:フレイルリスクのある高齢者に対して、個別に予防的アプローチを行う必要がある。		
目標:閉じこもり傾向でフレイルリスクのある高齢者を把握し、介護予防の重要性を周知し、地域活動へつなげていく。		
① 介護予防・日常生活支援総合事業 1) 介護予防・生活支援サービス事業 対象者のケアマネジメント 2) 一般介護予防事業 ② 指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・生活支援サービス事業対象者のケアマネジメント ・介護予防把握事業(例:閉じこもり等で何らかの支援を要する人を把握し、介護予防の活動へつなげる) ・介護予防普及啓発事業(例:介護予防に関する講座や教室・講演会を開催し介護予防の重要性を周知) ・地域介護予防活動支援事業(例:地域住民が主体となって行う介護予防の活動に対し支援などを行う) ・地域リハビリテーション活動支援事業(例:介護予防の取組を強化するため、地域の介護予防活動にリハビリテーション専門職等が参加し活動を支援) ・要支援認定者へのケアマネジメント (介護保険給付サービス利用者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業対象者へのケアマネジメント (随時) ・サービスCの有効的活用 (随時) ・一般介護予防事業への支援 (随時) ・介護予防に関する講座・教室等 (年1回以上) ・地域の介護予防団体への支援 (随時) ・要支援認定者へのケアマネジメント (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		

包括的支援事業(社会保障充実分) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業計画(事業名及び実施回数を記載してください)
(5)在宅医療・介護連携推進事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
課題: 医療と介護のネットワーク化を図る必要がある。		
目標: 医療機関と介護支援専門員の垣根をなくし、気軽にケース相談ができるようになる。		
<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護サービスの情報共有支援 圏域毎での情報共有支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の医療・介護の資源の把握 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進 在宅医療・介護連携に関する相談支援 地域住民への普及啓発 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修など、地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携に関する相談支援 (随時) 地域住民への普及啓発 (随時) 市が主催する会議・研修会への出席・参加。 老いまセン体操の開催。 MCS の導入・活用。
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(どういったことが得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(6)生活支援体制整備事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
課題: 地域課題・社会資源の把握や多様な主体間との情報共有を継続していく。		
目標: 第2層協議体の発足。		
<ul style="list-style-type: none"> 地域における介護予防及び互助活動につながる、住民主体の活動グループの発掘・育成・支援 	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する生活支援ニーズへの対応 社会資源の発掘・育成・活用 協議体の地域の実情に応じた活動支援 地域のつながりの重要性の啓発、多様な主体間の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 社会資源の発掘・育成・活用 (随時) 協議体の地域の実情に応じた活動支援 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(7)認知症総合支援事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
課題: 認知症患者や相談件数が増加しており、認知症についての地域理解や認知症ケアについての情報等が不足している。		
目標: 認知症やケアについての普及啓発。		
<ul style="list-style-type: none"> ①認知症の早期対応に向けた支援 ②認知症の方と家族への支援 ③医療・介護・家族の連携支援 ④認知症についての地域理解の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 初期集中支援チーム員として認知症の方及び家族に早期対応できる支援体制の構築 認知症に関する知識習得機会の提供 認知症専門医や地域の支援機関との連携、困難事例の検討・支援 認知症カフェや徘徊高齢者見守り支援事業の実施により地域の連携支援、家族介護者の負担軽減 認知症サポーター養成講座の実施 ステップアップ講座等による地域の支援者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症への早期対応 (随時) 認知症ケアガイドブック等の活用 (随時) 認知症カフェ(オレンジカフェ) (年4回) 徘徊高齢者の声かけ訓練 (年1回以上) 知恵袋、家族介護者教室 (年2回以上) 認知症サポーター養成講座 (年1回以上) 地域の支援者の育成 (随時)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
(8)地域ケア会議推進事業		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
課題: 地域資源の情報が不足している。		
目標: 地域資源や地域の活動(サロンや通いの場等)を把握し、ケアプランに位置付けることができるようになる。		
<ul style="list-style-type: none"> 多職種協働による、個別ケースの自立生活支援検討の会議から、地域の課題を把握することと、解決策を検討する機能を有する会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 個別課題の解決 介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援 高齢者の実態把握や課題解決のためのネットワーク構築 地域課題の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 包括単位の地域ケア会議 (年4回以上)
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		

令和5年度
朝霞市地域包括支援センター
事業報告

第1圏域	内間木苑
第2圏域	つつじの郷
第3圏域	モーニングパーク
第4圏域	ひいらぎの里
第5圏域	朝光苑
第6圏域	あさか中央

令和5年度 朝霞市地域包括支援センター事業報告

1. 地域活動組織への参加

地域包括支援センター職員が、地域で行われている活動への参加を通して
地域の実態・課題把握を行い、地域の特性に応じたネットワークを構築する。

	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央	合計
R5 参加回数 (参加人数) うちラジオ 体操	252回 (4,431人) 2か所43回 (653人)	158回 (2,352人) 1か所44回 (843人)	222回 (3,173人) 3か所84回 (1,204人)	306回 (2,508人) 1か所42回 (342人)	284回 (3,461人) 3か所133回 (1,456人)	149回 (2,594人) 4か所78回 (1,130人)	1,371回 (18,519人) 14か所424回 (5,628人)
R4 参加回数 (参加人数) うちラジオ 体操	208回 (3,674人) 2か所43回 (559人)	161回 (2,298人) 1か所24回 (370人)	259回 (3,689人) 3か所121回 (1,743人)	324回 (2,516人) 1か所46回 (352人)	248回 (2,968人) 3か所110回 (1,391人)	119回 (871人) 1か所40回 (368人)	1,319回 (16,016人) 11か所384回 (4,783人)
R3 参加回数 (参加人数) うちラジオ 体操	182回 (2,137人) 2か所42回 (332人)	137回 (1,451人) 1か所16回 (152人)	222回 (3,013人) 3か所121回 (1,961人)	436回 (3,652人) 2か所86回 (939人)	165回 (2,013人) 2か所56回 (813人)	△	1,142回 (12,266人) 10か所321回 (4,197人)

※R3年度からは、全包括にてラジオ体操を実施しているため、実績を別段で記載

※R2年度までは、内間木苑、モーニングパーク、ひいらぎの里にてラジオ体操を実施

【主な事業】

◎市民向け講座

	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央	合計
R5回数 (参加人数)	2回 (51人)	6回 (135人)	20回 (429人)	3回 (51人)	19回 (446人)	2回 (59人)	52回 (1,171人)
R4回数 (参加人数)	2回 (26人)	4回 (84人)	1回 (10人)	5回 (80人)	3回 (45人)	1回 (40人)	16回 (285人)
R3回数 (参加人数)	9回 (159人)	11回 (168人)	8回 (141人)	1回 (36人)	12回 (159人)	△	41回 (663人)

◎認知症サポーター養成講座

	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央	合計
R5回数 (参加人数)	1回 (15人)	2回 (34人)	2回 (40人)	1回 (18人)	1回 (25人)	1回 (20人)	8回 (152人)
R4回数 (参加人数)	0回 (0人)	3回 (47人)	2回 (38人)	1回 (22人)	1回 (30人)	1回 (18人)	8回 (155人)
R3回数 (参加人数)	2回 (49人)	2回 (26人)	2回 (44人)	2回 (21人)	2回 (122人)	△	10回 (262人)

◎認知症カフェ

	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央	合計
R5回数 (参加人数)	11回 (110人)	12回 (193人)	11回 (165人)	9回 (116人)	11回 (200人)	4回 (27人)	58回 (811人)
R4回数 (参加人数)	11回 (80人)	12回 (141人)	11回 (141人)	11回 (75人)	10回 (162人)	1回 (2人)	56回 (601人)
R3回数 (参加人数)	9回 (81人)	11回 (128人)	9回 (61人)	8回 (69人)	9回 (84人)	△	46回 (423人)

◎出張相談会

	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央	合計
R5 回数 (参加人数)	3 回 (24 人)	2 回 (6 人)	※あさか 中央と共 催	1 回 (21 人)	3 回 (59 人)	2 回 (39 人)	11 回 (149 人)
R4 回数 (参加人数)	1 回 (8 人)	2 回 (18 人)	1 回 (27 人)	2 回 (54 人)	15 回 (61 人)	※モーニン グパークと 共催	21 回 (168 人)
R3 回数 (参加人数)	2 回 (6 人)	1 回 (25 人)	1 回 (30 人)	1 回 (20 人)	11 回 (33 人)		16 回 (114 人)

2. 講座・教室の実施

①市民向け講座の実施

内容：地域包括支援センターが、地域の中で高齢者がいきいきと暮らしていくための介護予防に関する講座や地域の要援護高齢者等を見守る地域のネットワーク作りのための人材育成の教室を市民向けに開催する。

内間木苑

日 程	参加者	内 容
7月21日（金）	25人	「警察から学ぶ防犯教室」 講師：埼玉県警察本部防犯指導班「ひまわり」 会場：宮戸市民センター
9月28日（木）	26人	「健康長寿は腸活から！「おなか元気教室」」 講師：埼玉西ヤクルト株式会社 橋本氏・小澤氏 会場：宮戸市民センター

つつじの郷

日 程	参加者	内 容
5月19日（金）	28人	「くらしの中の血流改善」 講師：花王グループカスタマーマーケティング(株) 高木和氏・小林氏 会場：弁財市民センター
6月12日（月） 6月26日（月）	18人	「スマホ勉強会」 講師：ソフトバンク朝霞台駅前店スマホアドバイザー 会場：弁財市民センター
6月23日（金）	33人	「弁護士さんが教えてくれる「成年後見制度と相続講座」」 講師：法テラス埼玉法律事務所 弁護士：米山氏 会場：弁財市民センター
11月17日（金）	17人	「葬儀の実際とグリーフサポート ～悲しみの受け入れ方～」 講師：小金井祭典株式会社 代表取締役 是枝氏 会場：弁財市民センター
1月22日（月） 1月29日（月）	20人	「スマホ勉強会」 講師：ソフトバンク朝霞台駅前店スマホアドバイザー 会場：弁財市民センター
2月15日（木）	19人	「おなか健康教室」 講師：東京ヤクルト販売株式会社 樋口氏 会場：弁財市民センター

モーニングパーク

日 程	参加者	内 容
10月17日(火)	17人	「フレイル予防 ウォーキング講座～いつまでもいきいきと～」 講師：塩味病院リハビリテーション科理学療法士 会場：ゆめぱれす(朝霞市民会館)
3月19日(火)	25人	「フレイル予防 ウォーキング講座～いつまでもいきいきと～」 講師：塩味病院リハビリテーション科理学療法士 会場：ゆめぱれす(朝霞市民会館)
11月～3月 (毎週水曜日) 全18回	のべ 387人	「老いまセン体操」※社協・あさか中央と共催 講師：朝霞中央クリニック訪問リハビリテーション TMGあさか医療センターリハビリテーション科 塩味病院リハビリテーション科 会場：溝沼町内会館

ひいらぎの里

日 程	参加者	内 容
4月14日(金)	16人	「後悔しない最期をむかえるための終活講座」 講師：一般社団法人終活コンシェルジュ 池田氏・小林氏 会場：仲町市民センター
4月26日(水)	12人	「知っておきたいご高齢者に多い薬のトラブルと予防法」 講師：(株)元井調剤 島村氏・緒方氏 会場：仲町市民センター
5月16日(火)	23人	「特殊詐欺から身を守る！プロから学ぶ防犯講座」 講師：埼玉県警察本部防犯指導班「ひまわり」 会場：根岸台市民センター

朝光苑

日 程	参加者	内 容
4月～7月 (毎週水曜日) 全12回	のべ 298人	「健康太極拳教室」 講師：朝霞市社会福祉協議会 吉川氏 会場：膝折市民センター
5月23日(火)	11人	「シニアメイク講座／フレイルチェック&介護相談会 in 幸町緑ヶ丘会館」 講師：花王グループカスタマーマーケティング(株) 会場：緑ヶ丘会館・緑ヶ丘児童遊園地
6月12日(月)	20人	「介護予防教室」 講師：彩訪問看護リハビリステーション朝霞 理学療法士 高原氏・平佐氏 会場：膝折市民センター
7月27日(木)	17人	「シニアメイク講座／フレイルチェック&介護相談会 in 幸町緑ヶ丘会館」 講師：花王グループカスタマーマーケティング(株) 会場：緑ヶ丘会館・緑ヶ丘児童遊園地
9月20日(水)	15人	「特殊詐欺被害防止講座」 講師：埼玉県県民生活部 防犯・交通安全課 柿沼氏 会場：中央公民館・コミュニティセンター

10月24日(火)	36人	「運動による認知症予防～コグニサイズを体験しよう!～」 講師：彩訪問看護リハビリステーション朝霞 理学療法士 高原氏 看護師 渡邊氏 会場：中央公民館・コミュニティセンター
11月28日(火)	31人	「AIを活用した身体機能評価&フレイルチェック&介護何でも相談会 in 中央公民館・コミュニティセンター」 講師：フレアス在宅マッサージスタッフ 会場：中央公民館・コミュニティセンター
12月11日(月)	18人	「介護予防教室」 講師：彩訪問看護リハビリステーション朝霞 理学療法士 高原氏・平佐氏 朝光苑 管理栄養士 山本氏 会場：膝折市民センター

あさか中央

日程	参加者	内容
11月9日(木)	26人	「学ぼう!警察官による特殊詐欺被害防止講座」 講師：埼玉県警察本部防犯指導班「ひまわり」 会場：産業文化センター
1月30日(火)	38人	「今から考えよう!「終活・葬儀」講座(入棺体験あり)」 講師：株式会社東上セレモサービス終活アドバイザー 会場：産業文化センター

②認知症施策の推進

認知症サポーター養成教室

内容：認知症について正しく理解し認知症の人や家族を見守る応援者として自分の出来る範囲で活動するサポーターを養成する講座の講師を地域包括支援センターの職員が務める。

日時	対象	参加者数	担当包括
5月27日(土)	市内在住・在勤の方	25人	朝光苑
7月8日(土)	市内在住・在勤の方	21人	つつじの郷
9月18日(月)	市内在住・在勤の方	32人	モーニングパーク
11月23日(木)	市内在住・在勤の方	15人	内間木苑
1月16日(火)	市内在住・在勤の方	18人	ひいらぎの里
2月10日(土)	わんOne チーム見守り隊	13人	つつじの郷
3月12日(火)	市内在住・在勤の方	20人	あさか中央
3月29日(金)	ほんちょう児童館を利用している小学生	8人	モーニングパーク

3. 会議等の参加・開催

地域ケア会議運営事業

①地域ケア会議

内容：地域ケア会議とは、多職種の第三者による専門的視点を交えて、個別ケースのケアマネジメントの質の向上をはかり、課題分析等の積み重ねにより、地域課題を発見し、地域に必要な資源開発や地域づくり、さらには必要な政策形成につなげ、地域包括ケアシステムの実現を目指す会議である。

(地域ケア会議の5つ機能)

- i : 個別課題解決機能
- ii : ネットワーク構築機能
- iii : 地域課題発見機能
- iv : 地域づくり資源開発機能
- v : 政策形成機能

1) 市主催地域ケア会議（地域包括支援センター対象）

6回実施（18事例検討）：6地域包括支援センター職員延べ参加人数63人

2) 地域包括支援センター主催地域ケア会議

25回実施（53事例検討）

【内訳】	地域包括支援センター	内間木苑	4回（8事例検討）
	地域包括支援センター	つつじの郷	4回（8事例検討）
	地域包括支援センター	モーニングパーク	5回（10事例検討）
	地域包括支援センター	ひいらぎの里	4回（8事例検討）
	地域包括支援センター	朝光苑	4回（8事例検討）
	地域包括支援センター	あさか中央	4回（11事例検討）

生活支援体制整備事業

①生活支援体制整備事業（市主催）

内容：高齢者の在宅生活を支えるため、多様化する生活支援ニーズに対応する、多様な主体による、生活支援・介護予防サービス等の地域資源の開発・育成や活動支援などのあり方を明らかにし、本事業を推進する生活支援体制整備推進委員（コーディネーター）の配置と、多様な地域の関係主体間の連携・協働を進める協議体の設置等を目指す。（長寿はつらつ課・社会福祉協議会）

1) 生活支援コーディネーター会議

10回実施：6地域包括支援センター職員延べ参加人数67人

2) 生活支援コーディネーターの具体的な取り組み

日時	参加人数	内容
9月19日（火）	44人	「令和5年度第2層協議体合同学習会」 《内容》 ・グループワーク ①自協議体での活動内容の振り返り（実践報告） ②他協議体との情報交換会（朝霞市の自助・互助活動に関すること）

3) 協議体

○第1層協議体…令和5年7月28日立ち上げ

○第2層協議体

- ・第1圏域協議体「和（なごみ）の会」
- ・第2圏域協議体「楽しみ隊」
- ・第3圏域協議体「あ・さかつなぎ」
- ・第4圏域協議体「ひいらぎお助け隊」
- ・第5圏域協議体「よろず屋」
- ・第6圏域協議体…令和6年度立ち上げ予定

在宅医療・介護連携推進事業

①在宅医療・介護連携推進事業（市主催）

内容：医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい生活が続けることができるよう、医療と介護が連携しサービス提供ができる体制づくりを目的とし、朝霞地区医師会や歯科医師会、薬剤師会などの各専門職を講師とした研修会の開催や、多職種が参加する情報交換会を実施。

また、在宅医療・介護連携をより円滑に推進していくため、医療と介護の完関係者より専門的な立場からの様々なお意見をいただき、今後の事業へ反映させる在宅医療・介護連携推進会議を実施。

1) 在宅医療・介護連携推進事業に係る研修会及び情報交換会

日 時	参加人数	内 容
1月15日(月)	医療・介護職 66人 (包括6人)	○研修会 「多職種合同研修会」 講師：国立長寿医療研究センター 後藤氏 《内容》 ・行政説明 『朝霞市におけるACPについて』 ・もしバナゲーム（簡易版） ・グループディスカッション 『多職種グループによる患者中心の意思決定支援実践』

2) 在宅医療・介護連携推進会議

(実施内容) ◎在宅医療・介護連携推進会議

日 時	参加人数	内 容
8月22日(水)	26人 (包括6人)	・令和4年度在宅医療・介護連携推進事業の報告 ・令和5年度在宅医療・介護連携推進事業について ・ACPの普及啓発及び実践に向けた取組について ・医師とケアマネジャーの情報連携について

令和5年度 朝霞市地域包括支援センター事業報告(総 合)

令和5年4月～令和6年3月

総 合	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央	合計	R4年度 合計	前年比 (倍)
延べ対応件数	8,563	11,449	8,581	13,469	11,038	10,172	63,272	64,100	0.99
実人数	715	848	757	673	898	633	4,524	4,780	0.95

利用方法	件数						合計	R4年度 合計	前年比 (倍)
	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央			
来所	17	37	67	24	31	69	245	209	1.17
電話	124	155	157	109	104	304	953	1,192	0.80
訪問	26	43	149	10	90	78	396	507	0.78
文書	19	7	58	14	34	52	184	232	0.79
来所(継続支援)	172	250	903	261	636	876	3,098	3,516	0.88
電話(継続支援)	3,440	5,653	4,008	8,157	5,628	6,189	33,075	32,664	1.01
訪問(継続支援)	1,441	1,466	1,422	1,237	2,193	1,466	9,225	9,112	1.01
文書(継続支援)	3,323	3,838	1,817	3,642	2,322	1,137	16,079	16,668	0.96
不明	1	0	0	15	0	1	17		
合 計	8,563	11,449	8,581	13,469	11,038	10,172	63,272	64,100	0.99

相談経路	件数						合計	R4年度 合計	前年比 (倍)
	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央			
本人	2,599	3,712	3,633	3,410	4,301	3,734	21,389	21,996	0.97
家族	1,120	1,399	1,088	2,140	1,373	1,620	8,740	8,369	1.04
民生委員	29	38	11	33	98	12	221	275	0.80
地域その他	188	169	211	177	220	238	1,203	1,299	0.93
ケアマネジャー	401	408	292	1,083	677	825	3,686	3,372	1.09
介護サービス事業者	3,640	4,368	2,305	4,670	2,486	2,099	19,568	19,833	0.99
長寿はつらつ課	189	552	502	833	1,110	722	3,908	3,938	0.99
市役所(その他)	50	103	100	87	73	79	492	571	0.86
県	17	9	2	12	22	4	66	55	1.20
地域包括・在支	18	13	14	39	2	46	132	526	0.25
医療機関	311	678	414	981	676	791	3,851	3,866	1.00
不明	1	0	9	4	0	2	16	0	0.00
合 計	8,563	11,449	8,581	13,469	11,038	10,172	63,272	64,100	0.99

相談内容 (延べ数)	件数						合計	R4年度 合計	前年比 (倍)
	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央			
介護予防実態調査	4	35	0	16	0	34	89	86	1.03
介護予防マネジメント(予防給付対象者)	4,271	8,084	5,588	8,784	6,943	3,927	37,597	37,144	1.01
介護予防マネジメント(総合事業対象者)	1,123	202	306	546	691	447	3,315	3,460	0.96
総合相談	3,077	2,884	2,482	4,088	3,218	5,551	21,300	22,016	0.97
高齢者虐待対応	11	2	0	35	2	126	176	197	0.89
成年後見制度	27	0	0	0	2	10	39	118	0.33
地域ネットワーク構築	0	13	0	0	0	0	13	31	0.42
総合相談(高齢者福祉サービス)	48	229	204	0	182	74	737	706	1.04
高齢者実態調査(未返信者)	0	0	1	0	0	0	1	342	
不明	2	0	0	0	0	3	5		
合 計	8,563	11,449	8,581	13,469	11,038	10,172	63,272	64,100	0.99

令和5年度 地域包括支援センター予防給付ケアプラン作成数

	地域包括支援センター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
地域包括ケアプラン数	内間木苑	117	118	116	115	118	122	123	119	116	118	112	120	1,414
	つつじの郷	143	140	136	139	138	136	136	137	141	139	137	138	1,660
	モーニングパーク	154	157	152	154	153	154	159	162	163	166	165	167	1,906
	ひいらぎの里	117	122	119	117	120	115	113	123	127	125	131	131	1,460
	朝光苑	119	107	112	109	116	120	118	124	119	118	107	110	1,379
	あさか中央	99	97	107	104	107	101	107	106	110	105	98	105	1,246
委託数	内間木苑	15	16	16	16	15	16	16	17	19	19	17	16	198
	つつじの郷	13	17	15	16	14	15	13	19	16	16	19	18	191
	モーニングパーク	12	13	14	14	15	14	15	19	15	16	13	14	174
	ひいらぎの里	18	23	22	23	22	26	23	32	30	29	35	35	318
	朝光苑	19	18	22	19	20	19	18	18	21	19	15	16	224
	あさか中央	15	15	19	18	19	16	14	12	14	11	14	12	179
地域包括ケアプラン数 + 委託数	内間木苑	132	134	132	131	133	138	139	136	135	137	129	136	1,612
	つつじの郷	156	157	151	155	152	151	149	156	157	155	156	156	1,851
	モーニングパーク	166	170	166	168	168	168	174	181	178	182	178	181	2,080
	ひいらぎの里	135	145	141	140	142	141	136	155	157	154	166	166	1,778
	朝光苑	138	125	134	128	136	139	136	142	140	137	122	126	1,603
	あさか中央	114	112	126	122	126	117	121	118	124	116	112	117	1,425
委託事業者数	内間木苑	9	9	9	9	8	9	9	8	8	7	8	7	100
	つつじの郷	8	11	11	12	12	12	12	11	10	11	13	11	134
	モーニングパーク	7	9	10	10	11	11	11	13	11	11	8	8	120
	ひいらぎの里	10	11	12	13	11	12	13	14	15	15	15	15	156
	朝光苑	10	10	11	10	9	11	10	10	10	9	9	9	118
	あさか中央	8	9	11	10	9	9	9	7	7	7	8	8	102

令和05年度 地域包括支援センター別 介護予防プラン委託先事業所 集計表

包括名	内間木苑	件数	事業所数	つつじの郷	件数	事業所数	モーニング	件数	事業所数	ひいらぎ	件数	事業所数	朝光苑	件数	事業所数	あさか中央	件数	事業所数
4月	埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	3		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	1		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	5		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	3		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	2		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	1	
	内間木苑居宅介護支援事業所	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里満沼	3		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	2		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	1		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	4		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	5	
	朝霞ケアセンターそよ風	1		ケアプラン安心のおせわ〜広場	2		居宅介護支援事業所 いろどりケア	1		朝霞ケアセンターそよ風	2		朝光苑居宅介護支援センター	4		指定居宅介護支援事業所「ホームケアふれあいの手」	1	
	ケアプラン コスモス	1		ケアパートナー えん	1		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	1		介護プラン ほほえみ	5		介護プラン ほほえみ	1		ケアプラン コスモス	1	
	ケアプラン安心のおせわ〜広場	1		ふおれすと朝霞本町	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		ケアパートナー えん	1		ふおれすと朝霞本町	1		ケアプラン安心のおせわ〜広場	1	
	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	4		セルレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	3		ケアプラン・コンパス	1		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	10		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	3		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	4	
	共生みらいマネジメント	2		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		居宅介護支援事業所 てつ福祉相談室	1		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	2		ASK	1		共生みらいマネジメント	1	
	居宅介護支援事業所 なのはな	1		やさしい手志木居宅介護支援事業所	1					共生みらいマネジメント	1		居宅介護支援事業所 なのはな	1		居宅介護支援事業所 なのはな	1	
	ケアプラン・コンパス	1								居宅介護支援事業所 みどりケア	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		セルレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	1	
										ケアプラン・コンパス	1		居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	1				
小計		15			13						12			18				15
5月	埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	3		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	2		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	3		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	4		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	2		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	1	
	内間木苑居宅介護支援事業所	1		ニチイケアセンター朝霞	2		指定相談支援アットコレット水川町	2		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	1		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	4		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	5	
	朝霞ケアセンターそよ風	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里満沼	3		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	2		朝霞ケアセンターそよ風	2		朝光苑居宅介護支援センター	3		指定居宅介護支援事業所「ホームケアふれあいの手」	1	
	ケアプラン コスモス	1		ケアプラン安心のおせわ〜広場	2		居宅介護支援事業所 いろどりケア	1		介護プラン ほほえみ	4		介護プラン ほほえみ	1		ケアプラン コスモス	1	
	ケアプラン安心のおせわ〜広場	2		ケアパートナー えん	1		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	1		ケアパートナー えん	1		ふおれすと朝霞本町	1		ケアプラン安心のおせわ〜広場	1	
	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	4		ふおれすと朝霞本町	1		ASK	1		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	2		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	3		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	1	
	共生みらいマネジメント	2		TMGケアプランセンターあさか	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	3		ASK	1		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	3	
	居宅介護支援事業所 なのはな	1		セルレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	2		ケアプラン・コンパス	1		共生みらいマネジメント	1		居宅介護支援事業所 なのはな	1		共生みらいマネジメント	1	
	ケアプラン・コンパス	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		セルレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	1	
				やさしい手志木居宅介護支援事業所	1		居宅介護支援事業所 てつ福祉相談室	1		ケアプラン・コンパス	1		居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	1				
小計		16		17			13				23			18				15
6月	埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	3		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	1		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	3		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	4		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	2		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	1	
	内間木苑居宅介護支援事業所	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里満沼	3		指定相談支援アットコレット水川町	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	1		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	4		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	5	
	朝霞ケアセンターそよ風	1		ケアプラン安心のおせわ〜広場	2		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	2		朝霞ケアセンターそよ風	2		朝光苑居宅介護支援センター	3		指定居宅介護支援事業所「ホームケアふれあいの手」	1	
	ケアプラン コスモス	1		ケアパートナー えん	1		居宅介護支援事業所 いろどりケア	1		介護プラン ほほえみ	4		介護プラン ほほえみ	1		内間木苑居宅介護支援事業所	1	
	ケアプラン安心のおせわ〜広場	2		ケアパートナー えん	1		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	1		ケアパートナー えん	1		ふおれすと朝霞本町	4		ケアプラン コスモス	1	
	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	4		ふおれすと朝霞本町	1		ASK	2		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	3		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	3		ケアプラン安心のおせわ〜広場	1	
	共生みらいマネジメント	2		TMGケアプランセンターあさか	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	12		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	1		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	2	
	居宅介護支援事業所 なのはな	1		セルレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	2		ケアプラン・コンパス	1		共生みらいマネジメント	1		ASK	1		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	3	
	ケアプラン・コンパス	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	1		ASK	1		居宅介護支援事業所 なのはな	1		共生みらいマネジメント	1	
				やさしい手志木居宅介護支援事業所	1		居宅介護支援事業所 てつ福祉相談室	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		セルレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	1	
小計		16		15			14				22			22				19
7月	埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	2		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	1		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	3		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	3		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	1		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	1	
	内間木苑居宅介護支援事業所	1		ニチイケアセンター朝霞	1		指定相談支援アットコレット水川町	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	1		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	3		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	5	
	朝霞ケアセンターそよ風	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里満沼	3		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	2		朝霞ケアセンターそよ風	2		朝光苑居宅介護支援センター	4		内間木苑居宅介護支援事業所	2	
	ケアプラン コスモス	1		ケアプラン安心のおせわ〜広場	2		居宅介護支援事業所 いろどりケア	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里満沼	1		介護プラン ほほえみ	1		ケアプラン コスモス	1	
	ケアプラン安心のおせわ〜広場	2		ケアパートナー えん	1		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	1		介護プラン ほほえみ	4		ふおれすと朝霞本町	2		ケアプラン安心のおせわ〜広場	1	
	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	4		ふおれすと朝霞本町	1		ASK	2		ケアパートナー えん	2		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	3		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	1	
	共生みらいマネジメント	3		TMGケアプランセンターあさか	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	13		ASK	1		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	3	
	居宅介護支援事業所 なのはな	1		セルレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	2		ケアプラン・コンパス	1		共生みらいマネジメント	1		居宅介護支援事業所 なのはな	2		共生みらいマネジメント	1	
	ケアプラン・コンパス	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		セルレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	2	
				やさしい手志木居宅介護支援事業所	1		居宅介護支援事業所 てつ福祉相談室	1		ケアプラン・コンパス	1		居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	1		ケアプラン・コンパス	1	
小計		16		16			14				23			19				18

令和05年度 地域包括支援センター別 介護予防プラン委託先事業所 集計表

包括名	内間木苑	件数	事業所数	つつじの郷	件数	事業所数	モーニング	件数	事業所数	ひいらぎ	件数	事業所数	朝光苑	件数	事業所数	あさか中央	件数	事業所数
12月	埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	1		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	1		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	2		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	2		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	3		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	1	
	内間木苑居宅介護支援事業所	1		ニチイケアセンター朝霞	1		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	3		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	2		朝光苑居宅介護支援センター	5		内間木苑居宅介護支援事業所	3	
	朝霞ケアセンターそよ風	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	3		介護プラン ほほえみ	1		朝霞ケアセンターそよ風	2		介護プラン ほほえみ	3		ケアプラン コスモス	1	
	ケアプラン コスモス	1		ケアプラン安心のおせわ〜広場	1		居宅介護支援事業所 いろどりケア	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	3		ふおれすと朝霞本町	1		ケアプラン安心のおせわ〜広場	1	
	ケアプラン安心のおせわ〜広場	6		ふおれすと朝霞本町	4		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	1		介護プラン ほほえみ	4		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	3		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	1	
	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	4		共生みらいマネジメント	2		ASK	2		ケアプラン安心のおせわ〜広場	1		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	1		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	5	
	共生みらいマネジメント	4		セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	3		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		ケアパートナー えん	1		ASK	1		セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	2	
	居宅介護支援事業所 なのはな	1		ケアプラン・コンパス	2		ケアプラン・コンパス	2		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	4		居宅介護支援事業所 なのはな	2		居宅介護支援事業所 みどりケア	1	
				やさしい手志木居宅介護支援事業所	1		居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	1		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	5		居宅介護支援事業所 なのはな	10		居宅介護支援事業所 アルゴ朝霞	7	
				居宅介護支援事業所 ふれあい広場	1		こころ居宅介護支援事業所	1		共生みらいマネジメント	1		居宅介護支援事業所 アルゴ朝霞	1				
小計	19		16		15		30		21		14							
1月	埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	1		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	1		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	3		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	1		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	3		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	1	
	内間木苑居宅介護支援事業所	3		ニチイケアセンター朝霞	1		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	3		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	3		朝光苑居宅介護支援センター	5		内間木苑居宅介護支援事業所	2	
	ケアプラン コスモス	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	2		介護プラン ほほえみ	1		朝霞ケアセンターそよ風	2		介護プラン ほほえみ	2		ケアプラン コスモス	1	
	ケアプラン安心のおせわ〜広場	5		ケアプラン朝霞	1		居宅介護支援事業所 いろどりケア	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	3		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	1		ケアプラン安心のおせわ〜広場	1	
	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	4		ケアプラン安心のおせわ〜広場	1		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	1		介護プラン ほほえみ	4		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	1		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	1	
	共生みらいマネジメント	4		共生みらいマネジメント	2		ASK	2		ケアプラン安心のおせわ〜広場	1		ASK	3		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	4	
	居宅介護支援事業所 なのはな	1		セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	3		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		ケアパートナー えん	1		居宅介護支援事業所 なのはな	2		セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	1	
				ケアプラン・コンパス	2		ケアプラン・コンパス	2		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	4		居宅介護支援事業所 みどりケア	1				
				やさしい手志木居宅介護支援事業所	1		居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	1		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	11		共生みらいマネジメント	9				
				ふおれすと朝霞本町	1		こころ居宅介護支援事業所	1		共生みらいマネジメント	1		ASK	1				
小計	19		16		16		29		19		11							
2月	埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	3		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	2		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	2		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	3		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	2		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	1	
	内間木苑居宅介護支援事業所	1		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	1		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	3		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	3		朝光苑居宅介護支援センター	3		内間木苑居宅介護支援事業所	2	
	朝霞ケアセンターそよ風	1		ニチイケアセンター朝霞	1		介護プラン ほほえみ	1		朝霞ケアセンターそよ風	1		介護プラン ほほえみ	2		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	1	
	ケアプラン コスモス	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	2		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	4		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	1		ケアプラン コスモス	1	
	ケアプラン安心のおせわ〜広場	2		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	2		ASK	2		介護プラン ほほえみ	5		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	1		ケアプラン安心のおせわ〜広場	1	
	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	4		ミアヘルサケアプラン朝霞	1		ケアプラン・コンパス	1		ケアプラン安心のおせわ〜広場	1		ASK	2		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	1	
	共生みらいマネジメント	4		ケアプラン安心のおせわ〜広場	1		居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	2		ケアパートナー えん	1		居宅介護支援事業所 なのはな	2		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	6	
	居宅介護支援事業所 なのはな	1		共生みらいマネジメント	2		居宅介護支援事業所 てつ福祉相談室	1		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	4		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	1	
				セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	3		ASK	1		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	15		ふおれすと朝霞本町	9				
				ケアプラン・コンパス	2		ASK	2		共生みらいマネジメント	1							
小計	17		19		13		35		15		14							
3月	埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	1		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	2		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	2		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	2		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	2		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	1	
	内間木苑居宅介護支援事業所	3		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	1		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	3		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	3		朝光苑居宅介護支援センター	2		内間木苑居宅介護支援事業所	2	
	ケアプラン コスモス	1		ニチイケアセンター朝霞	1		介護プラン ほほえみ	2		朝霞ケアセンターそよ風	3		介護プラン ほほえみ	2		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	1	
	ケアプラン安心のおせわ〜広場	2		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	2		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 溝沼	1		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	1		ケアプラン コスモス	1	
	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	4		ミアヘルサケアプラン朝霞	1		ASK	2		介護プラン ほほえみ	5		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	1		ケアプラン安心のおせわ〜広場	1	
	共生みらいマネジメント	4		ケアプラン安心のおせわ〜広場	1		ケアプラン・コンパス	1		ケアプラン安心のおせわ〜広場	3		ASK	4		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	1	
	居宅介護支援事業所 なのはな	1		共生みらいマネジメント	2		居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	2		ケアパートナー えん	1		居宅介護支援事業所 なのはな	2		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	4	
				セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	3		居宅介護支援事業所 てつ福祉相談室	1		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	4		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	1	
				ケアプラン・コンパス	3		ASK	1		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	15		ふおれすと朝霞本町	9				
				やさしい手志木居宅介護支援事業所	1		ASK	2		共生みらいマネジメント	1							
小計	16		18		14		35		16		12							
合計	198	100	191	134	174	120	318	156	224	118	179	102						

令和5年度 予防給付ケアプラン委託事業者

(市内) 28事業所

名称	電話	所在地
朝光苑居宅介護支援センター	048-465-1212	朝霞市青葉台1-10-32
共生みらいマネジメント	048-487-7280	朝霞市朝志ヶ丘4-6-26 コーポハイブリッジ102
内間木苑居宅介護支援事業所	048-458-2027	朝霞市大字上内間木498-4
居宅介護支援事業所 みどりケア	048-485-9730	朝霞市大字上内間木323-1 サニーハイツM201
ホームケアふれあいの手	048-458-1304	朝霞市大字下内間木1363-1
居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	048-469-5946	朝霞市岡3-17-60
ケアパートナー えん	048-211-1616	朝霞市栄町2-1-31-203
循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	048-423-0623	朝霞市北原1-1-14 2F
ケアプラン安心のおせわ〜く広場	048-423-6810	朝霞市西原1-7-1
介護プラン ほほえみ	048-462-8797	朝霞市根岸台1-6-87
TMGケアプランセンターあさか	048-423-2360	朝霞市西弁財1-8-21
SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	048-458-4177	朝霞市根岸台3-6-12 大興ビル3F
セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	048-424-4631	朝霞市東弁財2-12-2 30THスクエア301
ASK	048-424-3984	朝霞市膝折町4-10-17
いろどりケア	048-485-1947	朝霞市本町1-19-23 B-101
居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	048-424-7345	朝霞市本町1-34-1 ボンビラージュテナント1F
居宅介護支援事業所 なのはな	048-424-7500	朝霞市本町2-7-34 リブ朝霞102号室
埼玉ライフケアサービス あさか指定居宅介護支援事業所	048-450-0177	朝霞市本町2-4-25
ニチイケアセンター朝霞	048-451-1483	朝霞市本町2-1-37 マッサビル401号室
ふおれすと朝霞本町	048-211-0345	朝霞市本町2-17-4
藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	048-487-7732	朝霞市本町3-4-8 ライオンズプラザ朝霞103号
朝霞ケアセンターそよ風	048-450-8343	朝霞市溝沼1050-1
介護老人保健施設ケアライフ朝霞	048-471-9739	朝霞市溝沼2-4-15-101
居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	048-458-5700	朝霞市溝沼7-8-22
ケアプラン・コンパス	048-423-6646	朝霞市三原2-26-24
ミアヘルサ ケアプラン朝霞	048-424-2052	朝霞市三原1-11-22
やさしい手志木居宅介護支援事業所	050-1744-5023	朝霞市三原3-33-16
ケアプラン コスモス	048-458-0624	朝霞市宮戸4-9-8 サンティアラ202

(近隣3市) 3事業所

名称	電話	所在地
てつ福祉相談室	048-423-8155	新座市北野3-1-25 センチュリー志木109号室
居宅介護支援事業所 ふれあい広場	048-471-2940	新座市東北1-6-1
こころ居宅介護支援事業所	048-486-7755	志木市中宗岡5-11-6-102

(県内3市以外) 2事業所

名称	電話	所在地
居宅介護支援事業所こころ	048-678-1953	さいたま市中央区下落合3-7-1 飯塚ビル102
指定相談支援アットコレット氷川町	048-229-8856	戸田市氷川町3-1-12

合計 33事業所

令和5年度 朝霞市地域包括支援センター別 要介護者等介護事業所紹介 集計表

	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央
4月	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	いろどりケア	あいケアプラン	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞
	ケアプラン安心のおせわ〜広場	ケアプラン・コンパス	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	埼玉ライフケアサービス あさか指定居宅介護支援事業所
	埼玉ライフケアサービス あさか指定居宅介護支援事業所	埼玉ライフケアサービス あさか指定居宅介護支援事業所	介護老人保健施設ケアライフ朝霞		いろどりケア	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
	居宅介護支援事業所 みどりケア	ケアプラン安心のおせわ〜広場	埼玉ライフケアサービス あさか指定居宅介護支援事業所		ケアパートナー えん	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼
	内間木苑居宅介護支援事業所	ニチケアセンター朝霞	ASK		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	
	ケアプランコスモス	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞			朝光苑居宅介護支援センター	
					ふおれずと朝霞本町	
5月	共生みらいマネジメント	やさしい手志木居宅介護支援事業所	ASK	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	ASK	ケアパートナー えん
	ケアプラン安心のおせわ〜広場	ケアプラン安心のおせわ〜広場	朝霞ケアセンターそよ風	セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	居宅介護支援事業所 なのはな	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
	ケアプラン・コンパス	ケアプラン・コンパス	いろどりケア	あいケアプラン	朝光苑居宅介護支援センター	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼
	埼玉ライフケアサービス あさか指定居宅介護支援事業所		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援		朝霞ケアセンターそよ風
	居宅介護支援事業所 みどりケア		居宅介護支援事業所アルゴ朝霞			セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞
			居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼			
6月	ケアプラン安心のおせわ〜広場	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	ASK	いろどりケア	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞
	内間木苑居宅介護支援事業所	ケアプラン安心のおせわ〜広場	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	ケアパートナー えん	内間木苑居宅介護支援事業所
		小規模多機能ホーム 桜ヶ丘	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	ニチケアセンター朝霞	朝光苑居宅介護支援センター	ケアプラン安心のおせわ〜広場
		ホームケアふれあいの手	ニチケアセンター朝霞			循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
						セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞
						居宅介護支援事業所 ひいらぎの里
						居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼
7月	共生みらいマネジメント	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	ASK	なし	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞
	ケアプラン・コンパス	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	介護老人保健施設ケアライフ朝霞		株式会社居宅介護支援事業つぼみ	内間木苑居宅介護支援事業所
	ホームケアふれあいの手	ケアプラン・コンパス	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼		居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	ケアプラン安心のおせわ〜広場
		ミアヘルサケアプラン朝霞	ニチケアセンター朝霞		朝光苑居宅介護支援センター	ケアパートナー えん
		居宅介護支援事業所アルゴ朝霞				セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞
		居宅介護支援事業所 なのはな				居宅介護支援事業所 ひいらぎの里
8月	いろどりケア	ASK	TMGケアプランセンターあさか	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	TMGケアプランセンターあさか
	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	朝霞ケアセンターそよ風	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	共生みらいマネジメント	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里
	ケアプラン安心のおせわ〜広場	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	居宅介護支援事業所 なのはな	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 溝沼
	居宅介護支援事業所 みどりケア	ケアプラン・コンパス	ケアパートナー えん	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	朝光苑居宅介護支援センター	ケアパートナー えん
		セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	ニチケアセンター朝霞			介護老人保健施設ケアライフ朝霞
		ニチケアセンター朝霞				循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
		ミアヘルサケアプラン朝霞				
9月	内間木苑居宅介護支援事業所	ASK	ASK	あいケアプラン	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	TMGケアプランセンターあさか
	ケアプラン安心のおせわ〜広場	TMGケアプランセンターあさか	いろどりケア	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	いろどりケア	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞
	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	居宅介護支援事業所 なのはな	介護老人保健施設ケアライフ朝霞
	居宅介護支援事業所 みどりケア	ケアプラン・コンパス	居宅介護支援事業所 なのはな	ケアプラン・コンパス	朝光苑居宅介護支援センター	埼玉ライフケアサービス あさか指定居宅介護支援事業所
		ケアプラン安心のおせわ〜広場		ケアプラン安心のおせわ〜広場	ミアヘルサケアプラン朝霞	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞		居宅介護支援事業所しら川
	ニチケアセンター朝霞				セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	

令和5年度 朝霞市地域包括支援センター別 要介護者等介護事業所紹介 集計表

	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央
10月	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	ASK	いろどりケア	ASK	ケアプラン安心のおせわ〜広場
	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	ケアプラン・コンパス	TMGケアプランセンターあさか	ケアプラン・コンパス	TMGケアプランセンターあさか	介護老人保健施設ケアライフ朝霞
	ケアプラン安心のおせわ〜広場	ケアプラン安心のおせわ〜広場	いろどりケア	藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	埼玉ライフケアサービス あさか指定居宅介護支援事業所
	居宅介護支援事業所 みどりケア	朝光苑居宅介護支援センター	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	朝霞ケアセンターそよ風
		ミアヘルサケアプラン朝霞	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞		いろどりケア	
					居宅介護支援事業所こころ	
					ケアパートナー えん	
					朝光苑居宅介護支援センター	
					ニチイケアセンター朝霞	
					藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	
11月	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	いろどりケア	ASK	あいケアプラン	TMGケアプランセンターあさか
	内間木苑居宅介護支援事業所	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	あいケアプラン	いろどりケア	介護老人保健施設ケアライフ朝霞
		ケアプラン・コンパス	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	居宅介護支援事業所 なのはな	ケアパートナー えん	埼玉ライフケアサービス あさか指定居宅介護支援事業所
		ケアプラン安心のおせわ〜広場	ケアプラン安心のおせわ〜広場		埼玉ライフケアサービス あさか指定居宅介護支援事業所	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	埼玉ライフケアサービス あさか指定居宅介護支援事業所		小規模多機能ホーム 桜ヶ丘	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼
		朝光苑居宅介護支援センター			朝光苑居宅介護支援センター	
12月	居宅介護支援事業所 みどりケア	朝霞ケアセンターそよ風	ASK	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	ASK	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援
	内間木苑居宅介護支援事業所	ケアパートナー えん	TMGケアプランセンターあさか	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞
		ケアプラン・コンパス	アットコレット氷川町	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	いろどりケア	ケアパートナー えん
		埼玉ライフケアサービス あさか指定居宅介護支援事業所	いろどりケア	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	居宅介護支援事業所 なのはな	介護老人保健施設ケアライフ朝霞
		セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	内間木苑居宅介護支援事業所	朝光苑居宅介護支援センター	ケアパートナー えん	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
		朝光苑居宅介護支援センター	介護老人保健施設ケアライフ朝霞		埼玉ライフケアサービス あさか指定居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里
			居宅介護支援事業所アルゴ朝霞		朝光苑居宅介護支援センター	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼
			居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼			
			埼玉ライフケアサービス あさか指定居宅介護支援事業所			
			ニチイケアセンター朝霞			
		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所				
1月	ケアプラン安心のおせわ〜広場	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	あいケアプラン	あいケアプラン	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞
	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	ケアプラン安心のおせわ〜広場
	居宅介護支援事業所 みどりケア	ケアプラン・コンパス	ニチイケアセンター朝霞	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	いろどりケア	ケアプランコスモス
		ケアプラン安心のおせわ〜広場		ケアプラン・コンパス	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
		朝光苑居宅介護支援センター			ふおれすと朝霞本町	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼
	ニチイケアセンター朝霞					
2月	内間木苑居宅介護支援事業所	ASK	いろどりケア	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	TMGケアプランセンターあさか
	ケアプラン安心のおせわ〜広場	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	TMGケアプランセンターあさか	いろどりケア	内間木苑居宅介護支援事業所
	居宅介護支援事業所 みどりケア	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	共生みらいマネジメント	あいケアプラン	埼玉ライフケアサービス あさか指定居宅介護支援事業所	ケアプラン安心のおせわ〜広場
		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	居宅介護支援事業所 なのはな	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	朝光苑居宅介護支援センター	介護老人保健施設ケアライフ朝霞
		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	朝光苑居宅介護支援センター	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里		埼玉ライフケアサービス あさか指定居宅介護支援事業所
		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	ニチイケアセンター朝霞	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	朝霞ケアセンターそよ風	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里
				ケアプラン・コンパス	ニチイケアセンター朝霞	ニチイケアセンター朝霞
						居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼
3月	居宅介護支援事業所 みどりケア	居宅介護支援事業所 みどりケア	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	ASK	あいケアプラン	TMGケアプランセンターあさか
	ケアプラン安心のおせわ〜広場	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	ニチイケアセンター朝霞	あいケアプラン	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	内間木苑居宅介護支援事業所
		ケアプラン・コンパス	ふおれすと朝霞本町	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	ケアプラン安心のおせわ〜広場
		ケアプラン安心のおせわ〜広場	ニチイケアセンター朝霞	いろどりケア	いろどりケア	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里
		ニチイケアセンター朝霞		内間木苑居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業所 なのはな	介護老人保健施設ケアライフ朝霞
				居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	朝光苑居宅介護支援センター	埼玉ライフケアサービス あさか指定居宅介護支援事業所
			居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	ニチイケアセンター朝霞	循和会居宅介護支援事業所朝霞	
			ケアプラン・コンパス		ニチイケアセンター朝霞	
					居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	

令和5年度 朝霞市地域包括支援センター別 要介護者等介護事業所紹介 集計表

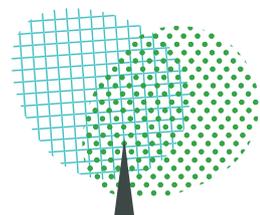
包括名	内間木苑	件数	つつじの郷	件数	モーニングパーク	件数	ひいらぎの里	件数	朝光苑	件数	あさか中央	件数
4月	同法人	1	同法人		同法人	2	同法人	1	同法人	5	同法人	1
	他事業者	7	他事業者	9	他事業者	4	他事業者	1	他事業者	9	他事業者	3
5月	同法人		同法人		同法人	1	同法人		同法人	4	同法人	2
	他事業者	6	他事業者	3	他事業者	8	他事業者	5	他事業者	4	他事業者	5
6月	同法人	2	同法人	1	同法人	3	同法人	2	同法人	1	同法人	1
	他事業者	2	他事業者	5	他事業者	4	他事業者	2	他事業者	2	他事業者	8
7月	同法人		同法人		同法人	1	同法人		同法人	5	同法人	
	他事業者	3	他事業者	9	他事業者	5	他事業者		他事業者	3	他事業者	8
8月	同法人		同法人		同法人	2	同法人	2	同法人	1	同法人	1
	他事業者	6	他事業者	9	他事業者	6	他事業者	2	他事業者	3	他事業者	5
9月	同法人	1	同法人		同法人	2	同法人	1	同法人	3	同法人	3
	他事業者	3	他事業者	7	他事業者	4	他事業者	6	他事業者	4	他事業者	6
10月	同法人		同法人		同法人	4	同法人		同法人	2	同法人	
	他事業者	6	他事業者	6	他事業者	4	他事業者	4	他事業者	11	他事業者	7
11月	同法人	1	同法人		同法人		同法人		同法人	5	同法人	1
	他事業者	1	他事業者	10	他事業者	8	他事業者	4	他事業者	7	他事業者	4
12月	同法人	1	同法人		同法人		同法人	2	同法人	2	同法人	1
	他事業者	2	他事業者	7	他事業者	15	他事業者	5	他事業者	8	他事業者	6
1月	同法人		同法人		同法人	1	同法人	2	同法人		同法人	1
	他事業者	4	他事業者	9	他事業者	2	他事業者	3	他事業者	8	他事業者	8
2月	同法人	1	同法人		同法人	5	同法人	5	同法人	1	同法人	
	他事業者	5	他事業者	7	他事業者	8	他事業者	6	他事業者	5	他事業者	8
3月	同法人		同法人		同法人		同法人	3	同法人	1	同法人	2
	他事業者	3	他事業者	9	他事業者	4	他事業者	10	他事業者	6	他事業者	12
計	同法人	7	同法人	1	同法人	21	同法人	18	同法人	30	同法人	13
	他事業者	48	他事業者	90	他事業者	72	他事業者	48	他事業者	70	他事業者	80
	同法人率	13%	同法人率	1%	同法人率	23%	同法人率	27%	同法人率	30%	同法人率	14%

※事業所選定の公平性・中立性の確保のため、50%以下にするよう口頭指導



第9期朝霞市 高齢者福祉計画・ 介護保険事業計画

概要版



令和6年度（2024年度）～令和8年度（2026年度）

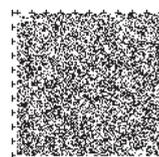


互いに支え合い いつまでも 自分らしく
笑顔で暮らせるまち 朝霞



※計画書の右下の切り欠きは「音声コード Uni-Voice（ユニボイス）」の位置を示すものです。

iOS・Android 向けスマホアプリの「Uni-Voice（一般向け）」と「Uni-Voice Blind（視覚障がい者向け）」の2種類に対応しています。アプリを起動し、「音声コード Uni-Voice（ユニボイス）」にかざすと、印刷物の内容が読み上げられます。



高齢者福祉計画・介護保険事業計画とは

高齢者福祉計画は、老人福祉法第 20 条の 8 第 1 項の規定に基づく計画で、高齢者施策の目標及び方向性を定め、高齢者福祉事業に関する計画の方策などを定めるものです。

介護保険事業計画は、介護保険法第 117 条第 1 項の規定に基づく計画で、介護サービス・介護予防サービスの種類ごとの各年度の必要量を見込むとともに、サービスの基盤整備なども定め、計画期間の介護保険事業費などを見込み、同期間の第 1 号被保険者の介護保険料を算定するものです。



© むさしのフロントあさか

これまでの取組

本市では、これまで、団塊の世代すべてが 75 歳以上となる令和 7 年（2025 年）と団塊ジュニア世代すべてが 65 歳以上となる令和 22 年（2040 年）を見据え、地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組むとともに、誰もが住み慣れた地域で安心して人生の最期まで尊厳を持って暮らすことができる地域共生社会の実現を目指してきました。

どんな取組をしてきたのかな



～第 8 期計画で目指してきた 3 つの施策目標～

施策目標Ⅰ 健康づくりと介護予防・生活支援の充実

- ・生きがいづくり・社会参加の促進
- ・健康づくりの推進
- ・フレイル予防と一般介護予防の一体的推進

など

施策目標Ⅱ 安心して暮らすことができる体制の整備

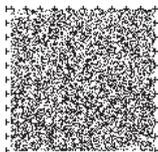
- ・地域社会からの孤立防止
- ・認知症施策の強化・推進
- ・自立支援及び重度化防止に向けた取組の推進
- ・高齢者の権利擁護の推進
- ・災害や感染症対策の推進
- ・地域生活支援の推進
- ・地域包括支援センターの機能強化

など

施策目標Ⅲ 介護保険制度の安定的な運営

- ・適正な介護サービス提供の維持・確保
- ・介護保険事業の適切な運営

など



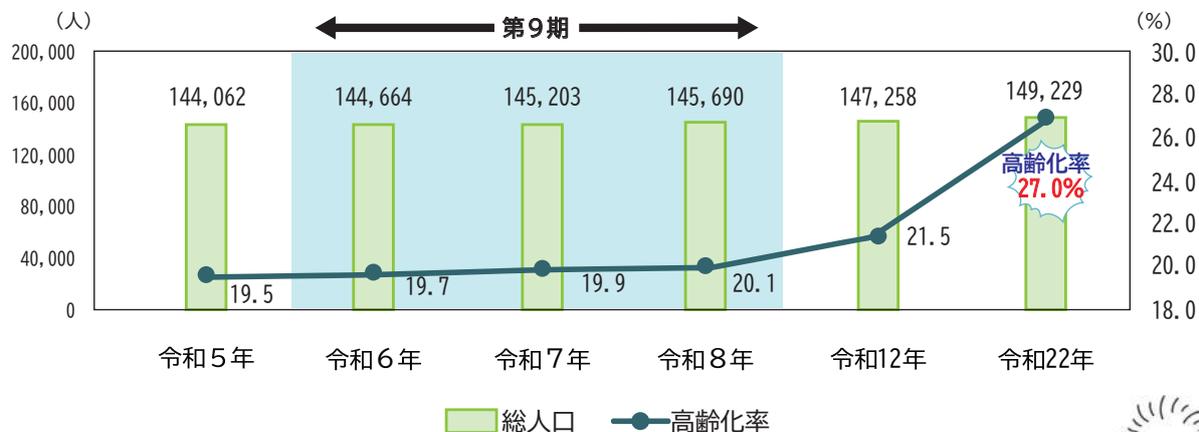
第 9 期計画では……

地域包括ケアシステムの深化・推進と地域共生社会の実現に向けた各種取組をさらに深化させるとともに、**高齢化の進展に伴う多様な介護ニーズに対応した高齢者福祉施策の取組を推進**していくことが必要となります。

本市の総人口と高齢化率の推計

令和 22 年（2040 年）にかけて、本市の総人口は微増しますが、高齢化率は大きく上昇します。

令和 8 年（2026 年）には高齢化率が 20% を超え、5 人に 1 人が 65 歳以上となることが予測されています。



総人口はあまり変わらないのに、高齢化率は 27.0% まで上がるんだね

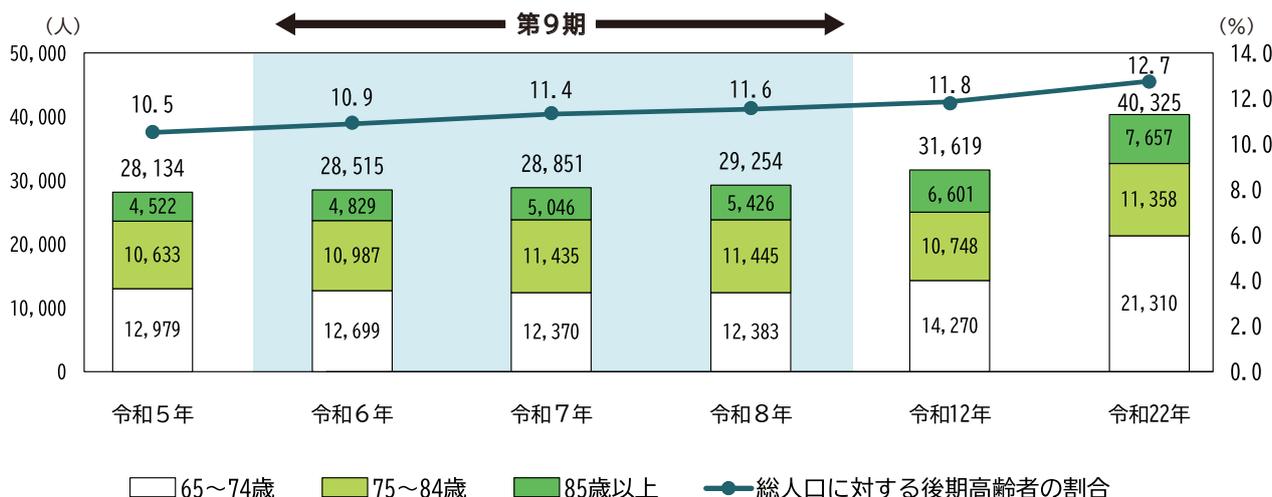


出典：令和 5 年（2023 年）は住民基本台帳（外国人含む）、令和 6 年（2024 年）以降はコーホート変換率法による推計値（各年 1 月 1 日現在）

高齢者人口の推計

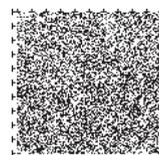
本市の総人口に対する後期高齢者（75 歳以上の高齢者）の割合は、令和 5 年（2023 年）から令和 22 年（2040 年）にかけて、2.2 ポイント増加することが予測されています。

また、本市では、高齢者人口の増加と総人口に対する後期高齢者割合の上昇が続き、令和 22 年（2040 年）には本市の総人口に対する後期高齢者割合が 12.7% となることが予測されています。



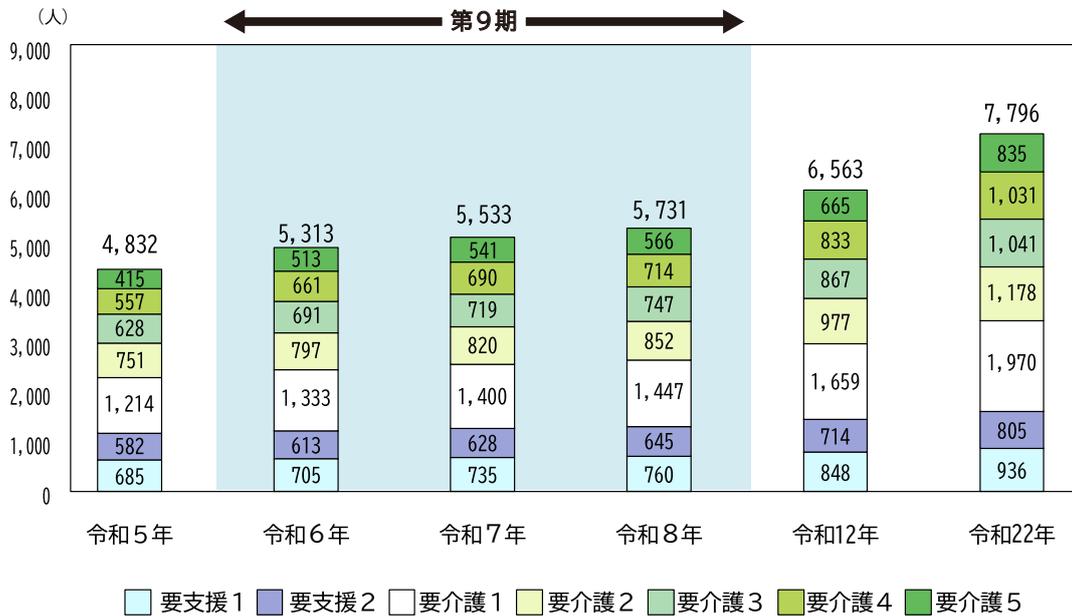
出典：令和 5 年（2023 年）は住民基本台帳（外国人含む）、令和 6 年（2024 年）以降はコーホート変換率法による推計値（各年 1 月 1 日現在）

令和 22 年（2040 年）にかけて、高齢者の数が大きく増えるんだね



要介護認定者数（第1号被保険者数）の推計

本市の第1号被保険者における要介護認定者数は、第9期計画の期間にあたる令和6年（2024年）から令和8年（2026年）にかけて、418人増加することが予測されています。

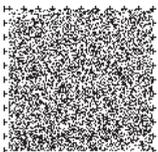
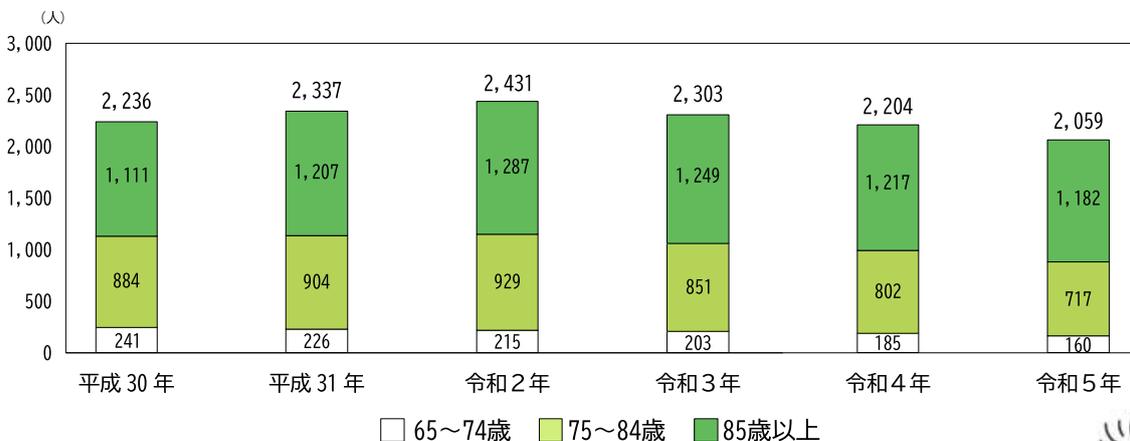


出典：令和5年（2023年）は「介護保険事業状況報告」月報（各年3月）、令和6年（2024年）以降は厚生労働省「地域包括ケア「見える化」システム」による推計

認知症高齢者数の状況

本市では、要介護認定者数が増加傾向にある一方で、令和2年（2020年）以降、認知症高齢者数は減少し、要介護認定者数に占める認知症高齢者の割合も低くなっています。しかしながら、要介護認定の申請をされていない方の中にも認知症状を有する高齢者が存在するため、実際の認知症高齢者数はさらに多くなるものと考えられます。

※「認知症高齢者」とは、要介護認定において、「認知症があり、日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」と定義される認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ a以上の判定が出された高齢者のことです。（各年3月31日時点）



介護が必要な人はますます増えてくるんだ。
人生100年時代を生きていくためには、何を大切にしていけばいいんだろう



基本理念・基本目標

今後、さらに高齢化の進展が予測されていることから、様々な変化に対応していくことが必要となります。このような状況を踏まえながら、本計画では、これまでの理念や目標を継承しつつ、**元気な高齢者を増やすまちと、地域ぐるみで高齢者を支えるまち**を目指し、以下の基本理念と基本目標を設定します。

基本理念

互いに支え合い いつまでも 自分らしく 笑顔で暮らせるまち 朝霞



基本目標

地域包括ケアシステムの深化・推進 地域共生社会の実現

重点課題

元気高齢者を増やす

重点課題1

一般介護予防事業の強化

健康で元気な高齢者を増やし、活気のあるまちをつくるために、必要な感染症対策を講じながら一般介護予防事業の各事業を実施し、多くの高齢者に参加していただくことを目的に「一般介護予防事業の強化」を重点課題と設定し、関連する各取組の拡充を図ります。

元気高齢者を増やす

重点課題2

高齢者の社会参加の促進

定年退職などにより、現在、社会に参加していない高齢者が再び社会や人のかかわり合いを持ち、**いつまでも自分らしく健康で元気に過ごせるよう**、様々な交流場所や地域活動を充実することとし、「高齢者の社会参加の促進」を重点課題と設定します。

高齢者を支える

重点課題3

在宅サービス基盤の充実

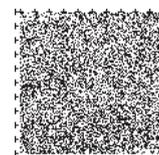
介護を必要とする高齢者が、自宅で安心して本人が望む生活を支え続けられるよう、市民のニーズを踏まえながら、将来推計に応じた必要な在宅サービスを適切に整備することとし、「在宅サービス基盤の充実」を重点課題と設定します。

高齢者を支える

重点課題4

重層的支援体制の整備

8050 問題やダブルケアなど、ひとつの世帯で複数の課題を抱えていたり、そもそも世帯全体が孤立化してしまっているケースなど、**複雑化・複合化した課題の解決を支援するため**には、既存の支援機関などの機能や専門性を活かしつつ、相互の連携を強めるとともに、地域にも協力いただき、「高齢」、「生活困窮」、「子ども」、「障害」といった分野別の支援体制では対応しきれない地域住民の課題に対応できるような包括的（重層的）な支援体制を円滑に構築し、実践できるような仕組みが必要であるため、「重層的支援体制の整備」を重点課題と設定します。



4つの施策目標

施策目標Ⅰ 介護予防・健康づくりの推進

高齢者がいつまでも幸せに暮らし続けるためには、健康であり続けることが重要な要素となります。ICTなどを用いた新たな取組も含め、様々な機会を通じて高齢者の健康づくりや介護予防に取り組むことで、元気高齢者を増やす地域社会の実現を目指していきます。



1. 介護予防の推進

フレイルを予防するためには、適切な「運動」と栄養バランスの取れた「食生活」などが重要であるため、介護予防の各種取組に、それらの視点を踏まえて事業を継続することで、健康寿命の延伸を図り、元気高齢者の増加を目指します。



フレイルとは…加齢に伴い筋力や意欲など心身の働きが弱くなり、健康と要介護の中間の状態になることです。

2. 健康づくりの推進

各種保健事業や健康相談、健康教育事業を実施するほか、健康あさか普及員による幅広い年代層への健康増進の普及啓発に取り組むなど、地域でのつながりや高齢者の支援、生きがいがづくりにつなげていきます。



施策目標Ⅱ 見守り・生きがいがづくりの推進



地域の様々な活動団体・民間事業者・市民と連携しながら、これまで築いてきた見守りネットワークをさらに充実するとともに、地域活動をはじめとした高齢者の交流機会や社会参加の場を創出し、高齢者が生き生きと暮らし続けられる地域社会の実現を目指していきます。

1. 地域での見守り体制の充実

地域の様々な活動団体、民間企業などと連携しながら、見守りのネットワークを構築し、地域ぐるみで高齢者をサポートしていく体制づくりに取り組みます。また、市独自の各種見守りに関するサービスを周知し、必要な方に見守りが行えるように努めます。

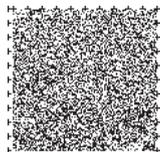
2. 生きがいがづくり・社会参加の推進

身近な地域で生きがいがづくりに取り組めるよう、活動に参加しやすい環境づくりを進めるとともに、生活支援の担い手として活躍できる社会参加の基盤整備を進めます。また、自らの経験や能力を生かし、文化・スポーツ活動や生きがいがづくり活動を行うことができるよう、誰もが気軽に利用できる居場所づくりを進めます。

地域みんなで高齢者の生活を支えていくなだね



基本
地域包括ケ
の深化
地域共生



施策目標Ⅲ 本人と家族を支えるサービスの充実

高齢者を取り巻く本市の現状と、社会的背景を踏まえた将来の介護ニーズを見据えたうえで、計画的な介護サービス基盤の整備を進めていくことで、介護が必要な状態となっても、誰もが安心して暮らし続ける地域社会の実現を目指していきます。



1. 介護保険サービスの提供

介護を必要とする方が、住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられるよう、介護サービス基盤の維持・確保に努めます。

2. 自立支援・重度化防止に向けた取組の推進

住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らし続けられるよう、自立支援・重度化防止に向けた取組を推進します。また、在宅医療と介護・障害の連携体制の整備に努めるとともに、介護者に対する支援の充実を図ります。



3. 認知症施策の推進

認知症への理解を深めるための普及啓発活動、認知症の予防、重度化防止に向けた取組のほか、適切な支援に向けた取組などを推進します。また、認知症の疑いがある高齢者などを早期に発見し、適切な支援につなげる体制を拡充し、若年性認知症や高次脳機能障害についても啓発活動や支援に努めます。

4. 高齢者の権利擁護の推進

相談体制の強化と成年後見制度利用に向けた支援や虐待の早期発見と適切な対応に向けた知識の普及啓発などを推進します。



5. 安定した住まい確保の推進

住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、安定した住まい確保に向けた支援を行います。また、生活面に困難を抱える高齢者へ住まいと生活の一体的支援を推進します。

大目標
ケアシステム
の推進
社会の実現

施策目標Ⅳ 高齢者支援体制の充実



高齢者をはじめ様々な問題を抱える個人や家族に対しても迅速かつ適切な支援が届けられるよう、関係部署や機関が連携し、重層的かつ包括的な支援体制を整備し、みんなで支え合いながら、いつまでも幸せに暮らし続けられる地域社会の実現を目指していきます。

1. 地域包括支援センター機能の強化

重層的な支援体制を整備するなど、地域包括支援センターの機能強化を図ります。



2. 地域生活支援体制の整備

支援や介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、住民・協議体・生活支援コーディネーターが一体となって地域づくりを進めていきます。



3. 介護保険制度の適切な運営

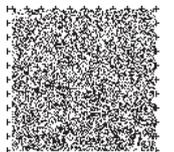
介護を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられるよう、質・量ともに適正なサービス提供の維持・確保に努めます。また、人材確保や現場における業務の効率化などの支援を推進することで、介護保険事業の適切な運営を図ります。

4. 災害時支援体制の整備

地域の関係機関との連携を強化し、防災体制の支援の充実を図ります。災害による被害を未然に防ぐための取組や、近年、多発化している災害に備え、非常時に向けた対策を推進します。

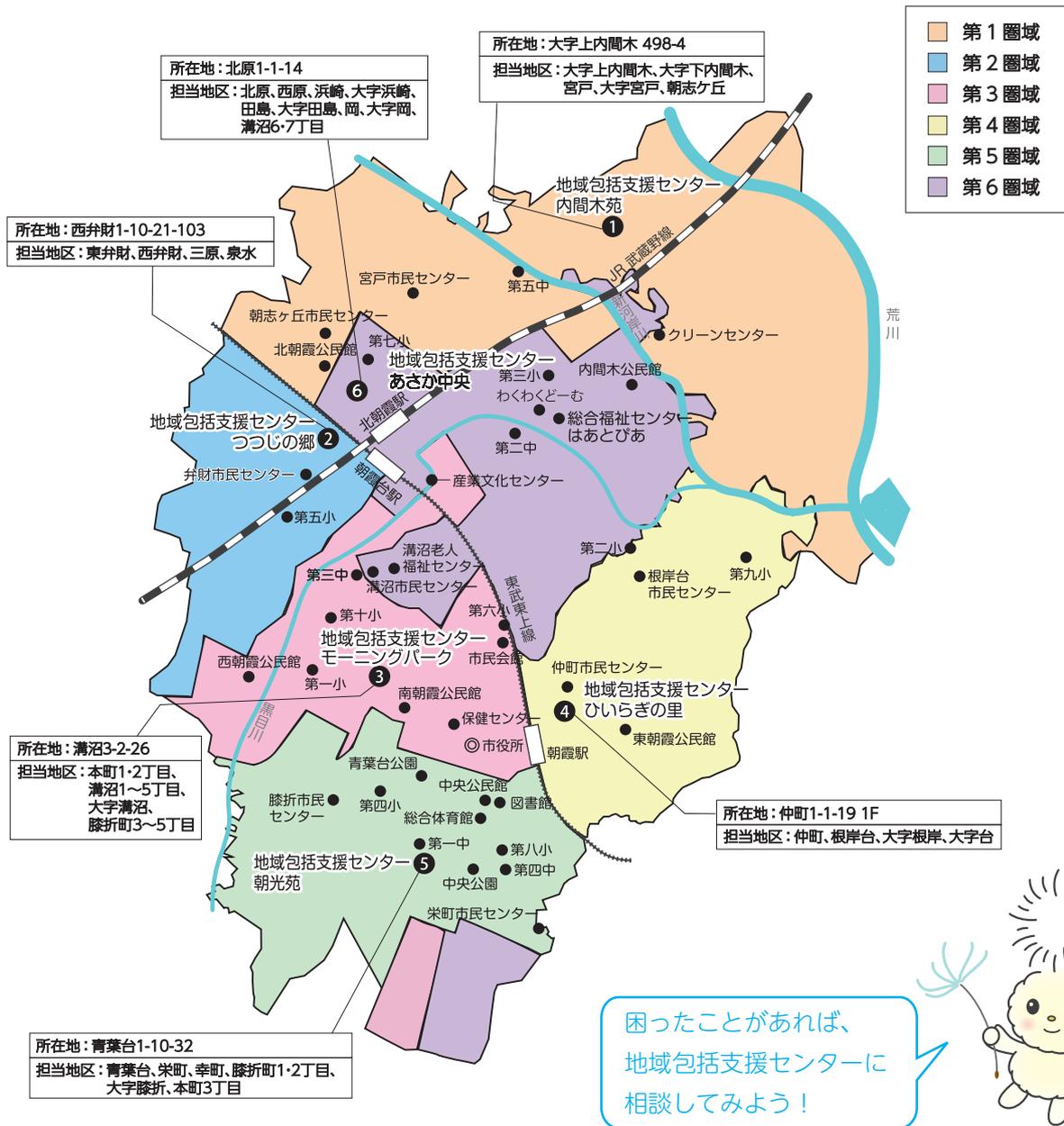


地域包括支援センターとは…地域内の高齢者に対する総合相談、権利擁護、支援体制づくり、介護予防に必要な援助などを行う公的機関です。



日常生活圏域

本市では、高齢者が住み慣れた地域で必要に応じた福祉サービスを、迅速かつ適正に受けられるように、日常生活圏域を6つに分け、地域包括支援センターを設置しています。



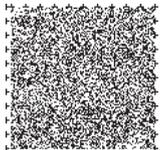
困ったことがあれば、
地域包括支援センターに
相談してみよう！



第1号被保険者の介護保険料

令和6年度（2023年度）から3年間の朝霞市の介護サービス費用がまかなえるように、以下のとおり「基準額」を算定します。 ※介護保険料は、「基準額」をもとに、所得に応じた負担になるように、18段階に分かれます。

市に必要な 介護サービスの 総費用	×	65歳以上の方の 負担分 23%	÷	市に住む 65歳以上の方の 人数	=	朝霞市の介護保険料基準額 年額 78,600円 月額 6,550円
-------------------------	---	------------------------	---	------------------------	---	---



第9期 朝霞市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（概要版）

発行：令和6年（2024年）3月 企画・編集：朝霞市 福祉部 長寿はつらつ課
〒351-8501 埼玉県朝霞市本町 1-1-1 TEL：(048) 463-1111 (代表)